

CLUSTERPRO MC

ApplicationMonitor 2.4 for Linux

メッセージ一覧

© 2019(Apr) NEC Corporation

- ☐ メッセージ一覧
- ☐ 障害解析情報の採取

はしがき

本書は、CLUSTERPRO MC ApplicationMonitor 2.4 for Linux(以後 ApplicationMonitor と記載します)が出力するメッセージの意味と対処方法について説明したものです。

(1) 本書は、以下の OS に対応します。

- ・ Red Hat Enterprise Linux 6.4～6.10, 7.0～7.6
- ・ Oracle Linux 6.4～6.10, 7.0～7.6

(2) 本書で説明しているすべての機能は、プログラムプロダクトであり、次の表のプロダクト型番およびプロダクト名に対応しています。

プロダクト型番	プロダクト名	プロダクトリリース
UL4437-802	CLUSTERPRO MC ApplicationMonitor 2.4 for Linux (1CPU ライセンス)	2.4
UL4437-812	CLUSTERPRO MC ApplicationMonitor 2.4 for Linux (1CPU ライセンス)(他社機版)	2.4
UL4437-822	CLUSTERPRO MC ApplicationMonitor 2.4 for Linux VM (1 ノードライセンス)	2.4
UL4437-832	CLUSTERPRO MC ApplicationMonitor 2.4 for Linux VM (1 ノードライセンス)(他社機版)	2.4
UL4437-801	CLUSTERPRO MC ApplicationMonitor CD 2.4	2.4

(3) 本書は、次の用語を使用します。

用語	意味
インスタンス	Oracle データベース・インスタンス
ASM インスタンス	Oracle Automatic Storage Management インスタンス
CDB	マルチテナント・コンテナ・データベース
PDB	プラグابل・データベース
マルチテナント構成	マルチテナント・アーキテクチャによるマルチテナント・コンテナ・データベースの構成 PDB が一つのシングルテナント構成も含める
非マルチテナント構成	Oracle 11.2 または Oracle 12c 以降の non-CDB 構成

また、以下の表現を使用します。

- ・ [] で囲まれた構成 ID を付与したメッセージは、各モニタが出力するメッセージです。
- ・ [] なしの構成 ID を付与したメッセージは、モニタ制御デーモン (oramond) が出力するメッセージです。

(4) 商標および登録商標

- ✓ Linux は、Linus Torvalds 氏の米国およびその他の国における、登録商標または商標です。
- ✓ CLUSTERPRO は、日本電気株式会社の登録商標です。
- ✓ Oracle と Java は、Oracle Corporation およびその子会社、関連会社の米国およびその他の国における登録商標です。
- ✓ その他、本書に登場する会社名および商品名は各社の商標または登録商標です。
- ✓ なお、本書では®、TM マークを明記しておりません。

目次

1. メッセージ一覧	1
1.1. ApplicationMonitor 共通メッセージ	1
1.1.1. エラーメッセージ	1
1.1.2. 警告メッセージ	11
1.1.3. 通知メッセージ	15
1.2. ApplicationMonitor 設定ファイル関連メッセージ	16
1.2.1. エラーメッセージ	16
1.2.2. 通知メッセージ	29
1.3. モニタ制御デーモン (oramond) 固有メッセージ	30
1.3.1. エラーメッセージ	30
1.3.2. 警告メッセージ	39
1.3.3. 通知メッセージ	45
1.4. インスタンス監視モニタ (instmond) 固有メッセージ	59
1.4.1. エラーメッセージ	59
1.4.2. 警告メッセージ	67
1.4.3. 通知メッセージ	70
1.5. PDB 監視モニタ (pdbmond) 固有メッセージ	71
1.5.1. エラーメッセージ	71
1.5.2. 警告メッセージ	76
1.5.3. 通知メッセージ	77
1.6. リスナー監視モニタ (lsnrmond) 固有メッセージ	79
1.6.1. エラーメッセージ	79
1.6.2. 警告メッセージ	85
1.6.3. 通知メッセージ	86
1.7. 表領域監視モニタ (tschkmond) 固有メッセージ	89
1.7.1. エラーメッセージ	89
1.7.2. 警告メッセージ	96
1.7.3. 通知メッセージ	96
1.8. ディスク領域監視モニタ (fdsmond) 固有メッセージ	98
1.8.1. エラーメッセージ	98
1.8.2. 警告メッセージ	105
1.8.3. 通知メッセージ	106
1.9. スタンバイデータベース監視モニタ (stbdbmond) 固有メッセージ	108
1.9.1. エラーメッセージ	108

1.9.2.	警告メッセージ	112
1.9.3.	通知メッセージ	115
1.10.	アラートログ監視モニタ (altmond) 固有メッセージ	117
1.10.1.	エラーメッセージ	117
1.10.2.	警告メッセージ	119
1.10.3.	通知メッセージ	120
1.11.	CRS 監視モニタ (crsmond) 固有メッセージ	122
1.11.1.	エラーメッセージ	122
1.11.2.	警告メッセージ	127
1.11.3.	通知メッセージ	129
1.12.	ASM 監視モニタ (asmmond) 固有メッセージ	131
1.12.1.	エラーメッセージ	131
1.12.2.	警告メッセージ	136
1.12.3.	通知メッセージ	138
1.13.	SCAN リスナー監視モニタ (slsnrmond) 固有メッセージ	141
1.13.1.	エラーメッセージ	141
1.13.2.	警告メッセージ	145
1.13.3.	通知メッセージ	147
1.14.	統計情報採取モニタ (statsmond) 固有メッセージ	148
1.14.1.	エラーメッセージ	148
1.14.2.	警告メッセージ	153
1.14.3.	通知メッセージ	154
1.15.	システムステートダンプ採取デーモン (ssdump) 固有メッセージ	156
1.15.1.	エラーメッセージ	156
1.15.2.	警告メッセージ	156
1.16.	管理コマンド (oraadmin) 固有メッセージ	161
1.16.1.	標準エラー出力メッセージ	161
1.16.2.	標準出力メッセージ	192
1.16.3.	通知メッセージ	194
1.17.	構成情報管理サーバ (oraconfd) 固有メッセージ	195
1.17.1.	エラーメッセージ	195
1.17.2.	警告メッセージ	205
1.17.3.	通知メッセージ	207
1.18.	テンプレート作成コマンド (amctf) 固有メッセージ	210
1.18.1.	エラーメッセージ	210
1.18.2.	警告メッセージ	215
1.18.3.	通知メッセージ	219
1.19.	インスタンス監視表シェルスクリプト (haam_init.sh) 固有メッセージ	223

1.19.1. 標準出力メッセージ	223
1.20. ASM 監視モニタ起動スクリプト (start_asmmond.sh) 固有メッセージ	225
1.20.1. 標準出力メッセージ	225
1.20.2. 出力メッセージ	225
1.21. Oracle Clusterware／Oracle Restart リトライ判定シェルスクリプト (crs_control.sh) 固有 メッセージ	227
1.21.1. 出力メッセージ	227
1.22. PDB 再オープンシェルスクリプト (am_pdb_reopen.sh) 固有メッセージ	230
1.22.1. 出力メッセージ	230
1.23. リスナー再起動シェルスクリプト (lsnr_control.sh) 固有メッセージ	231
1.23.1. 出力メッセージ	231
1.24. Oracle Data Guard Broker 情報取得シェルスクリプト (brk_control.sh) 固有メッセージ	233
1.24.1. 出力メッセージ	233
1.25. 連携用リソース作成スクリプト (init_ocw_resource.sh) 固有メッセージ	235
1.25.1. 標準出力メッセージ	235
1.26. OCW 連携用アクション・スクリプト (ocw_action_script.sh) 固有メッセージ	237
1.26.1. 出力メッセージ	237
1.27. OCW 連携用監視モニタ起動スクリプト (ocw_start_monitor.sh) 固有メッセージ	238
1.27.1. 出力メッセージ	238
1.28. 単独起動モニタ用起動スクリプト (start_alone_monitor.sh) 固有メッセージ	240
1.28.1. 標準出力メッセージ	240
1.29. OCW コマンド・パス取得スクリプト (get_grid_path.sh) 固有メッセージ	241
1.29.1. 標準出力メッセージ	241
1.30. SCAN リスナ監視モニタリソース情報取得スクリプト (get_scan_listener_info.sh) 固有メッ セージ	242
1.30.1. 標準出力メッセージ	242
1.31. 情報採取スクリプト (oradiag) 固有メッセージ	243
1.31.1. 出力メッセージ	243
1.32. Oracle 構成プロセス停止シェルスクリプト (am_stop_oproc.sh) 固有メッセージ	244
1.32.1. 出力メッセージ	244
1.33. サーバ管理基盤 (RENS) 連携機能部分メッセージ	246
1.33.1. 警告メッセージ	246
2. 障害解析情報の採取	249
2.1. ApplicationMonitor の障害解析情報	249
2.2. Oracle の障害解析情報	251
2.3. CLUSTERPRO の障害解析情報	253

1. メッセージ一覧

1.1. ApplicationMonitor 共通メッセージ

本章に記述しているメッセージにしたがって障害解析情報の採取を行う場合は、「2 障害解析情報の採取」を参照してください。

1.1.1. エラーメッセージ

am_cmn_malloc: Failed to allocate memory. (size=XXXX) (errno=YYYY)

説明: 動的メモリの確保に失敗しました。

処置: システム資源のチューニングが適切であるにもかかわらず本メッセージが出力される場合は、ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

am_cmn_spawnmonitor: fcntl: XXXX

説明: モニタプロセスの起動に失敗しました。

処置: ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

am_cmn_XXXX: Fatal error.

説明: モニタの内部処理で矛盾を検出しました。

処置: ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

am_cmn_SpawnMonitor: Executable path length exceeded.

説明: 不正なパス名が指定されたため、モニタプロセスの起動に失敗しました。

処置: ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

am_cmn_SpawnMonitor: No executable path found.

説明: 不正なパス名が指定されたため、モニタプロセスの起動に失敗しました。

処置: ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

am_cmn_SpawnMonitor: Command name too long.

説明: 不正なパス名が指定されたため、モニタプロセスの起動に失敗しました。

処置: ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

am_cmn_SpawnMonitor: Too many arguments.

説明: 不正なパス名が指定されたため、モニタプロセスの起動に失敗しました。

処置: ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

am_cmn_SpawnMonitor: Failed to export environment variables.

説明: 環境変数のエクスポート処理が失敗しました。

処置: ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

am_cmn_spawnmonitor: 関数名(XXXX): YYYY

説明: モニタプロセスの起動に失敗しました。

処置: ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

am_cmn_spawnmonitor: 関数名: XXXX

説明: モニタプロセスの起動に失敗しました。

処置: ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

am_cmn_spawnmonitor: Failed to determine UID of XXXX.

説明: モニタプロセスに指定されたユーザー名が不正です。

処置: 設定ファイルで正しいユーザー名を指定してください。

am_cmd_send_msg: Invalid argument(XXXX).

説明: メッセージ送信処理が失敗しました。

処置: ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

am_cmd_send_msg: Send buffer overflow.

説明: 送信データサイズが制限範囲外のため、メッセージ送信に失敗しました。

処置: ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

am_cmd_send_msg: Failed to allocate memory.

説明: メモリ不足によりメッセージ送信処理が失敗しました。

処置: システム資源のチューニングが適切であるにもかかわらず本メッセージが出力される場合は、ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

Failed to write. (errno=XXXX)

説明: 内部エラーが発生しました。

処置: ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

am_cmd_send_msg: Write terminated abnormally.

説明: メッセージ送信処理が異常終了しました。

処置: ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

am_cmn_XXXX: Fatal error, invalid argument.

説明: モニタの内部処理で矛盾を検出しました。

処置: ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

am_cmd_recv_msg: Read data is short length current=XXXX/total=YYYY.

説明: 受信メッセージの取得に失敗しました。

処置: ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

am_cmd_recv_msg: Read terminated abnormally.

説明: メッセージの受信に失敗しました。

処置: ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

am_cmd_rcv_msg: Failed to allocate memory.

説明: メモリ不足によりメッセージ受信処理が失敗しました。

処置: システム資源のチューニングが適切であるにもかかわらず本メッセージが出力される場合は、ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

am_monrcv_data: rcv() failed: rcv() is no response or illegal data was input or Returned error from monitor at request type as SHOW.

説明: 単独起動しているモニタからのデータ受信に失敗しました。モニタからの返信がない、不正なデータが入力された、または SHOW リクエストに対しエラーが返信されました。

処置: ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

am_cmn_XXXX: Fatal error, send buffer overflow.

説明: 送信データサイズが制限範囲外のため、メッセージ送信に失敗しました。

処置: ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

am_cmn_sendXXXX: Failed to allocate memory.

説明: メモリ不足によりメッセージ送信処理が失敗しました。

処置: システム資源のチューニングが適切であるにもかかわらず本メッセージが出力される場合は、ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

am_cmn_XXXX: 関数名() failed: YYYY.

説明: 内部処理でエラーが発生しました。

処置: ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

am_cmn_sendmsg: Write terminated abnormally.

説明: メッセージ送信処理が異常終了しました。

処置: ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

am_cmn_recvmsg: Read terminated abnormally.

説明: メッセージ受信処理が異常終了しました。

処置: ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

am_cmn_XXXX: Fatal error, receive buffer overflow.

説明: 受信データサイズが制限範囲外のため、メッセージ受信に失敗しました。

処置: ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

am_cmn_recvmsg: Failed to allocate memory.

説明: メモリ不足によりメッセージ受信処理が失敗しました。

処置: システム資源のチューニングが適切であるにもかかわらず本メッセージが出力される場合は、ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

am_monsend_data: 関数名() failed: XXXX.

説明: 単独起動しているモニタに対するデータ送受信でエラーが発生しました。

処置: ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

am_monsend_data: send() failed: Failed to send data.

説明: 単独起動しているモニタに対するデータの送信に失敗しました。

処置: ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

am_monrecv_data: recv() failed: XXXX.

説明: 単独起動しているモニタからのデータ受信に失敗しました。

処置: ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

am_put_dump: fopen: XXXX

説明: ダンプファイルの作成に失敗しました。

処置: ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

am_put_dump: write: XXXX

説明: メモリトレースのファイル出力に失敗しました。

処置: メモリトレース出力先のファイルシステムに異常がないことを確認してください。
原因が特定できない場合は、ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

am_put_dump: fclose: XXXX

説明: ダンプファイルのクローズに失敗しました。

処置: ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

am_cmn_malloc: Failed to allocate memory. (size=XXXX)

説明: 動的メモリの確保に失敗しました。

処置: システム資源のチューニングが適切であるにもかかわらず本メッセージが出力される場合は、ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

am_cmn_malloc: calloc() Failed to allocate memory. (size=XXXX)

説明: 動的メモリの確保に失敗しました。

処置: システム資源のチューニングが適切であるにもかかわらず本メッセージが出力される場合は、ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

am_cmn_proc_lock: unknown process

説明: 内部処理でエラーが発生しました。

処置: ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

am_cmn_SpawnCommand: Failed to XXXX.

説明: 外部コマンドの実行に失敗しました。

処置: ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

am_cmn_SpawnCommand: Failed to determine UID of XXXX.

説明: 外部コマンドに指定されたユーザー名が不正です。

処置: 設定ファイルで正しいユーザー名を指定してください。

am_cmn_SpawnCommand: 関数名: XXXX

説明: 外部コマンドの実行に失敗しました。

処置: ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

am_cmn_SpawnCommand: access: XXXX YYYY

説明: 外部コマンドのファイル属性が不適切です。

処置: 外部コマンドに読み取りおよび実行許可が設定されていることを確認してください。

構成ID : 関数名: Failed 関数名(): XXXX

説明: 内部処理でエラーが発生しました。

処置: ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

構成ID : 関数名() failed: XXXX.

説明: 内部処理でエラーが発生しました。

処置: ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

構成ID : Illegal data length(XXXX).

説明: データ長が不正なため、ノード間通信に失敗しました。

処置: ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

構成ID : 関数名 sendto() failed: XXXX.

説明: データ送信に失敗しました。

処置: ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

構成ID : 関数名() ret=XXXX errno=YYYY: ZZZZ.

説明: ソケットからのメッセージ受信に失敗しました。

処置: ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

構成 ID :Incomplete header.

説明: ヘッダ情報が不完全なため、ノード間通信に失敗しました。

処置: ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

構成 ID :Check-sum error.

説明: データ整合性確認でエラーが検出されました。

処置: ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

構成 ID :Bad application format in UDP datagram.

説明: データフォーマットが異なるため、通信に失敗しました。

処置: ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

構成 ID :Invalid data length of UDP datagram from XXXX.

説明: データ長が無効なため、ノード間通信に失敗しました。

処置: ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

構成 ID :Detected configuration mismatch in UDP datagram from XXXX.

説明: データ構成の不整合が検出されました。

処置: ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

構成 ID :Bad source address XXXX

説明: 通信用のアドレスが不正なため、通信に失敗しました。

処置: ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

構成 ID :Failed to receive UDP datagram.

説明: データの受信に失敗しました。

処置: ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

構成 ID :Failed to malloc. XXXX

説明: メモリ不足によりデータの受信に失敗しました。

処置: システム資源のチューニングが適切であるにもかかわらず本メッセージが出力される場合は、ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

構成 ID :getMyNode : getifaddrs failed: XXXX.

説明: ネットワーク情報の取得に失敗しました。

処置: ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

構成 ID :Failed to validate packet stamp.

説明: データの妥当性検証に失敗しました。

処置: ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

[構成 ID] Failed to allocate memory. status:XXXX

説明: メモリ不足により処理が失敗しました。

処置: システム資源のチューニングが適切であるにもかかわらず本メッセージが出力される場合は、ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

[構成 ID] read_conf: file does not exist. or can not read default parameter.

説明: フィルタリング設定ファイルが存在しないか、デフォルト設定を取得することができません。

処置: フィルタリング設定ファイルに問題がないことを確認してください。また、ファイルが存在するファイルシステムに異常がないか確認してください。原因が特定できない場合は、ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

pthread_XXXX() YYYY.

説明: モニタ自身の監視処理でエラーが発生しました。

処置: ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

[構成ID] 関数名: argument is inaccurate.

説明: 内部エラーが発生しました。

処置: ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

[構成ID] 関数名: realloc() failed.

説明: 領域の確保に失敗しました。

処置: システム資源のチューニングが適切であるにもかかわらず本メッセージが出力される場合は、ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

[構成ID] 関数名: realloc() failed. (XXXX)

説明: 領域の確保に失敗しました。

処置: システム資源のチューニングが適切であるにもかかわらず本メッセージが出力される場合は、ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

[構成ID] instStart: am_cmnn_malloc() failed (XXXX-Check).

説明: メモリの再割り当てに失敗しました。

処置: システム資源のチューニングが適切であるにもかかわらず本メッセージが出力される場合は、ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

[構成ID] inst_spawnmonitor: 関数名(XXXX): YYYY

説明: 内部処理でエラーが発生しました。

処置: ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

[構成ID] inst_spawnmonitor: fork: XXXX

説明: モニタプロセスの起動に失敗しました。

処置: システム資源のチューニングが適切であるにもかかわらず本メッセージが出力される場合は、高負荷時に本メッセージが出力される頻度に合わせて ApplicationMonitor のエラーリトライ回数を調整してください。

[構成ID] inst_spawnmonitor: invalid type

説明: 内部処理でエラーが発生しました。

処置: ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

[構成ID] Failed to changing work directory. XXXX

説明: 作業ディレクトリの変更に失敗しました。

処置: インストールが正しく行われていることを確認してください。
ApplicationMonitor の再インストールを行っても症状が改善されない場合は、
ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

XXXX: Activation error.(YYYY, error:ZZZZ)

説明: ライセンスチェックに失敗しました。

処置: コードワードの登録内容に問題がないことを確認してください。

1.1.2. 警告メッセージ**am_cmn_spawnmonitor: 関数名: XXXX**

説明: モニタプロセスの起動に失敗しました。

処置: ApplicationMonitor が正しくインストールされており、ファイルシステムに異常がないことを確認してください。原因が特定できない場合は、
ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

関数名: Ignoring data.

説明: 不正な形式の送信メッセージを無視しました。

処置: ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

am_cmn_proc_lock: XXXX: YYYY

説明: プロセス属性の操作に失敗しました。

処置: ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

am_cmd_recv_msg: 関数名() failed: XXXX.

説明: 内部処理でエラーが発生しました。

処置: ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

ださい。

構成 ID :Unexpected data arrived.

説明: 予期しないデータを受信しました。

処置: ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

[構成 ID] read_conf: Read default errornumber

説明: フィルタリングのデフォルト設定を適用しました。

処置: 該当するフィルタリング設定ファイルに問題がないか確認してください。また、同時に出力されるメッセージにしたがって対処を行ってください。

[構成 ID] read_conf: 行 Invalid filter type.

説明: 指定された ERROR_CODE_TYPE パラメータが無効です。

処置: サポートされている値を指定してください。

[構成 ID] read_conf: 行 Syntax error.

説明: 構文エラーを検出しました。

処置: 該当する行の構文を修正してください。

[構成 ID] read_conf: 行 It is empty filter type.

説明: 空の値が指定されました。

処置: ERROR_CODE_TYPE パラメータに値を記述してください。

[構成 ID] read_conf: 行 'ERROR_CODE_TYPE' parameter is in error or is not specified.

説明: パラメータに誤りがあるか定義されていません。

処置: ERROR_CODE_TYPE パラメータを修正してください。

[構成 ID] read_conf: 行 Invalid value. status:XXXX (between YYYY to ZZZZ).

説明: 指定された値が無効です。

処置: 該当する Oracle エラー番号を修正してください。

[構成 ID] read_conf: 行 Buffer overflow (between XXXX to ZZZZ).

説明: 指定された数値は範囲外の値です。

処置: 範囲内の値を指定してください。

[構成ID] read_conf: Can not open file. (XXXX)

説明: フィルタリング設定ファイルのオープンに失敗しました。

処置: 該当ファイルが存在するか確認してください。また、ファイルが存在するファイルシステムに異常がないか確認してください。原因が特定できない場合は、ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

[構成ID] read_conf: 行 line buffer overflow (less than XXXX characters/line).

説明: 行が不完全または長すぎます。

処置: 1 行の長さが指定された文字数を超えないようにフィルタリング設定ファイルを修正してください。

[構成ID] read_conf: 行 XXXX

説明: 内部処理でエラーが発生しました。

処置: ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

[構成ID] read_conf: 行 'ERROR_CODE_TYPE' parameter is not specified.

説明: パラメータが定義されていません。

処置: ERROR_CODE_TYPE パラメータを指定してください。

Activation failed. Product key name is not been entry.

説明: 認証に失敗しました。コードワードが登録されていません。

処置: コードワードが登録されていることを確認してください。登録しているにもかかわらず、本メッセージが出力される場合は、ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

XXXX: Activation failed. Code word is generated by different product key name.

説明: 認証に失敗しました。コードワードが一致していません。

処置: 登録したコードワードに誤りがないことを確認してください。誤りがない場合は、ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

XXXX: Activation failed. Code word is generated by different host ID.

説明: 認証に失敗しました。ライセンスのホスト ID が正しくありません。

処置: 登録したコードワードに誤りがないことを確認してください。誤りがない場合は、ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

XXXX: Activation failed. Trial term is expired.

説明: 認証に失敗しました。ライセンスの期限切れです。

処置: ライセンスの期限を確認してください。期限が切れていない場合は、ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

XXXX: Activation failed. YYYY error. (ZZZZ)

説明: 認証に失敗しました。内部エラーが発生しました。

処置: 環境および登録された情報に問題がないことを確認してください。原因が特定できない場合は、ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

meta-control timed out.

説明: モニタ自身の監視でタイムアウトを検出しました。

処置: メッセージの出力が一時的なもので、モニタが継続動作できていれば対処の必要はありません。本メッセージが頻繁に出力される場合は、マシンの負荷状況などをご確認ください。

Failed to check history of dump.

Use initial file name for dump.

説明: トレースログファイルの初期処理に失敗しました。初期値を使用します。

処置: トレースログ出力先のファイルシステムに異常がないことを確認してください。異常がない場合は、存在するトレースログファイルを削除してください。本メッセージが頻繁に出力される場合は、ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

XXXX: After YYYYMMDD monitoring function is stopped.

説明: YYYYMMDD を過ぎると機能を制限します。

処置: コードワードを登録してください。

XXXX: Monitoring stop until activation succeeded.

説明: 有効なコードワードが登録されるまで機能を制限します。

処置: 有効なコードワードを登録してください。

XXXX: license NG.

説明: 有効なコードワードが確認できませんでした。

処置: コードワードの登録内容に問題がないことを確認してください。

1.1.3. 通知メッセージ**am_cmd_rcv_msg: Session closed by peer.**

説明: セッションが終了しました。

処置: 対処の必要はありません。

am_cmn_rcvmsg: Pipe closed by peer.

説明: プロセス間通信を行う PIPE が相手側から切断されました。

処置: ApplicationMonitor は、状況に応じて適切なプロセス制御を行います。対処の必要はありません。

構成ID :XXXX instance stall, but oracle interconnect is error or oracle process is error occurred.

説明: XXXX ノードでストールを検知しました。

ただし、Oracle インターコネクト障害または Oracle プロセス障害の発生による影響の可能性があります。

処置: ApplicationMonitor は、状況に応じて適切なプロセス制御を行います。対処の必要はありません。

構成ID :XXXX instance stall, but oracle is re-config occurred.

説明: XXXX ノードでストールを検知しました。

ただし、Oracle の再構成による影響の可能性があります。

処置: ApplicationMonitor は、状況に応じて適切なプロセス制御を行います。対処の必要はありません。

1.2. ApplicationMonitor 設定ファイル関連メッセージ

本章に記述しているメッセージにしたがって障害解析情報の採取を行う場合は、「2 障害解析情報の採取」を参照してください。

本章に記述しているメッセージにしたがって設定ファイルの修正を行う際には、別冊の『CLUSTERPRO MC ApplicationMonitor 2.4 for Linux ユーザーズガイド』を参照してください。

1.2.1. エラーメッセージ

system error.

説明: 内部処理で論理矛盾が発生しました。

処置: ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

can not allocate memory. (errno=XXXX)

説明: メモリ不足により処理が失敗しました。

処置: システム資源のチューニングが適切であるにもかかわらず本メッセージが出力される場合は、ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

can not open 'ファイル名'. (errno=XXXX)

説明: ファイルのオープンに失敗しました。

処置: 該当ファイルが存在するか確認してください。また、ファイルが存在するファイルシステムに異常がないか確認してください。原因が特定できない場合は、ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

can not creat 'ファイル名'. (errno=XXXX)

説明: ファイルの作成に失敗しました。

処置: 作成先のファイルシステムに異常がないことを確認してください。原因が特定できない場合は、ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

can not lock 'ファイル名'. (errno=XXXX)

説明: ファイルのロックに失敗しました。

処置: 該当ファイルが存在するファイルシステムに異常がないことを確認してください。原因が特定できない場合は、ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

can not read 'ファイル名'. (errno=XXXX)

説明: レコードの読み込みに失敗しました。

処置: 該当ファイルが存在するか確認してください。また、ファイルが存在するファイルシステムに異常がないか確認してください。原因が特定できない場合は、ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

can not write 'ファイル名'. (errno=XXXX)

説明: レコードの出力に失敗しました。

処置: 該当ファイルが存在するファイルシステムに異常がないことを確認してください。原因が特定できない場合は、ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

ファイル名 : version error.

説明: ファイルのバージョン番号が異なります。

処置: 本システムで許可されたファイルか確認してください。原因が特定できない場合は、ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

ファイル名 : revision error.

説明: ファイルのリビジョン番号が異なります。

処置: 本システムで許可されたファイルか確認してください。原因が特定できない場合は、ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

ファイル名 : data buffer overflow (less than XXXX KBytes).

説明: 設定ファイルのサイズが制限範囲外です。

処置: 指定されたサイズを超えないように設定ファイルを修正してください。

ファイル名 : data size error.

説明: データの読み込み／書き込みが正しく行われませんでした。

処置: 該当ファイルが存在するファイルシステムに異常がないことを確認してください。原因が特定できない場合は、ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

ファイル名 : header size error.

説明: ヘッダの読み込み／書き込みが正しく行われませんでした。

処置: 該当ファイルが存在するファイルシステムに異常がないことを確認してください。原因が特定できない場合は、ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

ファイル名 : checksum error.

説明: データ整合性確認で異常を検出しました。

処置: ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

ファイル名 : decode error.

説明: 構成情報の解読に失敗しました。

処置: ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

ファイル名 : encode error.

説明: 構成情報の符号化に失敗しました。

処置: ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

ファイル名 : 行 : line buffer overflow (less than XXXX characters/line).

説明: 行が不完全または長すぎます。

処置: 1 行の長さが指定された文字数を超えないように設定ファイルを修正してください。

ファイル名 : 行 : unmatched "".

説明: 設定値を囲むための始めの二重引用符 (") はありますが、終わりを示す二重引用符 (") がありません。

処置: 終わりを示す二重引用符 (") を追加してください。

ファイル名 : 行 : syntax error.

説明: 構文エラーを検出しました。

処置: 該当する行の構文を修正してください。

ファイル名 : 行 : it is empty value.

説明: 空の値が指定されました。

処置: 該当するパラメータに値を記述してください。

ファイル名 : 行 : unknown parameter.

説明: 存在しないパラメータ名が記述されています。

処置: 正しいパラメータ名に修正してください。

ファイル名 : 行 : parameter error.

説明: パラメータに誤りがあります。

処置: 該当するパラメータを修正してください。

ファイル名 : 行 : invalid value.

説明: 数値以外の値が指定されました。

処置: 該当するパラメータに数値を指定してください。

ファイル名 : 行 : number value is out of range (e.g. XXXX - YYYY).

説明: 指定された数値は範囲外の値です。

処置: 範囲内の値を指定してください。

ファイル名 : 行 : buffer overflow (less than XXXX characters).

説明: パラメータに指定された文字列が長すぎます。

処置: 範囲を超えないように設定ファイルを修正してください。

ファイル名 : 行 : invalid value (e.g. XXXX|XXXX...).

説明: パラメータに指定されたオプションが無効です。

処置: サポートされているオプションを指定してください。

ファイル名 : 行 : unknown host XXXX.

説明: ノード名の解決に失敗しました。

処置: 正しいノード名を指定してください。

ファイル名 : 行 : statement error.

説明: ステートメントが正しく閉じられていない可能性があります。

処置: 該当行付近のステートメントを確認してください。

ファイル名 : 行 : statement id error.

説明: 識別子の指定が適切ではありません。

処置: 該当行の識別子を確認してください。

ファイル名 : 行 : start of statement error.

説明: ステートメントの開始位置に誤りがあります。

処置: 該当するステートメント開始行を確認してください。

ファイル名 : 行 : end of statement error.

説明: ステートメントの終了位置に誤りがあります。

処置: 該当するステートメント終了行を確認してください。

ファイル名 : 行 : maximum of NODE_NAME error (maximum = XXXX).

説明: 指定可能なノード数を超えました。

処置: 指定可能ノード数以内に修正してください。

ファイル名 : 行 : 'XXXX' is already exists.

説明: ステートメントが重複しています。

処置: 該当するステートメントを修正、または削除してください。

ファイル名 : 行 : Node XXXX statement is already exists.

説明: 指定された Node ステートメントはすでに存在します。

処置: 該当するノード名を確認してください。

ファイル名 : 行 : POLL_INTERVAL is not the same as other node.

説明: POLL_INTERVAL パラメータの値がノード間で異なります。

処置: InstanceMonitor ステートメント内の POLL_INTERVAL パラメータは、すべてのノードで同じ値を指定する必要があります。すべてのノードで同じ値になるように修正してください。

ファイル名 : 行 : All GET_STATS parameter is NO.

説明: すべての GET_STATS パラメータに NO が指定されています

処置: Stats ステートメントを指定した場合、すべての Stats ステートメント内の GET_STATS パラメータに NO を指定することはできません。統計情報を採取しないように設定するには、StatsMonitor ステートメントと Stats ステートメントをコメントアウト、または削除してください。

ファイル名 : 行 : NODE_NAME is not defined.

説明: NODE_NAME パラメータが定義されていません。

処置: Node ステートメントに対応する NODE_NAME パラメータを指定してください。

ファイル名 : 行 : MONTYPE is not defined.

説明: MONTYPE パラメータが定義されていません。

処置: MONTYPE パラメータを指定してください。

ファイル名 : 行 : ORACLE_SID is not defined.

説明: ORACLE_SID パラメータが定義されていません。

処置: ORACLE_SID パラメータを指定してください。

ファイル名 : 行 : ORACLE_BASE is not defined.

説明: ORACLE_BASE パラメータが定義されていません。

処置: ORACLE_BASE パラメータを指定してください。

ファイル名 : 行 : ORACLE_HOME is not defined.

説明: ORACLE_HOME パラメータが定義されていません。

処置: ORACLE_HOME パラメータを指定してください。

ファイル名 : 行 : ORA_NLS is not defined.

説明: ORA_NLS パラメータが定義されていません。

処置: ORA_NLS パラメータを指定してください。

ファイル名 : 行 : SHLIB_PATH is not defined.

説明: SHLIB_PATH パラメータが定義されていません。

処置: SHLIB_PATH パラメータを指定してください。

ファイル名 : 行 : NET_SERVICE_NAME is not defined.

説明: NET_SERVICE_NAME パラメータが定義されていません。

処置: NET_SERVICE_NAME パラメータを指定してください。

ファイル名 : 行 : TABLE_USER is not defined.

説明: TABLE_USER パラメータが定義されていません。

処置: TABLE_USER パラメータを指定してください。

ファイル名 : 行 : TABLE_PASSWORD is not defined.

説明: TABLE_PASSWORD パラメータが定義されていません。

処置: TABLE_PASSWORD パラメータを指定してください。

ファイル名 : 行 : ORACLE_USER is not defined.

説明: ORACLE_USER パラメータが定義されていません。

処置: ORACLE_USER パラメータを指定してください。

ファイル名 : 行 : ORACLE_PASS is not defined.

説明: ORACLE_PASS パラメータが定義されていません。

処置: ORACLE_PASS パラメータを指定してください。

ファイル名 : 行 : Node XXXX statement is not defined.

説明: Node ステートメントが定義されていません。

処置: NODE_NAME パラメータに対応する Node ステートメントを指定してください。

ファイル名 : 行 : TableSpace statement is not defined.

説明: TableSpace ステートメントが定義されていません。

処置: TableSpaceMonitor ステートメントを指定した場合、TableSpace ステートメントは省略できません。TableSpace ステートメントを指定してください。

ファイル名 : 行 : Stats statement is not defined.

説明: Stats ステートメントが定義されていません。

処置: StatsMonitor ステートメントを指定した場合、Stats ステートメントは省略できません。Stats ステートメントを指定してください。

ファイル名 : 行 : statement id is not defined.

説明: ノード指定ステートメント、またはテーブル指定ステートメントの識別子が定義されていない可能性があります。

処置: 該当するステートメントを確認してください。

ファイル名 : 行 : end of statement is not found.

説明: ステートメントが正しく閉じられていない可能性があります。

処置: 各ステートメントが正しく閉じられているか確認してください。

number of NODE_NAME is different.

説明: ノード名の数異なるため、設定は反映されませんでした。

処置: ノード数を確認してください。また、モニタ制御デーモン動作中は変更できません。

NODE_NAME is different.

説明: ノード名異なるため、設定は反映されませんでした。

処置: ノード名を確認してください。また、モニタ制御デーモン動作中は変更できません。

MONTYPE is different.

説明: モニタタイプ異なるため、設定は反映されませんでした。

処置: MONTYPE パラメータを確認してください。また、モニタ制御デーモン動作中は変更できません。

SERVICE_PORT is different.

説明: SERVICE_PORT パラメータの値異なるため、設定は反映されませんでした。

処置: SERVICE_PORT パラメータを確認してください。また、モニタ制御デーモン動作中は変更できません。

ADMIN_PORT is different.

説明: ADMIN_PORT パラメータの値異なるため、設定は反映されませんでした。

処置: ADMIN_PORT パラメータを確認してください。また、モニタ制御デーモン動作中は変更できません。

number of ADMIN_ALLOW_NODE is different.

説明: 管理コマンド許可ノード数が異なるため、設定は反映されませんでした。

処置: 管理コマンド許可ノード数を確認してください。また、モニタ制御デーモン動作中は変更できません。

ADMIN_ALLOW_NODE is different.

説明: 管理コマンド許可ノード名が異なるため、設定は反映されませんでした。

処置: 管理コマンド許可ノード名を確認してください。また、モニタ制御デーモン動作中は変更できません。

ノード名 : ORACLE_SID is different.

説明: ORACLE_SID パラメータの値が異なるため、設定は反映されませんでした。

処置: ORACLE_SID パラメータを確認してください。また、モニタ制御デーモン動作中は変更できません。

ノード名 : ORACLE_BASE is different.

説明: ORACLE_BASE パラメータの値が異なるため、設定は反映されませんでした。

処置: ORACLE_BASE パラメータを確認してください。また、モニタ制御デーモン動作中は変更できません。

ノード名 : ORACLE_HOME is different.

説明: ORACLE_HOME パラメータの値が異なるため、設定は反映されませんでした。

処置: ORACLE_HOME パラメータを確認してください。また、モニタ制御デーモン動作中は変更できません。

ノード名 : ORA_NLS is different.

説明: ORA_NLS パラメータの値が異なるため、設定は反映されませんでした。

処置: ORA_NLS パラメータを確認してください。また、モニタ制御デーモン動作中は変更できません。

ノード名 : SHLIB_PATH is different.

説明: SHLIB_PATH パラメータの値が異なるため、設定は反映されませんでした。

処置: SHLIB_PATH パラメータを確認してください。また、モニタ制御デーモン動作中は変更できません。

ノード名 : NLS_LANG is different.

説明: NLS_LANG パラメータの値が異なるため、設定は反映されませんでした。

処置: NLS_LANG パラメータを確認してください。また、モニタ制御デーモン動作中は変更できません。

ノード名 : TNS_ADMIN is different.

説明: TNS_ADMIN パラメータの値が異なるため、設定は反映されませんでした。

処置: TNS_ADMIN パラメータを確認してください。また、モニタ制御デーモン動作中は変更できません。

ノード名 : number of ListenerMonitor is different.

説明: ListenerMonitor ステートメントの数が異なるため、設定は反映されませんでした。

処置: ListenerMonitor ステートメントの数を確認してください。また、モニタ制御デーモン動作中は変更できません。

ノード名 : ListenerMonitor id is different.

説明: ListenerMonitor ステートメントの識別子が異なるため、設定は反映されませんでした。

処置: ListenerMonitor ステートメントの識別子を確認してください。また、モニタ制御デーモン動作中は変更できません。

ノード名 : NET_SERVICE_NAME is different.

説明: NET_SERVICE_NAME パラメータの値が異なるため、設定は反映されませんでした。

処置: NET_SERVICE_NAME パラメータを確認してください。また、モニタ制御デーモン動作中は変更できません。

ノード名 : number of TableSpaceMonitor is different.

説明: TableSpaceMonitor ステートメントの数が異なるため、設定は反映されませんでした。

処置: TableSpaceMonitor ステートメントの数を確認してください。また、モニタ制御

デーモン動作中は変更できません。

ノード名 : TableSpaceMonitor id is different.

説明: TableSpaceMonitor ステートメントの識別子が異なるため、設定は反映されませんでした。

処置: TableSpaceMonitor ステートメントの識別子を確認してください。また、モニタ制御デーモン動作中は変更できません。

ノード名 : number of StatsMonitor is different.

説明: StatsMonitor ステートメントの数が異なるため、設定は反映されませんでした。

処置: StatsMonitor ステートメントの数を確認してください。また、モニタ制御デーモン動作中は変更できません。

ノード名 : StatsMonitor id is different.

説明: StatsMonitor ステートメントの識別子が異なるため、設定は反映されませんでした。

処置: StatsMonitor ステートメントの識別子を確認してください。また、モニタ制御デーモン動作中は変更できません。

ノード名 : MONITOR_USER is different.

説明: 監視モニタの実効ユーザー名が異なるため、設定は反映されませんでした。

処置: 監視モニタの実効ユーザー名を確認してください。また、モニタ制御デーモン動作中は変更できません。

ファイル名 : 行 : maximum of SITE_NODE error (maximum = XXXX).

説明: サイト内の指定可能なノード数を超えました。

処置: 指定可能ノード数以内に修正してください。

ファイル名 : 行 : maximum of PRIMARY_NET_SERVICE_NAME error (maximum = XXXX).

説明: 指定可能なネット・サービス数を超えました。

処置: 指定可能ネット・サービス数以内に修正してください。

ファイル名 : 行 : DB_UNIQUE_NAME is not defined.

説明: DB_UNIQUE_NAME パラメータが定義されていません。

処置: DB_UNIQUE_NAME パラメータを指定してください。

ファイル名 : 行 : SITE_NODE is not defined.

説明: SITE_NODE パラメータが定義されていません。

処置: SITE_NODE パラメータを指定してください。

ファイル名 : 行 : PRIMARY_NET_SERVICE_NAME is not defined.

説明: PRIMARY_NET_SERVICE_NAME パラメータが定義されていません。

処置: PRIMARY_NET_SERVICE_NAME パラメータを指定してください。

ファイル名 : 行 : unmatched Destination Statement id.

説明: Destination ステートメントの識別子が異なります。

処置: DataGuardSite ステートメントの識別子と Destination ステートメントの識別子を一致させてください。

ファイル名 : 行 : Destination Statement is not defined.

説明: Destination ステートメントが定義されていません。

処置: Transport ステートメントを指定した場合、Destination ステートメントは省略できません。Destination ステートメントを指定してください。

ファイル名 : 行 : Transport Statement is not defined.

説明: Transport ステートメントが定義されていません。

処置: StandbyDatabaseMonitor ステートメントを指定した場合、Transport ステートメントは省略できません。Transport ステートメントを指定してください。

ファイル名 : 行 : INTERSITE_PORT/ADMIN_PORT error.

説明: INTERSITE_PORT パラメータのポート番号と ADMIN_PORT パラメータのポート番号が重複しています。

処置: INTERSITE_PORT パラメータのポート番号と ADMIN_PORT パラメータのポート番号を重複しないように指定してください。

ファイル名 : 行 : OWNER_NAME is not defined.

説明: OWNER_NAME パラメータが定義されていません。

処置: OWNER_NAME パラメータを指定してください。

ファイル名 : 行 : SQL_LEVEL mismatch.

説明: SQL_LEVEL パラメータの値が不整合です。

処置: 全ノードステートメントと PluggableDatabaseMonitor ステートメント内または PluggableDatabase ステートメント内の SQL_LEVEL パラメータの値を確認してください。

ファイル名 : 行 : PluggableDatabase statement is mismatch.

説明: PluggableDatabase ステートメントの指定が不整合です。

処置: Oracle がマルチテナント構成であることを確認してください。

ファイル名 : 行 : PluggableDatabase statement is not defined.

説明: PluggableDatabase ステートメントが定義されていません。

処置: PluggableDatabaseMonitor ステートメントを指定した場合、PluggableDatabase ステートメントは省略できません。PluggableDatabase ステートメントを指定してください。

unknown error.

説明: 未知のエラーのため、設定は反映されませんでした。

処置: 各ステートメントを再確認してください。原因が特定できない場合は、ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

関数名(XXXX) failed: YYYY.

説明: 内部処理でエラーが発生しました。

処置: ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

ファイル名 : 行 : Does not find XXXX.

説明: パス XXXX が存在しません。

処置: パス XXXX の指定内容に問題がないことを確認してください。

ファイル名 : 行 : Does not find MONITOR_USER XXXX.

説明: MONITOR_USER に指定したユーザが存在しません。

処置: MONITOR_USER の指定内容に問題がないことを確認してください。

ファイル名 : Failed to allocate memory.

説明: メモリ不足により処理が失敗しました。

処置: システム資源のチューニングが適切であるにもかかわらず本メッセージが出力される場合は、ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

1.2.2. 通知メッセージ

Loading XXXX configuration file YYYY.

説明: 設定ファイル YYYY を読み込みました。

処置: 特に対処の必要はありません。

1.3. モニタ制御デーモン (oramond) 固有メッセージ

本章に記述しているメッセージにしたがって障害解析情報の採取を行う場合は、「2 障害解析情報の採取」を参照してください。

1.3.1. エラーメッセージ

構成ID :Initialization failed.

説明: モニタ制御デーモンの初期化でエラーを検出しました。

処置: ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

構成ID :Failed to read configuration (XXXX).

説明: 構成情報の読み込みに失敗しました。

処置: 設定ファイルに問題がないことを確認してください。管理コマンドを利用して APPLY リクエストを発行しても症状が改善されない場合は、ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

構成ID :Fatal error in main loop.

説明: 致命的なエラーが発生しました。

処置: ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

構成ID :Fatal error in restructure phase.

説明: 再構成中に致命的なエラーが発生しました。

処置: ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

usage: XXXX [-C <component ID>] [-r no]

説明: 指定した引数に誤りがあります。

処置: メッセージにしたがって正しい書式で引数を指定してください。

Failed to expand initial environment.

説明: システム環境の展開に失敗しました。

処置: ApplicationMonitor が正しくインストールされていることを確認してください。
ApplicationMonitor の再インストールを行っても症状が改善されない場合は、
ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

構成 ID :Failed to disconnect terminal XXXX.

説明: 端末の切断に失敗しました。

処置: ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

構成 ID :Only super-user can execute XXXX.

説明: root ユーザー以外のユーザーで起動されました。

処置: モニタ制御デーモンは root ユーザーで起動してください。

構成 ID :関数名() failed.

説明: 内部エラーが発生しました。

処置: ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

構成 ID :Failed to chdir() to BASE XXXX YYYY.

説明: 作業ディレクトリの変更に失敗しました。

処置: 該当する作業ディレクトリに異常がないか確認してください。原因が特定できない場合は、ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

構成 ID :Failed to modify process attribute.

説明: プロセス属性の操作に失敗しました。

処置: ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

構成 ID :Failed to acquire lock file XXXX.

説明: ロックファイルの取得に失敗しました。

処置: ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

構成 ID :admSockInit: Failed 関数名(): XXXX

説明: 内部エラーが発生しました。

処置: ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

構成 ID :関数名 XXXX.

説明: 内部エラーを検出しました。

処置: ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

構成 ID :Non-master node cannot accept administration request.

説明: MASTER ノード以外のノードが管理要求を受け付けました。

処置: ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

構成 ID :Failed to accept administration client.

説明: 管理コマンドの要求受付に失敗しました。

処置: ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

構成 ID :Administration sequence violation. XXXX

説明: 管理コマンドのシーケンス制御で障害を検出しました。

処置: ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

構成 ID :Invalid administration client.

説明: クライアント認証に失敗しました。

処置: ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

構成 ID :Not implemented yet.

説明: 未知の要求を受信しました。

処置: ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

構成ID :Fatal error occurred

説明: 致命的なエラーが発生しました。

処置: ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

構成ID :Failed to initialize UDP socket.

説明: UDP ソケットの初期化に失敗しました。

処置: ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

構成ID :Local node configuration is not in XXXX.

説明: ローカルノードの構成情報がありません。

処置: 設定ファイルを再確認してください。原因が特定できない場合は、ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

構成ID :Failed to collect cluster membership, ELECTION_ACK_TIMEOUT is too short for the system.

説明: クラスタの編成に失敗しました。

処置: ELECTION_ACK_TIMEOUT パラメータのチューニングが必要です。ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

構成ID :Failed to handle disaster information.

説明: メモリ不足により障害情報の操作に失敗しました。

処置: システム資源のチューニングが適切であるにもかかわらず本メッセージが出力される場合は、ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

構成ID :argument is inaccurate.

説明: 引数が不正なため、初期化に失敗しました。

処置: ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

構成 ID :Failed to initialize.

説明: 初期化に失敗しました。

処置: 同時に出力されるメッセージにしたがって対処を行ってください。

構成 ID :Failed to initialize (XXXX).

説明: 初期化に失敗しました。

処置: 同時に出力されるメッセージにしたがって対処を行ってください。

構成 ID :Failed to Execute script "XXXX".

説明: スクリプトの実行に失敗しました。

処置: ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

構成 ID :Failed to kill XXXX

説明: XXXX の KILL に失敗しました。

処置: ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

構成 ID :Not find value from list of parameters.

説明: リストから値を見つけることができませんでした。

処置: ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

構成 ID :XXXX early startup failure.

説明: 初期処理に失敗しました。

処置: ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

構成 ID :boot timeout occurred.

説明: モニタの起動中にタイムアウトが発生しました。

処置: ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

構成 ID :XXXX invalid reply. (YYYY)

説明: 予期しない応答を受信しました。

処置: ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

構成 ID :Failed to receive.

説明: データの受信に失敗しました。

処置: ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

構成 ID :XXXX sequence violation.

説明: シーケンス制御で障害を検出しました。

処置: ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

構成 ID :Failed to get size of XXXX sg.

説明: XXXX の設定情報のサイズを取得できませんでした。

処置: ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

構成 ID :Failed to send request to monitor.

説明: 監視モニタへの要求送信処理に失敗しました。

処置: ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

構成 ID :XXXX dumping failed.

説明: システムステート・ダンプの採取に失敗しました。

処置: Oracle が停止している場合、システムステート・ダンプは採取されません。ただし、他の原因も考えられますので、Oracle および ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

構成 ID :XXXX received header-status is inaccurate.

説明: 予期しないステータスを受信しました。

処置: ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

構成 ID :XXXX invalid reply.

説明: 予期しない応答を受信しました。

処置: ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

構成 ID :XXXX restart retry over (XXXX).

説明: リスナーの再起動を行いましたが、再起動回数を超えても状況が改善されませんでした。

処置: 構成情報のチューニングが適切であるにもかかわらず本メッセージが出力される場合は、ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

構成 ID :XXXX restart retry over.

説明: リスナーの再起動を行いましたが、再起動回数を超えても状況が改善されませんでした。

処置: 構成情報のチューニングが適切であるにもかかわらず本メッセージが出力される場合は、ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

構成 ID :Failed to update tablespace statistics.

説明: 表領域情報の更新に失敗しました。

処置: ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

構成 ID :Failed to update diskpace statistics.

説明: ディスク領域情報の更新に失敗しました。

処置: ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

構成 ID :Failed to update stats statistics.

説明: 統計情報領域の情報更新に失敗しました。

処置: ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

構成 ID :Failed to update standbydb statistics.

説明: スタンバイ監視情報更新に失敗しました。

処置: ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

構成 ID :received header-status is inaccurate.

説明: 予期しないステータスを受信しました。

処置: ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

構成 ID :Failed to update pluggable(XXXX) statistics.

説明: PDB 監視情報更新に失敗しました。

処置: ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

構成 ID :Failed to determine current time.

説明: 現在時間の確定に失敗しました。

処置: ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

構成 ID :Failed to thread init.

説明: スレッドの生成に失敗しました。

処置: ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

構成 ID :Internal error (XXXX).

説明: 内部エラーが発生しました。

処置: ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

構成 ID :received data is inaccurate.

説明: 受信データが不正のため、処理に失敗しました。

処置: ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

構成 ID :Failed to receive message.

説明: メッセージの受信に失敗しました。

処置: ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

構成 ID :Inaccurate data was received.

説明: 不正なデータを受信しました。

処置: ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

構成 ID :received XXXX-type is inaccurate.

説明: 予期しない XXXX タイプを受信しました。

処置: ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

構成 ID :XXXX administration request timed out.

説明: 管理コマンド要求がタイムアウトしました。

処置: 構成情報のチューニングが適切であるにもかかわらず本メッセージが出力される場合は、ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

構成 ID :Failed to get sg-size.

説明: 設定情報の取得に失敗しました。

処置: ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

構成 ID :XXXX status is YYYY.

説明: 監視対象よりエラーステータスを受信しました。

処置: ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

構成 ID :関数名() XXXX.

説明: 内部エラーが発生しました。

処置: ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

構成ID :Failed to connect(). site is XXXX.: YYYY

説明: プライマリ・サイトが見つかりません。

処置: 設定ファイルに問題がないことを確認してください。原因が特定できない場合は、ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

構成ID :pthread_XXXX.

説明: メタ監視機能の初期化でエラーを検出しました。

処置: ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

構成ID :Internal error occurred.

説明: 内部エラーが発生しました。

処置: ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

1.3.2. 警告メッセージ

構成ID :Terminating.

説明: 処理を終了します。

処置: 特に対処の必要はありません。

構成ID :Unauthorized access to administration interface from XXXX.

説明: 管理コマンド許可ノードではありません。

処置: 設定されたノード以外からの管理コマンド実行はできません。許可ノードから実行するか、設定ファイルを修正してください。

構成ID :Administration interface timed out.

説明: 管理コマンドインターフェースでタイムアウトが発生しました。

処置: 特に対処を行う必要はありませんが、本メッセージが頻繁に出力される場合は、ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

構成 ID :UDP read error

説明: メモリ不足により UDP 受信エラーが発生しました。

処置: システム資源のチューニングが適切であるにもかかわらず本メッセージが出力される場合は、ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

構成 ID :UDP unknown message #XXXX.

説明: 未知の要求を受信しました。

処置: ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

構成 ID :Detected sequence violation.

説明: シーケンス制御で障害を検出しました。

処置: ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

構成 ID :XXXX disaster action timed out.

説明: 障害対応処理がタイムアウトしました。

処置: 特に対処を行う必要はありませんが、本メッセージが頻繁に出力される場合は、ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

構成 ID :XXXX verification action timed out.

説明: 検証処理がタイムアウトしました。

処置: 特に対処を行う必要はありませんが、本メッセージが頻繁に出力される場合は、ApplicationMonitor の障害解析情報を取得し、サポートセンターに連絡してください。

構成 ID :no reply for node #XXXX

説明: 該当ノードからの応答がありません。

処置: ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

構成 ID :Node XXXX YYYY timed out.

説明: ポーリング時にタイムアウトを検出しました。

処置: 特に対処を行う必要はありませんが、本メッセージが頻繁に出力される場合は、ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

構成 ID :Oracle disaster detected on node XXXX.

説明: 該当ノード上で Oracle 障害を検出しました。

処置: 本メッセージの前後に Oracle エラーの詳細を示すメッセージが出力された場合は、該当するメッセージにしたがって対処を行ってください。

構成 ID :Heartbeat timeout.

説明: ハートビートでタイムアウトが発生しました。

処置: 特に対処を行う必要はありませんが、本メッセージが頻繁に出力される場合は、ApplicationMonitor の障害解析情報を取得し、サポートセンターに連絡してください。

構成 ID :No response from MASTER.

説明: MASTER からの応答がありません。

処置: ApplicationMonitor は、状況に応じて適切なプロセス制御を行います。対処の必要はありません。

構成 ID :oramond on this node is terminated.

説明: ノード上のモニタ制御デーモンが終了しました。

処置: 特に対処の必要はありません。

構成 ID :XXXX interconnect down. (YYYY)

説明: 通信がダウンしました。

処置: 特に対処を行う必要はありませんが、本メッセージが頻繁に出力される場合は、ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

構成 ID :XXXX stall occurred.

説明: モニタからの応答処理でストールを検出しました。

処置: メッセージの出力が一時的なもので、モニタが継続動作できていれば対処の必要はありませんが、本メッセージが頻繁に出力される場合は、ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

構成 ID :Failed to boot XXXX.

説明: 監視モニタの起動に失敗しました。

処置: 本メッセージの前後にエラーメッセージが出力された場合は、該当するメッセージにしたがって対処を行ってください。

構成 ID :XXXX failed to accomplish restart operation.

説明: 再起動操作を完了することができませんでした。

処置: ApplicationMonitor は、状況に応じて適切なプロセス制御を行います。対処の必要はありません。

構成 ID :XXXX retry over.

説明: 再起動回数の上限を超えました。

処置: 設定ファイルに問題がないことを確認してください。本メッセージが頻繁に出力される場合は、ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

構成 ID :Restart XXXX after YYYY seconds. (ZZZZ/ZZZZ)

説明: 指定された秒数後に再起動処理を行います。

処置: 特に対処の必要はありません。

構成 ID :Failed to send request to instmond. (XXXX)

説明: インスタンス監視モニタへの要求の送信に失敗しました。

処置: ApplicationMonitor は、状況に応じて適切なプロセス制御を行います。対処の必要はありません。

構成ID :XXXX restart error.

説明: 再起動回数の上限を超えました。

処置: 設定ファイルに問題がないことを確認してください。本メッセージが頻繁に出力される場合は、ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

構成ID :XXXX down retry over.

説明: ダウンリトライ回数の上限を超えました。

処置: 設定ファイルに問題がないことを確認してください。本メッセージが頻繁に出力される場合は、ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

構成ID :XXXX down retry. (YYYY/YYYY)

説明: ダウンリトライ処理を行います。

処置: 特に対処の必要はありません。

構成ID :XXXX stall retry over.

説明: ストールリトライ回数の上限を超えました。

処置: 設定ファイルに問題がないことを確認してください。本メッセージが頻繁に出力される場合は、ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

構成ID :XXXX stall retry. (YYYY/YYYY)

説明: ストールリトライ処理を行います。

処置: 特に対処の必要はありません。

構成ID :XXXX error retry over.

説明: エラーリトライ回数の上限を超えました。

処置: 設定ファイルに問題がないことを確認してください。本メッセージが頻繁に出力される場合は、ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

構成ID :XXXX error retry. (YYYY/YYYY)

説明: エラーリトライ処理を行います。

処置: 特に対処の必要はありません。

構成ID :XXXX status is YYYY.

説明: 監視対象より許可エラーステータスを受信しました。

処置: ApplicationMonitor は、状況に応じて適切なプロセス制御を行います。対処の必要はありません。

構成ID :meta-control timed out. Current retry count (XXXX / YYYY).

説明: モニタ制御デーモン自身の監視でタイムアウトを検出しました。マシン負荷などにより動作できない状態です。

監視がリトライオーバーするとモニタ制御デーモンは停止します。

処置: メッセージの出力が一時的なもので、モニタ制御デーモンが継続動作できていれば、対処の必要はありません。本メッセージが頻繁に出力される場合は、マシンの負荷状況などをご確認ください。

構成ID :Intersite communication interface timed out.

説明: サイト間通信に失敗しました。

処置: 特に対処を行う必要はありませんが、本メッセージが頻繁に出力される場合は、ApplicationMonitor の障害解析情報を取得し、サポートセンターに連絡してください。

構成ID :Halt action timed out.

説明: 停止処理がタイムアウトしました。

処置: 特に対処を行う必要はありませんが、本メッセージが頻繁に出力される場合は、ApplicationMonitor の障害解析情報を取得し、サポートセンターに連絡してください。

構成ID :XXXX. Failed to getting primary site information.

説明: プライマリ・サイトの特定に失敗しました。

処置: 特に対処を行う必要はありませんが、本メッセージが頻繁に出力される場合は、ApplicationMonitor の障害解析情報を取得し、サポートセンターに連絡してください。

構成ID :XXXX. Failed to checking broker process.

説明: Oracle Data Guard Broker プロセスの異常を検知しました。

処置: Oracle Data Guard Broker プロセスの状況を確認してください。

構成ID :Broker check: Not supported. db_unique_name is null.

説明: 監視対象データベースが Oracle Data Guard Broker プロセス監視のサポート対象外です。

処置: 監視対象データベースがサポート対象の構成か確認してください。

構成ID :Failed to Execute broker command "XXXX".

説明: Oracle Data Guard Broker プロセス情報取得シェルスクリプトの実行に失敗しました。

処置: ApplicationMonitor の障害解析情報を取得し、サポートセンターに連絡してください。

構成ID :dg offset value is out of range (e.g. 0 - XXXX).

説明: 指定された数値は範囲外の値です。

処置: 範囲内の値を指定してください。

構成ID :Primary site is unknown. XXXX.

説明: プライマリ・サイトの特定に失敗しました。

処置: 特に対処を行う必要はありませんが、本メッセージが頻繁に出力される場合は、ApplicationMonitor の障害解析情報を取得し、サポートセンターに連絡してください。

構成ID :ノード名 監視モニタ名 ステータス.

説明: 該当ノード上の監視モニタで表示されたステータスを検出しました。

処置: 同時に出力されるメッセージにしたがって対処を行ってください。

1.3.3. 通知メッセージ

構成ID :Loading configuration file XXXX.

説明: 設定ファイルの読み込みを行います。

処置: 特に対処の必要はありません。

構成ID :Restructuring enforced.

説明: 再構成が実施されました。

処置: 特に対処の必要はありません。

構成 ID :Restructuring complete, restarting.

説明: 再構成が完了しました。

処置: 特に対処の必要はありません。

構成 ID :ApplicationMonitor XXXX

説明: 本システムのシステム名称です。

処置: 特に対処の必要はありません。

構成 ID :Logging level is XXXX.

説明: ログレベルを設定しました。

処置: 特に対処の必要はありません。

構成 ID :Administration interface is busy.

説明: 管理コマンドは動作中です。

処置: 現在動作中の処理が終了してから再投入してください。

構成 ID :Administration interface is not ready.

説明: 管理コマンドを受け付ける準備ができていません。

処置: しばらくしてから再投入してください。

構成 ID :disconnecting oraadmin.

説明: 管理コマンドの切断を行います。

処置: 特に対処の必要はありません。

構成 ID :All scheduled action is finished.

説明: 予定されていたすべての処理を終了しました。

処置: 特に対処の必要はありません。

構成 ID :Remote disaster action on XXXX finished.

説明: 該当ノードに対する障害処理は終了しました。

処置: 特に対処の必要はありません。

構成 ID :Scheduled verification action is finished.

説明: 予定されていた検証処理を終了しました。

処置: 特に対処の必要はありません。

構成ID :Halting node XXXX. status is YYYY.

説明: 該当ノードの停止を行います。

処置: 特に対処の必要はありません。

構成ID :Permitting Oracle access on node #XXXX.

説明: 各ノード上の監視を開始します。

処置: 特に対処の必要はありません。

構成ID :Forming complete.

説明: クラスタ編成が完了しました。

処置: 特に対処の必要はありません。

構成ID :AM cluster membership:

説明: クラスタ編成されているノードの状態を出力します。

処置: 特に対処の必要はありません。

構成ID :AM cluster shifts to disaster mode.

説明: 障害対応フェーズに移行します。

処置: 特に対処の必要はありません。

構成ID :Dumping on XXXX is scheduled.

説明: 該当ノードでのダンプ採取が行われます。

処置: 特に対処の必要はありません。

構成ID :Scripting on XXXX is scheduled.

説明: 該当ノードでのスクリプト実行が行われます。

処置: 特に対処の必要はありません。

構成ID :AM cluster does not have any effective disaster action.

説明: 有効な障害対応処理が行われませんでした。

処置: 特に対処の必要はありません。

構成ID :Waits for the last notice.

説明: 最終通知を待ち合わせます。

処置: 特に対処の必要はありません。

構成 ID :Waiting all disaster action finished, max XXXX sec.

説明: 障害対応処理の完了を指定された秒数分待ち合わせます。

処置: 特に対処の必要はありません。

構成 ID :XXXX has been suspended, skipping.

説明: 該当ノードはサスペンド状態のため、停止処理を行わずスキップします。

処置: 特に対処の必要はありません。

構成 ID :XXXX configured as NEVER halting node, skipping.

説明: 該当ノードは停止動作の設定が NEVER のため、停止処理を行わずスキップします。

処置: 特に対処の必要はありません。

構成 ID :XXXX configured as OUTLIVE node.

説明: 該当ノードは停止動作の設定が OUTLIVE です。他に生存しているノードが存在しないため、停止処理を行いません。

処置: 特に対処の必要はありません。

構成 ID :Failure on XXXX seems to be recovered.

説明: 該当ノードの障害は復旧される見通しです。

処置: 特に対処の必要はありません。

構成 ID :Selecting halt target node.

説明: 停止対象ノードを選択します。

処置: 特に対処の必要はありません。

構成 ID :Halt allowed node is not exist now.

説明: 現在、停止可能なノードは存在しません。

処置: 特に対処の必要はありません。

構成 ID :OCW verifying XXXX is scheduled.

説明: 該当ノードでの Oracle Clusterware／Oracle Restart 検証が行われます。

処置: 特に対処の必要はありません。

構成 ID :Waiting verification action finished, max XXXX sec.

説明: 検証処理の完了を指定された秒数分待ち合わせます。

処置: 特に対処の必要はありません。

構成 ID :instance of XXXX is restarted.

説明: 該当ノードでのインスタンスが再開されます。

処置: 特に対処の必要はありません。

構成 ID :instance monitoring of XXXX shifts to repetition check mode.

説明: 該当ノードでのインスタンス監視モニタを延命監視モードに変更します。

処置: 特に対処の必要はありません。

構成 ID :Reconstruction enforced.

説明: 再編成が実施されました。

処置: 特に対処の必要はありません。

構成 ID :Observing other AM activity. (XXXX)

説明: 他の ApplicaionMonitor の動作を監視します。

処置: 特に対処の必要はありません。

構成 ID :Cluster forming timed out.

説明: クラスタ編成でタイムアウトが発生しました。

処置: 特に対処の必要はありません。

構成 ID :restart election.

説明: クラスタ再編成が行われます。

処置: 特に対処の必要はありません。

構成 ID :Local scripting timed out.

説明: ローカルノードでのスクリプト実行処理でタイムアウトが発生しました。

処置: 特に対処の必要はありません。

構成 ID :Local dumping timed out.

説明: ローカルノードでのダンプ採取でタイムアウトが発生しました。

処置: 特に対処の必要はありません。

構成 ID :Local scripting is cancel.

説明: ローカルノードでのスクリプト実行処理がキャンセルされました。

処置: 特に対処の必要はありません。

構成 ID :Local dumping is cancel.

説明: ローカルノードでのダンプ採取がキャンセルされました。

処置: 特に対処の必要はありません。

構成 ID : Instance restarted already, So local OCW verifying skipped.

説明: インスタンスはすでに再起動されました。そのため、ローカルノードでの Oracle Clusterware／Oracle Restart の検証処理がスキップされました。

処置: 特に対処の必要はありません。

構成 ID :Local OCW verifying started (max XXXX sec).

説明: ローカルノードでの Oracle Clusterware／Oracle Restart の検証処理が開始されました。

処置: 特に対処の必要はありません。

構成 ID :Local OCW retry over.

説明: ローカルノードでの Oracle Clusterware／Oracle Restart の検証処理がリトライ回数の上限を超えました。

処置: 特に対処の必要はありません。

構成 ID :Local OCW verifying skipped.

説明: ローカルノードでの Oracle Clusterware／Oracle Restart の検証処理がスキップされました。

処置: 特に対処の必要はありません。

構成 ID :Local scripting completed.

説明: ローカルノードでのスクリプト実行処理が完了しました。

処置: 特に対処の必要はありません。

構成 ID :Local dumping completed.

説明: ローカルノードでのダンプ採取が完了しました。

処置: 特に対処の必要はありません。

構成 ID :Local OCW verifying timed out.

説明: ローカルノードでの Oracle Clusterware／Oracle Restart の検証処理でタイムアウトが発生しました。

処置: 特に対処の必要はありません。

構成 ID :Local OCW verifying completed.

説明: ローカルノードでの Oracle Clusterware／Oracle Restart の検証処理が完了しました。

処置: 特に対処の必要はありません。

構成 ID :SMON terminating timed out.

説明: SMON プロセスの終了処理でタイムアウトが発生しました。

処置: 特に対処の必要はありません。

構成 ID :SMON terminating completed.

説明: SMON プロセスの終了処理が完了しました。

処置: 特に対処の必要はありません。

構成 ID :Issuing AM cluster reconstruction.

説明: クラスタ編成要求を送信します。

処置: 特に対処の必要はありません。

構成 ID :Detecting other AM.

説明: 他のモニタ制御デーモンを検出します。

処置: 特に対処の必要はありません。

構成 ID :Forming an AM cluster as MASTER.

説明: 本ノードは MASTER として動作します。

処置: 特に対処の必要はありません。

構成 ID :Joining an AM cluster as SLAVE. MASTER node is XXXX.

説明: 本ノードは SLAVE として動作します。

処置: 特に対処の必要はありません。

構成ID :Monitoring activity on local node is started.

説明: ローカルノード上の監視処理が開始されます。

処置: 特に対処の必要はありません。

構成ID :Notifies of final status.

説明: 最終的な状態を報告します。

処置: 特に対処の必要はありません。

構成ID :Local node has been shifted to disaster mode.

説明: ローカルのノードは障害対応フェーズに移行しました。

処置: 特に対処の必要はありません。

構成ID :Local dumping not ready.

説明: ローカルノードでのダンプ採取を行う準備ができていません。

処置: 特に対処の必要はありません。

構成ID :Local dumping started (max XXXX sec).

説明: ローカルノードでのダンプ採取が開始されました。

処置: 特に対処の必要はありません。

構成ID :Local dumping skipped.

説明: ローカルノードでのダンプ採取がスキップされました。

処置: 特に対処の必要はありません。

構成ID :Local scripting started (max XXXX sec).

説明: ローカルノードでのスクリプト実行処理が開始されました。

処置: 特に対処の必要はありません。

構成ID :Local scripting skipped.

説明: ローカルノードでのスクリプト実行処理がスキップされました。

処置: 特に対処の必要はありません。

構成ID :Executing script "XXXX".

説明: スクリプトを実行します。

処置: 特に対処の必要はありません。

構成ID :Terminating XXXX.

説明: XXXX を終了します。

処置: 特に対処の必要はありません。

構成ID :XXXX terminated.

説明: XXXX が終了しました。

処置: 特に対処の必要はありません。

構成ID :XXXX: generate YYYY byte output.

説明: YYYY バイトの出力を生成します。

処置: 特に対処の必要はありません。

構成ID :XXXX: instance retry over.

説明: インスタンスはリトライ回数の上限を超えました。

処置: 特に対処の必要はありません。

構成ID :XXXX: instance retrying.

説明: インスタンスはリトライ中です。

処置: 特に対処の必要はありません。

構成ID :XXXX started.

説明: 監視を開始します。

処置: 特に対処の必要はありません。

構成ID :XXXX dumping completed.

説明: ダンプ採取が完了しました。

処置: 特に対処の必要はありません。

構成ID :XXXX dumping failed.

説明: ダンプ採取が失敗しました。

処置: 特に対処の必要はありません。

構成ID :XXXX dump success. (YYYY/YYYY)

説明: ダンプ採取に成功しました。(採取回数)

処置: 特に対処の必要はありません。

構成 ID :XXXX dump fail. (YYYY/YYYY)

説明: ダンプ採取に失敗しました。(採取回数)

処置: 特に対処の必要はありません。

構成 ID :XXXX target listener has been restarted.

説明: リスナーが再起動されました。

処置: 特に対処の必要はありません。

構成 ID :XXXX failed to restart target listener.

説明: リスナーの再起動に失敗しました。

処置: 特に対処の必要はありません。

構成 ID :XXXX does not start monitoring on SECONDARY node.

説明: セカンダリノード上での監視を行いません。

処置: 特に対処の必要はありません。

構成 ID :XXXX does not start monitoring on STANDBY node.

説明: スタンバイノード上での監視を行いません。

処置: 特に対処の必要はありません。

構成 ID :XXXX target instance is PRIMARY_INSTANCE.

説明: インスタンスはプライマリです。

処置: 特に対処の必要はありません。

構成 ID :poll_timeout was changed (XXXX -> YYYY).

説明: POLL_TIMEOUT パラメータに設定された時間が短いため、Oracle の環境に合わせた時間に変更して監視を行います。

処置: 特に対処の必要はありません。

構成 ID :XXXX target instance is SECONDARY_INSTANCE.

説明: インスタンスはセカンダリです。

処置: 特に対処の必要はありません。

構成 ID :XXXX target instance is STANDBY_DATABASE.

説明: 監視対象は、スタンバイ・データベースです。

処置: 特に対処の必要はありません。

構成ID :XXXX restarting by resume request.

説明: レジューム要求により監視を再開しました。

処置: 特に対処の必要はありません。

構成ID :XXXX status reconfirmed as UP by retry operation.

説明: リトライ処理により UP と再確認されました。

処置: 特に対処の必要はありません。

構成ID :Returns to usual check mode (instance check).

説明: 通常の監視モードに戻ります。

処置: 特に対処の必要はありません。

構成ID :XXXX status is YYYY.

説明: 出力されたステータスを受信しました。

処置: 特に対処の必要はありません。

構成ID :Intersite communication disconnected.

説明: サイト間通信が切れました。

処置: 特に対処の必要はありません。

構成ID :Restart timeout occurred.

説明: 再起動処理でタイムアウトが発生しました。

処置: 特に対処の必要はありません。

構成ID :Restarting timer has been set to XXXX sec. node of the origin is YYYY.

説明: 再起動待ち合わせの上限は XXXX 秒です。該当ノードは YYYY です。

処置: 特に対処の必要はありません。

構成ID :Reconfig timer has been set to XXXX sec.

説明: リコンフィグ待ち合わせの上限は XXXX 秒です。

処置: 特に対処の必要はありません。

構成ID :Reconfiguration started.

説明: Oracle のリコンフィグが開始されました。

処置: 特に対処の必要はありません。

構成 ID :Reconfiguration timed out.

説明: リコンフィグの待ち合わせ時間を過ぎました。

処置: 特に対処の必要はありません。

構成 ID :Reconfiguration complete.

説明: Oracle のリコンフィグが終了しました。

処置: 特に対処の必要はありません。

構成 ID :Completed instance recovery, XXXX.

説明: Oracle のリカバリが完了しました。

処置: 特に対処の必要はありません。

構成 ID :Completed instance recovery.

説明: Oracle のリカバリが完了しました。

処置: 特に対処の必要はありません。

構成 ID :Start monitoring, XXXX.

説明: モニタリングを開始します。

処置: 特に対処の必要はありません。

構成 ID :Status is up, so completed instance recovery, XXXX.

説明: UP を検知したので、Oracle のリカバリが完了したと判断します。

処置: 特に対処の必要はありません。

構成 ID :Status is up, so completed instance recovery.

説明: UP を検知したので、Oracle のリカバリが完了したと判断します。

処置: 特に対処の必要はありません。

構成 ID :Restarting timer is canceled.

説明: 再起動待ち合わせがキャンセルされました。

処置: 特に対処の必要はありません。

構成 ID :Switchover timed out.

説明: Oracle Data Guard によるフェイルオーバーの待ち合わせ時間を過ぎました。

処置: 特に対処の必要はありません。

構成 ID :ASM restart timed out.

説明: ASM インスタンス再起動の待ち合わせ時間を過ぎました。

処置: 特に対処の必要はありません。

構成 ID :Switchover completed.

説明: Oracle Data Guard によるフェイルオーバーが終了しました。

処置: 特に対処の必要はありません。

構成 ID :ASM restart completed.

説明: ASM インスタンスの再起動が終了しました。

処置: 特に対処の必要はありません。

構成 ID :Switchover started(max XXXX sec).

説明: Oracle Data Guard によるフェイルオーバーが開始されました。

処置: 特に対処の必要はありません。

構成 ID :ASM restarted(max XXXX sec).

説明: ASM インスタンスの再起動が開始されました。

処置: 特に対処の必要はありません。

構成 ID :Primary site is XXXX.

説明: プライマリ・サイトの特定に成功しました。

処置: 特に対処の必要はありません。

構成 ID :Begin XXXX process.

説明: リクエスト処理が開始されました。

処置: 特に対処の必要はありません。

構成 ID :Meta-Control stop.

説明: モニタ自身の監視を停止しました。

処置: 特に対処の必要はありません。

構成 ID :Monitoring suspended.

説明: 監視処理が一時停止されました。

処置: 特に対処の必要はありません。

構成ID :Meta-Control restart error.

説明: モニタ自身の監視を再開できませんでした。

処置: 本メッセージが頻繁に出力される場合は、マシンの負荷状況などをご確認ください。

構成ID :Meta-Control start.

説明: モニタ自身の監視が再開されました。

処置: 本メッセージが頻繁に出力される場合は、マシンの負荷状況などをご確認ください。

構成ID :Monitoring resumed.

説明: 監視処理が再開されました。

処置: 特に対処の必要はありません。

構成ID :Monitoring resumed (pdb start).

説明: PDB 監視処理が再開されました。

処置: 特に対処の必要はありません。

構成ID :Action as standby site.

説明: スタンバイ・データベース監視用に動作します。

処置: 特に対処の必要はありません。

構成ID :Action as primary site.

説明: プライマリ・データベース監視用に動作します。

処置: 特に対処の必要はありません。

構成ID :No. ノード名 ステータス

説明: 各ノードの状態を出力します。

処置: 特に対処の必要はありません。

1.4. インスタンス監視モニタ (instmond) 固有メッセージ

本章に記述しているメッセージにしたがって障害解析情報の採取を行う場合は、「2 障害解析情報の採取」を参照してください。

1.4.1. エラーメッセージ

[構成ID] Failed to check argument(s).

説明: 起動時に不正な引数が指定されました。

処置: 正しい引数を指定してください。

[構成ID] Failed to changing work directory. XXXX

説明: 作業ディレクトリの変更に失敗しました。

処置: インストールが正しく行われていることを確認してください。
ApplicationMonitor の再インストールを行っても症状が改善されない場合は、ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

[構成ID] Failed to receive XXXX

説明: メッセージの受信処理が失敗しました。

処置: ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

[構成ID] Received unknown message type.

説明: モニタ制御デーモンから不正なメッセージを受信しました。

処置: ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

[構成ID] Failed to allocate memory. XXXX

説明: メモリ不足により監視結果送信用バッファの確保に失敗しました。

処置: システム資源のチューニングが適切であるにもかかわらず本メッセージが出力される場合は、ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

[構成 ID] sg_check: Failed to allocate memory. status:XXXX

説明: メモリ不足により構成情報確認結果送信用バッファの確保に失敗しました。

処置: システム資源のチューニングが適切であるにもかかわらず本メッセージが出力される場合は、ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

[構成 ID] Failed to reply message (XXXX).

説明: メッセージの返信に失敗しました。

処置: ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

[構成 ID] Received unknown message type XXXX.

説明: モニタ制御デーモンから不正なメッセージを受信しました。

処置: ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

[構成 ID] Failed to send message.

説明: メッセージの送信に失敗しました。

処置: ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

XXXX: Invalid argument YYYY

Usage: ZZZZ [-C <component id>]

説明: 指定した引数に誤りがあります。

処置: 同時に出力される Usage メッセージの書式で実行されるように設定が行われているか確認してください。

[構成 ID] Failed to decode sg data. status:XXXX

説明: 構成情報の解読に失敗しました。

処置: ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

[構成ID] Failed to set error argument. status:XXXX

説明: インスタンス監視時、Oracle エラーのフィルタリングに用いる、Oracle エラーコード・セットの読み込みに失敗しました。

処置: ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

[構成ID] Failed to load sg data. status:initial

説明: 設定ファイルの読み込みに失敗しました。

処置: 設定ファイルに問題がないことを確認してください。原因が特定できない場合は、ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

[構成ID] 関数名() failed: XXXX

説明: 内部処理でエラーが発生しました。

処置: ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

[構成ID] Failed to send startup message.

説明: 起動応答メッセージの送信に失敗しました。

処置: モニタ制御デーモンが正常に動作しているにもかかわらず本メッセージが頻繁に出力される場合は、ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

[構成ID] 関数名: argument is inaccurate.

説明: 内部エラーが発生しました。

処置: ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

[構成ID] [プロセスID] XXXX: YYYY is inaccurate.

説明: 内部エラーが発生しました。

処置: ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

[構成 ID] Failed in the start of child process (ICK).

説明: 監視用子プロセスの起動に失敗しました。

処置: ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

[構成 ID] [プロセス ID] Failed to send XXXX message.

説明: メッセージの送信に失敗しました。

処置: モニタ制御デーモンが正常に動作しているにもかかわらず本メッセージが頻繁に出力される場合は、ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

[構成 ID] Failed to send XXXX message.(YYYY)

説明: メッセージの送信に失敗しました。

処置: モニタ制御デーモンが正常に動作しているにもかかわらず本メッセージが頻繁に出力される場合は、ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

[構成 ID] 関数名(): Failed to reply message.

説明: メッセージの返信に失敗しました。

処置: ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

[構成 ID] 関数名(): Failed to reply message (XXXX).

説明: メッセージの返信に失敗しました。

処置: ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

[構成 ID] 関数名(): Failed to summary of status.

説明: ステータスの集約に失敗しました。

処置: ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

[構成 ID] 関数名(): invalid message type (XXXX)

説明: 無効なメッセージです。

処置: ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

[構成 ID] Failed to get table list. status:XXXX

説明: 構成情報の確認に用いる任意表リストの取得に失敗しました。

処置: ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

[構成 ID] Failed to get tablespace list. status: XXXX

説明: 構成情報の確認に用いる表領域リストの取得に失敗しました。

処置: ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

[構成 ID] Failed to get pdb list. status: XXXX

説明: 構成情報の確認に用いる PDB リストの取得に失敗しました。

処置: ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

[構成 ID] Failed to get pdb table list. status:XXXX

説明: 構成情報の確認に用いる PDB の任意表リストの取得に失敗しました。

処置: ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

[構成 ID] Failed to encode sg data. status:XXXX

説明: 構成情報の符号化に失敗しました。

処置: ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

[構成 ID] Failed to mkdir XXXX: YYYY

説明: 作業ディレクトリの作成に失敗しました。

処置: システム資源のチューニングが適切であるにもかかわらず本メッセージが出力される場合は、ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

[構成 ID] Failed to getting oracle version.

説明: Oracle のバージョンの取得に失敗しました。

処置: ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

[構成 ID] Failed to getting oracle revision.

説明: Oracle のリビジョンの取得に失敗しました。

処置: ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

[構成 ID] Failed to load exception data.

説明: 設定ファイルの読み込みに失敗しました。

処置: ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

[構成 ID] Failed to get configuration number.

説明: 構成番号の取得に失敗しました。

処置: ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

[構成 ID] select(): Error occurred XXXX. YYYY

説明: select() によるイベント待ち合わせ処理でエラーが発生しました。

処置: ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

[構成 ID] [プロセス ID] 関数名(): invalid status

説明: 無効なステータスです。

処置: ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

[構成 ID] [プロセス ID] Failed to connect XXXX.

説明: Oracle データベースの接続に失敗しました。

処置: ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

[構成 ID] [プロセス ID] Cannot switch pluggable database to XXXX.

説明: PDB への切り替えが行えませんでした。

処置: ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

[構成 ID] [プロセス ID] Failed to get oracle info. status:initial

説明: Oracle データベース情報の取得に失敗しました。

処置: ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

[構成 ID] [プロセス ID] Failed to run check.

説明: Oracle の接続確認に失敗しました。

処置: ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

[構成 ID] [プロセス ID] XXXX [malloc()|realloc()] failed: YYYY

説明: 領域の確保に失敗しました。

処置: システム資源のチューニングが適切であるにもかかわらず本メッセージが出力される場合は、ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

[構成 ID] [プロセス ID] Cannot allocate memory for XXXX descriptor.

説明: 領域の確保に失敗しました。

処置: システム資源のチューニングが適切であるにもかかわらず本メッセージが出力される場合は、ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

[構成 ID] [プロセス ID] Failed to Allocate memory for the select and bind descriptors.

説明: 領域の確保に失敗しました。

処置: システム資源のチューニングが適切であるにもかかわらず本メッセージが出力される場合は、ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

[構成 ID] [プロセス ID] exec_statement: failed to sql statement

説明: 実行用 SQL 文の不整合が検出されました。

処置: ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

[構成ID] sql_error:Oracle error occurred. ORACLE_ERROR_CODE

説明: インスタンス監視モニタが発行した SQL ステートメントが異常終了しました。ApplicationMonitor は、発生したエラーの種別にしたが、監視結果をモニタ制御デーモンに送信します。

処置: インスタンス監視モニタの設定に問題がある場合を除き、通常は対処の必要はありません。メッセージ内に示された Oracle エラーコードを参照し、設定ファイルに誤りがないことを確認してください。運用中のシステムで、メッセージ内に示された Oracle エラーコードに対して適切でない状態遷移が行われた場合は、Oracle および ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。Oracle のエラーコードについては、Oracle のマニュアル『Database エラー・メッセージ』を参照してください。

[構成ID] 関数名() : Failed to connect with Oracle.

説明: Oracle への接続操作に失敗しました。

処置: 本メッセージの前後に Oracle エラーの詳細を示すメッセージが出力されている場合は、該当するメッセージにしたがって処理を行ってください。

[構成ID] Failed to XXXX.

説明: 内部処理でエラーが発生しました。

処置: ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

[構成ID] execute_select: Failed to XXXX

説明: インスタンス監視処理でエラーが発生しました。ApplicationMonitor は、発生したエラーの種別にしたがって監視結果をモニタ制御デーモンに送信します。

処置: 出力されたエラーメッセージが接続に失敗したことを示す場合、設定ファイルの Table ステートメント内に指定した表名／ユーザー名／パスワードが誤っている可能性がありますので正しく設定されているか確認してください。以上の対処を行っても問題が解決しない場合は、ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

1.4.2. 警告メッセージ

[構成ID] Failed to check history of dump.

[構成ID] Use initial file name for dump.

説明: トレースログファイルの初期処理に失敗しました。初期値を使用します。

処置: トレースログ出力先のファイルシステムに異常がないことを確認してください。異常がない場合は、存在するトレースログファイルを削除してください。本メッセージが頻繁に出力される場合は、ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

[構成ID] Pipe closed by peer.

説明: モニタ制御デーモンとの通信用 PIPE が切断されました。

処置: ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

[構成ID] Failed to send message (XXXX).

説明: メッセージの送信に失敗しました。

処置: モニタ制御デーモンが正常に動作しているにもかかわらず本メッセージが頻繁に出力される場合は、ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

[構成ID] XXXX stall occurred.

説明: 監視用子プロセスの応答処理でストールを検出しました。

処置: メッセージの出力が一時的なもので、インスタンス監視モニタが継続動作できていれば対処の必要はありませんが、本メッセージが頻繁に出力される場合は、ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

[構成ID] State of trace-log cannot be confirmed in loop.

説明: トレースログ監視は行われません。

処置: 同時に出力されるエラーメッセージにしたがって対処してください。原因が特定できない場合は、ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

[構成 ID] [プロセス ID] Cannot switch pluggable database to XXXX.

説明: PDB への切り替えが行えませんでした。

処置: 本メッセージの前後に出力される Oracle エラーの詳細を示すメッセージにしたがって対処を行ってください。

[構成 ID] 関数名() : Cannot switch pluggable database to XXXX.

説明: PDB への切り替えが行えませんでした。

処置: 本メッセージの前後に出力される Oracle エラーの詳細を示すメッセージにしたがって対処を行ってください。

[構成 ID] Pluggable database not open.(pdb = XXXX)

説明: PDB がオープンされていません。

処置: 本メッセージの前後に Oracle エラーの詳細を示すメッセージが出力されている場合は、該当するメッセージにしたがって対処を行ってください。

[構成 ID] Some pluggable database not open.

説明: 複数の PDB がオープンされていません。

処置: 本メッセージの前後に Oracle エラーの詳細を示すメッセージが出力されている場合は、該当するメッセージにしたがって対処を行ってください。

[構成 ID] inst_check: Cannot switch container database.

説明: CDB への切り替えが行えませんでした。

処置: 本メッセージの前後に出力される Oracle エラーの詳細を示すメッセージにしたがって対処を行ってください。

[構成 ID] inst_check: Database not open (pdb is XXXX).

説明: PDB がオープンされていません。

処置: 本メッセージの前後に出力される Oracle エラーの詳細を示すメッセージにしたがって対処を行ってください。

[構成 ID] inst_check: Cannot switch database (pdb is XXXX).

説明: PDB への切り替えが行えませんでした。

処置: 本メッセージの前後に出力される Oracle エラーの詳細を示すメッセージにしたがって対処を行ってください。

[構成ID] user_table_check: Allowable error occurred:select user table.

説明: 設定ファイルの Table ステートメントに指定した表に対する監視処理で、許可エラーとして定義されている異常が発生しました。

処置: 通常は対処の必要はありませんが、本メッセージが頻繁に出力される場合は、本メッセージの前後に出力される Oracle エラーの詳細を示すメッセージにしたがって対処を行ってください。

[構成ID] execute_select: Allowable error occurred(for table XXXX) (YYYY).

説明: インスタンス監視処理中に許可エラーとして定義されている異常が発生しました。

処置: 通常は対処の必要はありませんが、本メッセージが頻繁に出力される場合は、本メッセージの前後に出力される Oracle エラーの詳細を示すメッセージにしたがって対処を行ってください。

[構成ID] sql_error: Allowable error occurred. ORACLE_ERROR_CODE

説明: インスタンス監視処理中に許可エラーが発生しました。インスタンス監視モニタには、Oracle の異常とは判断できないエラーのセットが許可エラーとして定義されています。

処置: 通常は対処の必要はありませんが、本メッセージが頻繁に出力される場合は、インスタンス監視の精度が低下する恐れがありますので、表示された Oracle エラーコードおよび Oracle のアラート・ログを参照し、エラーの原因を取り除いてください。Oracle のエラーコードについては、Oracle のマニュアル『Database エラー・メッセージ』を参照してください。

[構成ID] reconnection. ORACLE_ERROR_CODE

説明: インスタンス監視処理中にデータベースのセッションが切れました。インスタンス監視モニタは、Oracle に再接続して監視動作を継続します。

処置: 通常は対処の必要はありませんが、本メッセージが頻繁に出力される場合は、インスタンス監視の精度が低下する恐れがありますので、表示された Oracle エラーコードおよび Oracle のアラート・ログを参照し、エラーの原因を取り除いてください。Oracle のエラーコードについては、Oracle のマニュアル『Database エラー・メッセージ』を参照してください。

1.4.3. 通知メッセージ

[構成ID] Disaster detected in repetition check mode.

説明: 延命監視モード中に障害を検知しました。

処置: 特に対処の必要はありません。

[構成ID] No process. (name=XXXX)

説明: プロセス障害を検知しました。

処置: ApplicationMonitor は、状況に応じて適切に動作します。特に対処の必要はありません。

[構成ID] Restart process. (name=XXXX)

説明: 対象プロセスを再起動します。

処置: 特に対処の必要はありません。

[構成ID] Target file is re-opened.

説明: 対象ファイルを再オープンします。

処置: 特に対処の必要はありません。

[構成ID] Agreed to XXXX-statement.(YYYY)

説明: 監視対象文字列を検知しました。

処置: 特に対処の必要はありません。

[構成ID] Disaster decision message has been output. status is STALL.

説明: 障害確定メッセージが出力されているため、ストールと判断します。

処置: 特に対処の必要はありません。

1.5. PDB 監視モニタ (pdbmond) 固有メッセージ

本章に記述しているメッセージにしたがって障害解析情報の採取を行う場合は、「2 障害解析情報の採取」を参照してください。

1.5.1. エラーメッセージ

[構成ID] Failed to check argument(s).

説明: 起動時に不正な引数が指定されました。

処置: 正しい引数を指定してください。

[構成ID] Failed to changing work directory. XXXX

説明: 作業ディレクトリの変更に失敗しました。

処置: インストールが正しく行われていることを確認してください。
ApplicationMonitor の再インストールを行っても症状が改善されない場合は、ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

[構成ID] select(): Error occurred XXXX. YYYY

説明: select() によるイベント待ち合わせ処理でエラーが発生しました。

処置: ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

[構成ID] Failed to receive message before loop.

説明: メッセージの受信処理が失敗しました。

処置: ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

[構成ID] Received unknown message type.

説明: 不正なメッセージを受信しました。

処置: ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

[構成ID] pdbmond: Failed to allocate memory. status:send_data_area

説明: メモリ不足により構成情報確認結果送信用バッファの確保に失敗しました。

処置: システム資源のチューニングが適切であるにもかかわらず本メッセージが出力される場合は、ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

[構成ID] Failed to decode pdbmond's XXXX. status:initial

説明: 構成情報の解読に失敗しました。

処置: ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

[構成ID] Failed to set error argument. status:initial

説明: Oracle エラーのフィルタリングに用いる、Oracle エラーコード・セットの読み込みに失敗しました。

処置: ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

[構成ID] Failed to load sg data. status:initial

説明: 設定ファイルの読み込みに失敗しました。

処置: 設定ファイルに問題がないことを確認してください。原因が特定できない場合は、ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

[構成ID] Failed to send startup message.

説明: 起動応答メッセージの送信に失敗しました。

処置: モニタ制御デーモンが正常に動作しているにもかかわらず本メッセージが頻繁に出力される場合は、ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

[構成ID] Failed to get process area.

説明: プロセス領域の取得に失敗しました。

処置: ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

[構成 ID] Failed to reply message.(XXXX)

説明: メッセージの返信に失敗しました。

処置: ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

[構成 ID] Invalid file descriptor.

説明: 監視プロセスの特定に失敗しました。

処置: ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

[構成 ID] Failed to receive in loop (XXXX).

説明: メッセージの受信に失敗しました。

処置: ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

[構成 ID] Received unknown request. (request is XXXX).

説明: 未知のリクエストを受信しました。

処置: ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

XXXX: Invalid argument YYYY

Usage: ZZZZ [-C <component id>]

説明: 指定した引数に誤りがあります。

処置: 同時に出力される Usage メッセージの書式で実行されるように設定が行われているか確認してください。

[構成 ID] getPdbProcess: Failed to allocate memory.

説明: メモリ不足によりバッファの確保に失敗しました。

処置: システム資源のチューニングが適切であるにもかかわらず本メッセージが出力される場合は、ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

[構成 ID] [PDB 名] Failed to changing work directory. XXXX

説明: 作業ディレクトリの変更に失敗しました。

処置: インストールが正しく行われていることを確認してください。
ApplicationMonitor の再インストールを行っても症状が改善されない場合は、
ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

[構成 ID] [PDB 名] pdbStartProcess: dup2(XXXX): YYYY

説明: 内部エラーが発生しました。

処置: ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

[構成 ID] [PDB 名] Failed to allocate memory. status:initial

説明: メモリ不足により処理が失敗しました。

処置: システム資源のチューニングが適切であるにもかかわらず本メッセージが出力される場合は、ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

[構成 ID] [PDB 名] select(): Error occurred in loop. XXXX

説明: select() によるイベント待ち合わせ処理でエラーが発生しました。

処置: ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

[構成 ID] [PDB 名] Failed to receive in loop (XXXX).

説明: メッセージの受信に失敗しました。

処置: ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

[構成 ID] [PDB 名] Received unknown request. (request is XXXX).

説明: 未知のリクエストを受信しました。

処置: ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

[構成ID] [PDB 名] Failed to reply message.(rp=XXXX)

説明: メッセージの返信に失敗しました。

処置: ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

[構成ID] [PDB 名] Reopening failed.

説明: PDB の再オープンに失敗しました。

処置: ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

[構成ID] [PDB 名] Failed to send message.(rq=XXXX)

説明: メッセージの送信に失敗しました。

処置: ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

[構成ID] [PDB 名] down retry over.

説明: ダウンリトライ回数の上限を超えました。

処置: 設定ファイルに問題がないことを確認してください。本メッセージが頻繁に出力される場合は、ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

[構成ID] [PDB 名] stall retry over.

説明: ストールリトライ回数の上限を超えました。

処置: 設定ファイルに問題がないことを確認してください。本メッセージが頻繁に出力される場合は、ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

[構成ID] [PDB 名] Failed to receive in loop.

説明: メッセージの受信に失敗しました。

処置: ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

[構成ID] [PDB 名] Failed to send message.

説明: メッセージの送信に失敗しました。

処置: ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

[構成ID] [PDB 名] pdbSCheck: Failed to XXXX check.

説明: PDB の確認処理でエラーが発生しました。

処置: ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

Closing failed.

説明: PDB のクローズ処理に失敗しました。

処置: ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

1.5.2. 警告メッセージ

[構成ID] [PDB 名] Failed to check history of dump.

[構成ID] [PDB 名] Use initial file name for dump.

説明: トレースログファイルの初期処理に失敗しました。初期値を使用します。

処置: トレースログ出力先のファイルシステムに異常がないことを確認してください。異常がない場合は、存在するトレースログファイルを削除してください。本メッセージが頻繁に出力される場合は、ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

[構成ID] Failed to start child process (target is XXXX).

説明: 監視用子プロセスの起動に失敗しました。

処置: 特に対処を行う必要はありませんが、本メッセージが頻繁に出力される場合は、ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

[構成ID] [PDB 名] Failed to start child process.

説明: 監視用子プロセスの起動に失敗しました。

処置: 特に対処を行う必要はありませんが、本メッセージが頻繁に出力される場合は、ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

[構成ID] [PDB 名] pdb_init_check: Failed to connect db.

説明: Oracle データベースの接続に失敗しました。

処置: 特に対処を行う必要はありませんが、本メッセージが頻繁に出力される場合は、ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

[構成 ID] [PDB 名] pdb_user_table_check: Failed to XXXX(for table YYYY).

説明: PDB 監視処理でエラーが発生しました。

処置: 特に対処を行う必要はありませんが、本メッセージが頻繁に出力される場合は、ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

[構成 ID] [PDB 名] down retry. (XXXX/YYYY)

説明: ダウンリトライ処理を行います。

処置: 特に対処の必要はありません。

[構成 ID] [PDB 名] stall retry. (XXXX/YYYY)

説明: ストールリトライ処理を行います。

処置: 特に対処の必要はありません。

1.5.3. 通知メッセージ

[構成 ID] [PDB 名] Reopening of pluggable database timed out. so start monitoring.

説明: PDB の再オープンがタイムアウトしたため、開始を再開します。

処置: 特に対処の必要はありません。

[構成 ID] [PDB 名] Reopening completed.

説明: PDB の再オープンが終了しました。

処置: 特に対処の必要はありません。

[構成 ID] [PDB 名] configured as NEVER.

説明: PDB の再オープン動作の設定が NEVER のため、PDB の再オープンは行わず、監視を継続します。

処置: 特に対処の必要はありません。

[構成 ID] [PDB 名] Limiter of reopening has been set to XXXX sec.

説明: PDB の再オープン待ち合わせの上限は XXXX 秒です。

処置: 特に対処の必要はありません。

[構成 ID] [PDB 名] Status reconfirmed as UP by retry operation.

説明: リトライ処理により UP と再確認されました。

処置: 特に対処の必要はありません。

1 メッセージ一覧

Closing of pluggable database timed out. so start monitoring.

説明: PDB のクローズ処理がタイムアウトしました。監視を再開します。

処置: 特に対処の必要はありません。

Closing completed.

説明: PDB のクローズ処理が完了しました。

処置: 特に対処の必要はありません。

1.6. リスナー監視モニタ (lsnrmond) 固有メッセージ

本章に記述しているメッセージにしたがって障害解析情報の採取を行う場合は、「2 障害解析情報の採取」を参照してください。

1.6.1. エラーメッセージ

[構成ID] [リスナー名] Failed to check argument(s).

説明: 起動時に不正な引数が指定されました。

処置: 正しい引数を指定してください。

[構成ID] [リスナー名] Failed to changing work directory. XXXX

説明: 作業ディレクトリの変更に失敗しました。

処置: インストールが正しく行われていることを確認してください。
ApplicationMonitor の再インストールを行っても症状が改善されない場合は、ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

[構成ID] [リスナー名] Failed to load sg data. status:XXXX

説明: 構成情報の読み込みに失敗しました。

処置: 設定ファイルに問題がないことを確認してください。原因が特定できない場合は、ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

[構成ID] [リスナー名] Failed to search sg data. status:XXXX

説明: リスナー監視用の構成情報の展開に失敗しました。

処置: 設定ファイルのリスナー監視設定部分に問題がないことを確認してください。
原因が特定できない場合は、ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

[構成ID] [リスナー名] Failed to 関数名().

説明: 内部処理でエラーが発生しました。

処置: ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

[構成 ID] [リスナー名] Failed to set error argument. status:XXXX

説明: リスナー監視時、Oracle エラーのフィルタリングに用いる、Oracle エラーコード・セットの読み込みに失敗しました。

処置: ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

[構成 ID] [リスナー名] Failed to thread init.

説明: スレッドの生成に失敗しました。

処置: ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

XXXX: Invalid argument: YYYYY

Usage: XXXX [-C <component id>] -s <listener name> [-r no]

説明: 指定された引数に誤りがあります。

処置: 同時に出力される Usage メッセージの書式で実行されるように設定が行われているか確認してください。

[構成 ID] [リスナー名] Failed to open(): XXXX

説明: ファイルのオープンに失敗しました。

処置: ファイルシステムに異常がないか確認してください。原因が特定できない場合は、ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

[構成 ID] [リスナー名] Isnrmond is already running.

説明: リスナー監視モニタは、すでに起動されています。

処置: リスナー監視モニタが停止しているにもかかわらず本メッセージが出力される場合は、ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

[構成 ID] [リスナー名] Socket initialize failed.

説明: 単独起動時、ソケットの初期化に失敗しました。

処置: ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

[構成ID] [リスナー名] select(): Error occurred. XXXX

説明: select() によるイベント待ち合わせ処理でエラーが発生しました。

処置: ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

[構成ID] [リスナー名] XXXX retry over, so going down.

説明: リトライ回数を超えたため、処理を終了します。

処置: 設定ファイルのリスナー監視設定部分に問題がないことを確認してください。
原因が特定できない場合は、ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

[構成ID] [リスナー名] Failed to am_monsock_cmdrecv().

説明: 単独起動時、リクエストの受信に失敗しました。

処置: ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

[構成ID] [リスナー名] Failed to send monitor status data.

説明: 単独起動時、SHOW リクエストに対する監視結果の送信に失敗しました。

処置: ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

[構成ID] [リスナー名] Received unknown request.

説明: 単独起動時、未知のリクエストを受信しました。

処置: ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

[構成ID] [リスナー名] Failed to send command status

説明: 単独起動時、リクエストに対するステータスの送信に失敗しました。

処置: ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

[構成ID] [リスナー名] unlink(): XXXX

説明: 内部エラーが発生しました。

処置: ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

[構成ID] [リスナー名] select():Time-out occurred. Failed to receive Boot-request.

説明: select() によるイベント待ち合わせ処理でタイムアウトが発生しました。

処置: 設定ファイルの MONITOR_CONTROL パラメータの値を確認してください。
単独起動する場合は、パラメータ値として "NO" を指定してください。原因が特定できない場合は、ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

[構成ID] [リスナー名] Failed to receive XXXX

説明: メッセージの受信処理が失敗しました。

処置: ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

[構成ID] [リスナー名] Received unknown message type.

説明: モニタ制御デーモンから不正なメッセージを受信しました。

処置: ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

[構成ID] [リスナー名] Isnrmond: Failed to allocate memory. status:XXXX

説明: メモリ不足によりリスナー監視結果送信用バッファの確保に失敗しました。

処置: システム資源のチューニングが適切であるにもかかわらず本メッセージが出力される場合は、ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

[構成ID] [リスナー名] Failed to send startup message.

説明: 起動応答メッセージの送信に失敗しました。

処置: モニタ制御デーモンが正常に動作しているにもかかわらず本メッセージが頻繁に出力される場合は、ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

[構成ID] [リスナー名] Failed to send message.

説明: メッセージの送信に失敗しました。

処置: モニタ制御デーモンが正常に動作しているにもかかわらず本メッセージが頻繁に出力される場合は、ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

[構成ID] [リスナー名] select(): Error occurred XXXX. YYYY

説明: select() によるイベント待ち合わせ処理でエラーが発生しました。

処置: ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

[構成ID] [リスナー名] Received unknown message type XXXX.

説明: モニタ制御デーモンから不正なメッセージを受信しました。

処置: ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

[構成ID] [リスナー名] lsnr_check: Failed to access: XXXX

説明: リスナー監視処理でエラーが発生しました。リスナー監視モニタがモニタ制御デーモンより起動されている場合は、発生したエラーの種別にしたがって監視結果をモニタ制御デーモンに送信します。

処置: 設定ファイルの TNSPING パラメータに適切なコマンド名が指定されているか確認してください。原因が特定できない場合は、ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

[構成ID] [リスナー名] lsnr_check: Failed to tns ping

説明: リスナー監視処理でエラーが発生しました。リスナー監視モニタがモニタ制御デーモンより起動されている場合は、発生したエラーの種別にしたがって監視結果をモニタ制御デーモンに送信します。

処置: リスナー監視モニタの設定に問題がある場合を除き、通常は対処の必要はありません。設定ファイルの TNSPING パラメータに誤りがないことを確認してください。リスナー再起動処理が行われない場合は、ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

[構成ID] [リスナー名] lsnr_restart: Failed to access: XXXX

説明: リスナー再起動処理でエラーが発生しました。リスナー監視モニタがモニタ制御デーモンより起動されている場合は、発生したエラーの種別にしたがって監視結果をモニタ制御デーモンに送信します。

処置: インストールが正しく行われていることを確認してください。ApplicationMonitor の再インストールを行っても症状が改善されない場合は、ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

[構成 ID] [リスナー名] ocw_restart: Failed to access: XXXX

説明: リスナー再起動処理でエラーが発生しました。リスナー監視モニタがモニタ制御デーモンより起動されている場合は、発生したエラーの種別にしたがって監視結果をモニタ制御デーモンに送信します。

処置: インストールが正しく行われていることを確認してください。ApplicationMonitor の再インストールを行っても症状が改善されない場合は、ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

[構成 ID] [リスナー名] Isnrmond: TNS error occurred. [XXXX]

説明: リスナー監視処理中に TNS エラーが発生しました。リスナー監視モニタがモニタ制御デーモンより起動されている場合は、発生したエラーの種別にしたがって監視結果をモニタ制御デーモンに送信します。

処置: リスナー監視モニタの設定に問題がある場合を除き、通常は対処の必要はありません。メッセージ内に示された Oracle エラーコードを参照し、設定ファイルに誤りがないことを確認してください。運用中のシステムで、メッセージ内に示された Oracle エラーコードに対して適切でない状態遷移が行われた場合は、Oracle および ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。Oracle のエラーコードについては、Oracle のマニュアル『Database エラー・メッセージ』を参照してください。

[構成 ID] [リスナー名] ora_exec_command: Failed to XXXX

説明: リスナー監視処理でエラーが発生しました。ApplicationMonitor は、発生したエラーの種別にしたがって監視結果をモニタ制御デーモンに送信します。

処置: 設定ファイルの TNSPING パラメータに誤りがないことを確認してください。パラメータに誤りがない場合は、ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

[構成 ID] [リスナー名] ora_exec_command: 関数名(): XXXX

説明: リスナー監視処理でエラーが発生しました。ApplicationMonitor は、発生したエラーの種別にしたがって監視結果をモニタ制御デーモンに送信します。

処置: 設定ファイルの MONITOR_USER パラメータに誤りがないことを確認してください。パラメータに誤りがない場合は、ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

[構成ID] [リスナー名] ora_exec_command: Time-out occurred.

説明: リスナー監視処理でエラーが発生しました。ApplicationMonitor は、発生したエラーの種別にしたがって監視結果をモニタ制御デーモンに送信します。

処置: 設定ファイルの POLL_TIMEOUT パラメータのチューニングが適切であるにもかかわらず本メッセージが出力される場合は、ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

[構成ID] [リスナー名] ora_exec_command: rename failed(errno=XXXX).

説明: TNSPING 用コアファイルのリネームに失敗しました。

処置: ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

[構成ID] [リスナー名] ora_exec_command: Can't get core(errno=XXXX).

説明: TNSPING 用コアファイルの取得に失敗しました。

処置: ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

[構成ID] [リスナー名] ora_exec_command: Kill process(pid=XXXX).

説明: プロセスを KILL しました。

処置: 同時に出力されるメッセージにしたがって対処してください。

1.6.2. 警告メッセージ**[構成ID] [リスナー名] Failed to check history of dump.****[構成ID] [リスナー名] Use initial file name for dump.**

説明: トレースログファイルの初期処理に失敗しました。初期値を使用します。

処置: トレースログ出力先のファイルシステムに異常がないことを確認してください。異常がない場合は、存在するトレースログファイルを削除してください。本メッセージが頻繁に出力される場合は、ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

[構成ID] [リスナー名] Pipe closed by peer.

説明: モニタ制御デーモンとの通信用 PIPE が切断されました。

処置: ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

[構成 ID] [リスナー名] Isnr_check: Allowable error occurred.:XXXX.

説明: リスナー監視処理中に許可エラーとして定義されている異常が発生しました。

処置: 通常は対処の必要はありませんが、本メッセージが頻繁に出力される場合は、本メッセージの前後に出力される TNS エラーコードにしたがって対処を行ってください。

[構成 ID] [リスナー名] Isnrmond: Allowable error occurred. [XXXX]

説明: リスナー監視処理中に許可エラーが発生しました。リスナー監視モニタには、リスナーの異常とは判断できないエラーのセットが許可エラーとして定義されています。

処置: 通常は対処の必要はありませんが、本メッセージが頻繁に出力される場合は、リスナー監視の精度が低下する恐れがありますので、表示された Oracle エラーコードおよび Oracle のアラート・ログを参照し、エラーの原因を取り除いてください。Oracle のエラーコードについては、Oracle のマニュアル『Database エラー・メッセージ』を参照してください。

[構成 ID] [リスナー名] ora_exec_command: 関数名(): XXXX

説明: リスナー監視処理でエラーが発生しました。ApplicationMonitor は、発生したエラーの種別にしたがって監視結果をモニタ制御デーモンに送信します。

処置: 設定ファイルの MONITOR_USER パラメータに誤りがないことを確認してください。パラメータに誤りがない場合は、ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

1.6.3. 通知メッセージ

[構成 ID] [リスナー名] Returns to usual check mode (listener check).

説明: 通常の監視モードに戻ります。

処置: 特に対処の必要はありません。

[構成 ID] [リスナー名] Detected an obstacle(XXXX). Current retry count (YYYY / ZZZZ).

説明: リスナー障害を検出しました。再起動回数を出力します。

処置: 対処の必要はありません。

[構成 ID] [リスナー名] Restarting timer has been set to XXXX sec

説明: 再起動待ち合わせの上限は XXXX 秒です。

処置: 特に対処の必要はありません。

[構成ID] [リスナー名] XXXX retry over.

説明: リトライ回数の上限を超えました。

処置: 対処の必要はありません。

[構成ID] [リスナー名] Monitoring shifts to repetition check mode.

説明: 延命監視モードに変更します。

処置: 特に対処の必要はありません。

[構成ID] [リスナー名] Disaster detected in repetition check mode.

説明: 延命監視モード中に障害を検知しました。

処置: 特に対処の必要はありません。

[構成ID] [リスナー名] -- lsnrmond suspend start --

説明: 監視を一時停止しました。

処置: 対処の必要はありません。

[構成ID] [リスナー名] -- lsnrmond suspend end --.

説明: 監視を再開しました。

処置: 対処の必要はありません。

[構成ID] [リスナー名] Listener restarted already.

説明: リスナーはすでに再起動されました。

処置: 特に対処の必要はありません。

[構成ID] [リスナー名] Listener restarted already, So OCW verifying skipped.

説明: リスナーはすでに再起動されました。そのため、Oracle Clusterware /
Oracle Restart の検証処理がスキップされました。

処置: 特に対処の必要はありません。

[構成ID] [リスナー名] listener retrying.

説明: リスナーはリトライ中です。

処置: 対処の必要はありません。

[構成ID] [リスナー名] ora_exec_command: Terminated process(pid=XXXX).

説明: プロセスが終了しました。

処置: 対処の必要はありません。

1 メッセージ一覧

[構成 ID] [リスナー名] ora_exec_command: core(XXXX).

説明: TNSPING 用コアファイル名称を出力します。

処置: 対応の必要はありません。

[構成 ID] [リスナー名] lsnrmond is start

説明: モニタリングを開始します。

処置: 対応の必要はありません。

[構成 ID] [リスナー名] Status is UP.

説明: UP を検知しました。

処置: 対応の必要はありません。

[構成 ID] [リスナー名] Status reconfirmed as UP by retry operation.

説明: リトライ処理により UP と再確認されました。

処置: 対応の必要はありません。

[構成 ID] [リスナー名] lsnrmond is terminated.

説明: プロセスが終了しました。

処置: 対応の必要はありません。

1.7. 表領域監視モニタ (tschkmond) 固有メッセージ

本章に記述しているメッセージにしたがって障害解析情報の採取を行う場合は、「2 障害解析情報の採取」を参照してください。

1.7.1. エラーメッセージ

[構成ID][モニタID] Failed to check argument(s).

説明: 起動時に不正な引数が指定されました。

処置: 正しい引数を指定してください。

[構成ID][モニタID] Failed to changing work directory. XXXX

説明: 作業ディレクトリの変更に失敗しました。

処置: インストールが正しく行われていることを確認してください。
ApplicationMonitor の再インストールを行っても症状が改善されない場合は、ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

[構成ID][モニタID] Failed to load sg data. status:XXXX

説明: 構成情報の読み込みに失敗しました。

処置: 設定ファイルに問題がないことを確認してください。原因が特定できない場合は、ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

[構成ID][モニタID] Failed to search sg data. status:XXXX

説明: 表領域監視用の構成情報の展開に失敗しました。

処置: 設定ファイルの表領域監視モニタ設定部分に問題がないことを確認してください。原因が特定できない場合は、ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

[構成ID][モニタID] Failed to 関数名().

説明: 内部処理でエラーが発生しました。

処置: ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

[構成ID][モニタID] Failed to get sg data. status:XXXX

説明: 構成情報の取得に失敗しました。

処置: ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

[構成ID][モニタID] Load sg data. status:XXX

説明: 表領域監視に用いる表領域リストの取得に失敗しました。

処置: ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

[構成ID][モニタID] Failed to set error argument. status:XXXX

説明: 表領域監視時、Oracle エラーのフィルタリングに用いる、Oracle エラーコード・セットの読み込みに失敗しました。

処置: ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

[構成ID][モニタID] Failed to thread init.

説明: スレッドの生成に失敗しました。

処置: ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

[構成ID][モニタID] Failed to getTableSpacePDBList(). status:XXX

説明: 表領域監視に用いる PDB リストの取得に失敗しました。

処置: ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

XXXX: Invalid argument YYYY

Usage: XXXX [-C <component id>] -i <id>

説明: 指定した引数に誤りがあります。

処置: 同時に出力される Usage メッセージの書式で実行されるように設定が行われているか確認してください。

[構成ID] [モニタID] Failed to open(): XXXX

説明: ファイルのオープンに失敗しました。

処置: ファイルシステムに異常がないか確認してください。原因が特定できない場合は、ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

[構成ID] [モニタID] tschkmond_XXXX is already running.

説明: 表領域監視モニタは、すでに起動されています。

処置: 表領域監視モニタが停止しているにもかかわらず本メッセージが出力される場合は、ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

[構成ID] [モニタID] Socket initialize failed.

説明: 単独起動時、ソケットの初期化に失敗しました。

処置: ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

[構成ID] [モニタID] Consistency check error. status:XXX

説明: 監視結果を格納する表領域リストに誤りがあります。

処置: ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

[構成ID] [モニタID] select(): Error occurred XXXX. YYYY

説明: select() によるイベント待ち合わせ処理でエラーが発生しました。

処置: ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

[構成ID] [モニタID] Failed to send monitor status data.

説明: 単独起動時、SHOW リクエストに対する監視結果の送信に失敗しました。

処置: ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

[構成ID] [モニタID] Received unknown request.

説明: 単独起動時、未知のリクエストを受信しました。

処置: ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

[構成ID][モニタID] Failed to send command status

説明: 単独起動時、リクエストに対するステータスの送信に失敗しました。

処置: ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

[構成ID][モニタID] unlink(): XXXX

説明: 内部エラーが発生しました。

処置: ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

[構成ID][モニタID] select():Time-out occurred. Failed to receive Boot-request.

説明: select() によるイベント待ち合わせ処理でタイムアウトが発生しました。

処置: 設定ファイルの MONITOR_CONTROL パラメータの値を確認してください。
単独起動する場合は、パラメータ値として "NO" を指定してください。原因が特定できない場合は、ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

[構成ID][モニタID] Failed to receive XXXX

説明: メッセージの受信処理が失敗しました。

処置: ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

[構成ID][モニタID] Received unknown message type.

説明: モニタ制御デーモンから不正なメッセージを受信しました。

処置: ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

[構成ID][モニタID] tschmond: Failed to allocate memory. status:XXXX

説明: メモリ不足により表領域監視結果送信用バッファの確保に失敗しました。

処置: システム資源のチューニングが適切であるにもかかわらず本メッセージが出力される場合は、ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

[構成ID][モニタID] Failed to send startup message.

説明: 起動応答メッセージの送信に失敗しました。

処置: モニタ制御デーモンが正常に動作しているにもかかわらず本メッセージが頻繁に出力される場合は、ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

[構成ID][モニタID] Failed to send message.

説明: メッセージの送信に失敗しました。

処置: モニタ制御デーモンが正常に動作しているにもかかわらず本メッセージが頻繁に出力される場合は、ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

[構成ID][モニタID] Failed to encode sg data. status:XXXX

説明: 構成情報の符号化に失敗しました。

処置: ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

[構成ID][モニタID] Received unknown message type XXXX.

説明: モニタ制御デーモンから不正なメッセージを受信しました。

処置: ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

[構成ID][モニタID] tsc_check: Failed to XXXX

説明: 表領域監視処理でエラーが発生しました。ApplicationMonitor は、発生したエラーの種別にしたがって監視結果をモニタ制御デーモンに送信します。

処置: 本メッセージの前後に Oracle エラーの詳細を示すメッセージが出力された場合は、該当するメッセージにしたがって対処を行ってください。

[構成ID][モニタID] 関数名: Failed to select(for tablespace XXXX).

説明: 表領域監視処理が失敗しました。

処置: 指定された表領域が存在しない可能性があります。設定ファイルの TableSpace ステートメントの値を修正してください。

[構成 ID] [モニタ ID] am_tschk_sense: Detected zero size tablespace:XXXX

[構成 ID] [モニタ ID] am_tschk_sense: Configuration error occurred.

[構成 ID] [モニタ ID] am_tschk_sense: Perhaps configured tablespace_name:YYYY does not exist.

説明: 指定された表領域サイズが 0 です。

処置: 指定された表領域が存在しない可能性があります。設定ファイルの TableSpace ステートメントの値を修正してください。

[構成 ID] [モニタ ID] am_tschk_sense: Current MAX extent size is lower than configuration limit value. Current MAX extent blocks = XXXX, tablespace_name is YYYY.

説明: 指定された表領域の最大使用可能エクステントがしきい値を下回っています。

処置: 現在の状態でシステムの運用を続けると障害発生の原因になる可能性があります。障害が発生する前に計画的に十分な空き容量を確保してください。

[構成 ID] [モニタ ID] am_tschk_sense: Failed to execute script in MAX extent check.

説明: 自動実行コマンドの実行に失敗しました。

処置: ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

[構成 ID] [モニタ ID] am_tschk_sense: Current free space is lower than configuration limit value. Current free space = XXXX, tablespace_name is YYYY.

説明: 指定された表領域の空き領域率がしきい値を下回っています。

処置: 現在の状態でシステムの運用を続けると障害発生の原因になる可能性があります。障害が発生する前に計画的に十分な空き容量を確保してください。

[構成 ID] [モニタ ID] am_tschk_sense: Failed to execute script in free space check.

説明: 自動実行コマンドの実行に失敗しました。

処置: ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

[構成ID] [モニタID] am_tschk_cmd: Failed to determine tablespace check mode.

説明: 自動実行コマンドに渡す引数としての "最大使用可能エクステントの確認" か "空き領域率の確認" かの識別ができませんでした。

処置: ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

[構成ID] [モニタID] am_tschk_cmd: Failed to determine calculated current value.

説明: 自動実行コマンドに渡す引数としての現在の最大使用可能エクステント、または空き領域率が判断できませんでした。

処置: ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

[構成ID] [モニタID] am_tschk_cmd: Failed to determine configured limit value.

説明: 自動実行コマンドに渡す引数としてのしきい値が判断できませんでした。

処置: ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

[構成ID] [モニタID] am_tschk_cmd: 関数名: XXXX

説明: 外部コマンドの実行に失敗しました。

処置: コマンドファイルが存在しない、実行権がないなどのメッセージが出力された場合は、設定ファイルの COMMAND_NAME パラメータの値を修正してください。他のメッセージが出力された場合は、ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

[構成ID] [モニタID] sql_error:Oracle error occurred. ORACLE_ERROR_CODE

説明: 表領域監視モニタが発行した SQL ステートメントが異常終了しました。ApplicationMonitor は、発生したエラーの種別にしたがって監視結果をモニタ制御デーモンに送信します。

処置: 表領域監視モニタの設定に問題がある場合を除き、通常は対処の必要はありません。メッセージ内に示された Oracle エラーコードを参照し、設定ファイルに誤りがないことを確認してください。運用中のシステムで、メッセージ内に示された Oracle エラーコードに対して適切でない状態遷移が行われた場合は、Oracle および ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。Oracle のエラーコードについては、Oracle のマニュアル『Database エラー・メッセージ』を参照してください。

1.7.2. 警告メッセージ

[構成ID][モニタID] Failed to check history of dump.

[構成ID][モニタID] Use initial file name for dump.

説明: トレースログファイルの初期処理に失敗しました。初期値を使用します。

処置: トレースログ出力先のファイルシステムに異常がないことを確認してください。
異常がない場合は、存在するトレースログファイルを削除してください。本メッセージが頻繁に出力される場合は、ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

[構成ID][モニタID] Pipe closed by peer.

説明: モニタ制御デーモンとの通信用 PIPE が切断されました。

処置: ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

[構成ID][モニタID] Cannot switch pluggable database to XXXX.

説明: PDB への切り替えが行えませんでした。

処置: 本メッセージの前後に出力される Oracle エラーの詳細を示すメッセージにしたがって対処を行ってください。

[構成ID][モニタID] tsc_check: Allowable error occurred:XXXX.

説明: 表領域監視処理中に許可エラーとして定義されている異常が発生しました。

処置: 通常は対処の必要はありませんが、本メッセージが頻繁に出力される場合は、本メッセージの前後に出力される Oracle エラーの詳細を示すメッセージにしたがって対処を行ってください。

[構成ID][モニタID] 関数名: Allowable error occurred(for tablespace XXXX).

説明: 表領域監視処理中に許可エラーとして定義されている異常が発生しました。

処置: 通常は対処の必要はありませんが、本メッセージが頻繁に出力される場合は、本メッセージの前後に出力される Oracle エラーの詳細を示すメッセージにしたがって対処を行ってください。

1.7.3. 通知メッセージ

[構成ID][モニタID] -- tschkmond suspend start --

説明: 監視を一時停止しました。

処置: 対処の必要はありません。

[構成ID][モニタID] -- tschkmond suspend end --.

説明: 監視を再開しました。

処置: 対応の必要はありません。

[構成ID][モニタID] am_tschk_sense: Succeeded in executing script in MAX extent check.

説明: 自動実行コマンドの実行に成功しました。

処置: 対応の必要はありません。

[構成ID][モニタID] am_tschk_sense: Succeeded in executing script in free space check.

説明: 自動実行コマンドの実行に成功しました。

処置: 対応の必要はありません。

[構成ID][モニタID] tschkmond_XXXX is start

説明: モニタリングを開始します。

処置: 対応の必要はありません。

[構成ID][モニタID] Status is UP.

説明: UP を検知しました。

処置: 対応の必要はありません。

[構成ID][モニタID] Status reconfirmed as UP by retry operation.

説明: リトライ処理により UP と再確認されました。

処置: 対応の必要はありません。

[構成ID][モニタID] tschkmond_XXXX is terminated.

説明: プロセスが終了しました。

処置: 対応の必要はありません。

1.8. ディスク領域監視モニタ (fdsmond) 固有メッセージ

本章に記述しているメッセージにしたがって障害解析情報の採取を行う場合は、「2 障害解析情報の採取」を参照してください。

1.8.1. エラーメッセージ

[構成ID] Failed to check argument(s).

説明: 起動時に不正な引数が指定されました。

処置: 正しい引数を指定してください。

[構成ID] Failed to changing work directory. XXXX

説明: 作業ディレクトリの変更に失敗しました。

処置: インストールが正しく行われていることを確認してください。
ApplicationMonitor の再インストールを行っても症状が改善されない場合は、ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

[構成ID] Failed to load sg data. status:XXXX

説明: 構成情報の読み込みに失敗しました。

処置: 設定ファイルに問題がないことを確認してください。原因が特定できない場合は、ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

[構成ID] Failed to search sg data. status:XXXX

説明: ディスク領域監視用の構成情報の展開に失敗しました。

処置: 設定ファイルのディスク領域監視モニタ設定部分に問題がないことを確認してください。原因が特定できない場合は、ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

[構成ID] Failed to 関数名().

説明: 内部処理でエラーが発生しました。

処置: ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

[構成 ID] Failed to set error argument. status:XXXX

説明: ディスク領域監視時、Oracle エラーのフィルタリングに用いる、Oracle エラーコード・セットの読み込みに失敗しました。

処置: ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

fdsmond_XX: Invalid argument YYYY

Usage: fdsmond_XX [-C <component id>]

説明: 指定した引数に誤りがあります。

処置: 同時に出力される Usage メッセージの書式で実行されるように設定が行われているか確認してください。

[構成 ID] Failed to open(): XXXX

説明: ファイルのオープンに失敗しました。

処置: ファイルシステムに異常がないか確認してください。原因が特定できない場合は、ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

[構成 ID] fdsmond_XXXX is already running.

説明: ディスク領域監視モニタは、すでに起動されています。

処置: ディスク領域監視モニタが停止しているにもかかわらず本メッセージが出力される場合は、ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

[構成 ID] Socket initialize failed.

説明: ソケットの初期化に失敗しました。

処置: ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

[構成 ID] select(): Error occurred XXXX. YYYY

説明: select() によるイベント待ち合わせ処理でエラーが発生しました。

処置: ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

[構成 ID] Received unknown request.

説明: 未知のリクエストを受信しました。

処置: ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

[構成 ID] Failed to send command status

説明: 単独起動時、リクエストに対するステータスの送信に失敗しました。

処置: ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

[構成 ID] Failed to send monitor status data.

説明: 単独起動時、SHOW リクエストに対する監視結果の送信に失敗しました。

処置: ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

[構成 ID] unlink(): XXXX

説明: 内部エラーが発生しました。

処置: ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

[構成 ID] select(): Time-out occurred. Failed to receive Boot-request.

説明: select() によるイベント待ち合わせ処理でタイムアウトが発生しました。

処置: 設定ファイルの MONITOR_CONTROL パラメータの値を確認してください。
単独起動する場合は、パラメータ値として "NO" を指定してください。原因が特定できない場合は、ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

[構成 ID] Failed to receive XXXX

説明: メッセージの受信処理が失敗しました。

処置: ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

[構成 ID] Received unknown message type.

説明: モニタ制御デーモンから不正なメッセージを受信しました。

処置: ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

[構成ID] fdsmnd: Failed to allocate memory. status:XXXX

説明: メモリ不足によりディスク領域監視結果送信用バッファの確保に失敗しました。

処置: システム資源のチューニングが適切であるにもかかわらず本メッセージが出力される場合は、ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

[構成ID] Failed to send startup message.

説明: 起動応答メッセージの送信に失敗しました。

処置: モニタ制御デーモンが正常に動作しているにもかかわらず本メッセージが頻繁に出力される場合は、ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

[構成ID] Failed to send message.

説明: メッセージの送信に失敗しました。

処置: モニタ制御デーモンが正常に動作しているにもかかわらず本メッセージが頻繁に出力される場合は、ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

[構成ID] Failed to encode. status:DiskSpaceStat

説明: ディスク領域情報の符号化に失敗しました。

処置: ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

[構成ID] Received unknown message type XXXX

説明: モニタ制御デーモンから不正なメッセージを受信しました。

処置: ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

[構成ID] make_list: Failed to setmntent():XXXX

説明: ファイルシステム情報取得中にエラーが発生しました。

処置: ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

[構成ID] make_list: Failed to allocate memory. status:XXXX

説明: メモリ不足により監視対象リストの確保に失敗しました。

処置: システム資源のチューニングが適切であるにもかかわらず本メッセージが出力される場合は、ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

[構成ID] make_list: Failed to select(for V\$DATABASE).

説明: アーカイブログモード取得中にエラーが発生しました。

処置: 本メッセージの前後に出力される Oracle エラーの詳細を示すメッセージにしたがってアーカイブログモードを確認してください。アーカイブログモードに問題がない場合は、ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

[構成ID] make_list: Failed to select(for V\$ARCHIVE_DEST).

説明: アーカイブログ出力先取得中にエラーが発生しました。

処置: 本メッセージの前後に出力される Oracle エラーの詳細を示すメッセージにしたがってアーカイブログ出力先の設定を確認してください。設定に問題がない場合は、ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

[構成ID] make_list: add_list(for ORACLE_HOME) failed.

説明: 監視対象リストの作成に失敗しました。

処置: ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

[構成ID] make_list: Failed to XXXX.

説明: ディスク領域監視処理でエラーが発生しました。ApplicationMonitor は、発生したエラーの種別にしたがって監視結果をモニタ制御デーモンに送信します。

処置: 本メッセージの前後に Oracle エラーの詳細を示すメッセージが出力された場合は、該当するメッセージにしたがって対処を行ってください。

[構成ID] search_parameter: Failed to select(for XXXX).

説明: 監視対象情報取得中にエラーが発生しました。

処置: 本メッセージの前後に出力される Oracle エラーの詳細を示すメッセージにしたがって Oracle 初期化パラメータを確認してください。初期化パラメータに問題がない場合は、ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

[構成ID] add_list: Failed to allocate memory. status:XXXX

説明: メモリ不足により監視対象リストの確保に失敗しました。

処置: システム資源のチューニングが適切であるにもかかわらず本メッセージが出力される場合は、ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

[構成ID] am_disk_check: Failed to allocate memory. status:XXXX

説明: メモリ不足により監視結果用バッファの確保に失敗しました。

処置: システム資源のチューニングが適切であるにもかかわらず本メッセージが出力される場合は、ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

[構成ID] am_disk_check: Failed to 関数名 : XXXX

説明: ディスク情報の取得に失敗しました。

処置: 本メッセージが頻繁に出力される場合は、ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

[構成ID] am_disk_check: Time-out occurred.

[構成ID] am_disk_check: Kill process(pid=XXXX).

説明: ディスク情報の取得中にタイムアウトが発生しました。

処置: 本メッセージが頻繁に出力される場合は、ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

[構成ID] Current free space is lower than configuration limit value. Current free space = NN%, MountPoint is XXXX.

説明: XXXX にマウントされたディスクの空き容量率が設定されたしきい値を下回っています。

処置: 現在の状態でシステムの運用を続けると障害発生の原因になる可能性があります。障害が発生する前に計画的に十分な空き容量を確保してください。

[構成ID] alert_out: fopen(XXXX): YYYY

説明: アラート・ログファイルのオープンに失敗しました。

処置: ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

[構成ID] am_disk_cmd: Failed to gethostname(): XXXX

説明: ホスト名の取得に失敗しました。

処置: ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

[構成ID] am_disk_cmd: Failed to determine calculated XXXX.

説明: 自動実行コマンドに渡す引数としての現在の空き領域率、またはしきい値が判断できませんでした。

処置: ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

[構成ID] am_disk_cmd: fork():XXXX

説明: 外部コマンドの実行に失敗しました。

処置: システム資源のチューニングが適切であるにもかかわらず本メッセージが出力される場合は、ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

[構成ID] am_disk_cmd: access: XXXX YYYY

説明: 外部コマンドのファイル属性が不適切です。

処置: 外部コマンドに読み取りおよび実行許可が設定されていることを確認してください。

[構成ID] am_disk_cmd: execl: XXXX

説明: 外部コマンドの実行に失敗しました。

処置: システム資源のチューニングが適切であるにもかかわらず本メッセージが出力される場合は、ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

[構成ID] getDiskSpaceStat: Failed to allocate memory. status:XXXX

説明: メモリ不足によりディスク領域監視結果送信用バッファの確保に失敗しました。

処置: システム資源のチューニングが適切であるにもかかわらず本メッセージが出力される場合は、ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

[構成ID] sql_error:Oracle error occurred. ORACLE_ERROR_CODE

説明: ディスク領域監視モニタが発行した SQL ステートメントが異常終了しました。

処置: メッセージ内に示された Oracle エラーコードに対して適切でない状態遷移が行われた場合は、Oracle および ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。Oracle のエラーコードについては、Oracle のマニュアル『Database エラー・メッセージ』を参照してください。

1.8.2. 警告メッセージ**[構成ID] Failed to check history of dump.****[構成ID] Use initial file name for dump.**

説明: トレースログファイルの初期処理に失敗しました。初期値を使用します。

処置: トレースログ出力先のファイルシステムに異常がないことを確認してください。異常がない場合は、存在するトレースログファイルを削除してください。本メッセージが頻繁に出力される場合は、ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

[構成ID] Pipe closed by peer.

説明: モニタ制御デーモンとの通信用 PIPE が切断されました。

処置: ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

[構成ID] make_list: Allowable error occurred XXXX

説明: ディスク領域監視処理中に許可エラーとして定義されている異常が発生しました。

処置: 通常は対処の必要はありませんが、本メッセージが頻繁に出力される場合は、本メッセージの前後に出力される Oracle エラーの詳細を示すメッセージにしたがって対処を行ってください。

[構成ID] search_parameter: Allowable error occurred(for XXXX).

説明: ディスク領域監視処理中に許可エラーとして定義されている異常が発生しました。

処置: 通常は対処の必要はありませんが、本メッセージが頻繁に出力される場合は、本メッセージの前後に出力される Oracle エラーの詳細を示すメッセージにしたがって対処を行ってください。

[構成ID] sql_error: Allowable error occurred. ORACLE_ERROR_CODE

説明: ディスク領域監視処理中に許可エラーとして定義されている異常が発生しました。

処置: 通常は対処の必要はありませんが、本メッセージが頻繁に出力される場合は、本メッセージの前後に出力される Oracle エラーの詳細を示すメッセージにしたがって対処を行ってください。

1.8.3. 通知メッセージ

[構成ID] -- fidsmond suspend start --

説明: 監視を一時停止しました。

処置: 対処の必要はありません。

[構成ID] -- fidsmond suspend end --.

説明: 監視を再開しました。

処置: 対処の必要はありません。

[構成ID] fidsmond_XXXX is start

説明: モニタリングを開始します。

処置: 対処の必要はありません。

[構成ID] Status is UP.

説明: UP を検知しました。

処置: 対処の必要はありません。

[構成ID] Status reconfirmed as UP by retry operation.

説明: リトライ処理により UP と再確認されました。

処置: 対処の必要はありません。

[構成ID] fdsmond_XXXX is terminated.

説明: プロセスが終了しました。

処置: 対処の必要はありません。

1.9. スタンバイデータベース監視モニタ (stbdbmond) 固有メッセージ

本章に記述しているメッセージにしたがって障害解析情報の採取を行う場合は、「2 障害解析情報の採取」を参照してください。

1.9.1. エラーメッセージ

[構成ID] Failed to check argument(s).

説明: 起動時に不正な引数が指定されました。

処置: 正しい引数を指定してください。

[構成ID] Failed to changing work directory. XXXX

説明: 作業ディレクトリの変更に失敗しました。

処置: インストールが正しく行われていることを確認してください。
ApplicationMonitor の再インストールを行っても症状が改善されない場合は、
ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

[構成ID] [監視種別] select(): Error occurred XXXX. YYYY

説明: select() によるイベント待ち合わせ処理でエラーが発生しました。

処置: ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

[構成ID] [監視種別] Failed to receive XXXX.

説明: メッセージの受信処理が失敗しました。

処置: ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

[構成ID] Received unknown message type.

説明: モニタ制御デーモンから不正なメッセージを受信しました。

処置: ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

[構成ID] [監視種別] Failed to allocate memory. XXXX

説明: メモリ不足によりバッファの確保に失敗しました。

処置: システム資源のチューニングが適切であるにもかかわらず本メッセージが出力される場合は、ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

[構成ID] Failed to get size of XXXX sg. status:YYYY

説明: XXXX の設定情報のサイズを取得できませんでした。

処置: ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

[構成ID] Failed to decode XXXX sg data. status:YYYY

説明: 構成情報の解読に失敗しました。

処置: ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

[構成ID] Failed to set error argument. status:XXXX

説明: インスタンス監視時、Oracle エラーのフィルタリングに用いる Oracle エラーコード・セットの読み込みに失敗しました。

処置: ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

[構成ID] Failed to send startup message.

説明: 起動応答メッセージの送信に失敗しました。

処置: モニタ制御デーモンが正常に動作しているにもかかわらず本メッセージが出力される場合は、ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

[構成ID] [監視種別] <XXXX> Invalid file descriptor.

説明: 監視プロセスの特定に失敗しました。

処置: ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

[構成 ID] Failed to send message.(XXXX)

説明: 起動応答メッセージの送信に失敗しました。

処置: モニタ制御デーモンが正常に動作しているにもかかわらず本メッセージが出力される場合は、ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

[構成 ID] Failed to reply message.(XXXX)

説明: メッセージの返信に失敗しました。

処置: ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

[構成 ID] stbStartProcess: argument is inaccurate.

説明: 引数が不正なため初期化に失敗しました。

処置: ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

[構成 ID] 関数名():関数名(): XXXX

説明: 内部処理でエラーが発生しました。

処置: ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

[構成 ID] unknown process type.

説明: 内部処理でエラーが発生しました。

処置: ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

XXXX: Invalid argument YYYY

Usage: ZZZZ [-C <component id>]

説明: 指定した引数に誤りがあります。

処置: 同時に出力される Usage メッセージの書式で実行されるように設定が行われているか確認してください。

[構成 ID] am_stbdb_cmd: Failed to determine XXXX.

説明: 自動実行コマンドに渡す引数としての XXXX が判断できませんでした。

処置: ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

[構成ID] [監視種別] make_sql_statement: update_time area malloc error.

説明: メモリ不足によりバッファの確保に失敗しました。

処置: システム資源のチューニングが適切であるにもかかわらず本メッセージが出力される場合は、ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

[構成ID] [監視種別] Failed to send request(XXXX).

説明: メッセージの送信に失敗しました。

処置: モニタ制御デーモンが正常に動作しているにもかかわらず本メッセージが頻繁に出力される場合は、ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

[構成ID] [監視種別] Failed to send reply(XXXX).

説明: メッセージの送信に失敗しました。

処置: モニタ制御デーモンが正常に動作しているにもかかわらず本メッセージが頻繁に出力される場合は、ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

[構成ID] [監視種別] Failed to check status. (XXXX)

説明: 適用状況監視で異常が発生しました。

処置: ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

[構成ID] [監視種別] Failed to encode. status:XXXX

説明: 構成情報の符号化に失敗しました。

処置: ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

[構成ID] [監視種別] Failed to getting site number.

説明: サイト番号の取得に失敗しました。

処置: ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

[構成ID] [監視種別] 関数名(): invalid argument.

説明: 内部エラーが発生しました。

処置: ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

[構成ID] [監視種別] Invalid recv data size.

説明: サイト間通信で受信したデータが破損しています。

処置: ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

[構成ID] [監視種別] Transmission from XXXX is Delayed. YYYY.

説明: 転送遅延を検知しました。

処置: XXXX に出力されるサイトの転送状況を確認してください。

[構成ID] [監視種別] Redo-Apply from XXXX is Delayed. YYYY.

説明: 適用遅延を検知しました。

処置: XXXX に出力されるサイトの適用状況を確認してください。

1.9.2. 警告メッセージ

[構成ID] Failed to check history of dump.

[構成ID] Use initial file name for dump.

説明: トレースログファイルの初期処理に失敗しました。初期値を使用します。

処置: トレースログ出力先のファイルシステムに異常がないことを確認してください。
異常がない場合は、存在するトレースログファイルを削除してください。本メッセージが頻繁に出力される場合は、ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

[構成ID] [監視種別] Failed to receive XXXX (child pid is YYYY).

説明: メッセージの受信処理が失敗しました。

処置: ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

[構成ID][監視種別] Failed to send message.

説明: メッセージの送信に失敗しました。

処置: モニタ制御デーモンが正常に動作しているにもかかわらず本メッセージが頻繁に出力される場合は、ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

[構成ID][監視種別] 関数名(): Failed to connect with Oracle.

説明: Oracle への接続操作に失敗しました。

処置: 本メッセージの前後に Oracle エラーの詳細を示すメッセージが出力されている場合は、該当するメッセージにしたがって対処を行ってください。

[構成ID][監視種別] 関数名(): Allowable error occurred:XXXX

説明: Oracle からのデータ取得時に許可エラーとして定義されている異常が発生しました。

処置: 通常は対処の必要はありませんが、本メッセージが頻繁に出力される場合は、本メッセージの前後に出力される Oracle エラーコードにしたがって対処を行ってください。

[構成ID][監視種別] 関数名(): Failed to confirm XXXX.

説明: Oracle からのデータ取得に失敗しました。

処置: 本メッセージの前後に Oracle エラーの詳細を示すメッセージが出力されている場合は、該当するメッセージにしたがって対処を行ってください。

[構成ID][監視種別] connectDbApply: Database role is not supported. (role=XXXX)

説明: 監視対象データベースが適用監視のサポート対象外です。

処置: 監視対象データベースがサポート対象の構成か確認してください。

[構成ID][監視種別] init_check: Cannot switch pluggable database to XXXX.

説明: PDB への切り替えが行えませんでした。

処置: 本メッセージの前後に Oracle エラーの詳細を示すメッセージが出力されている場合は、該当するメッセージにしたがって対処を行ってください。

[構成 ID] [監視種別] init_check: Database not open (pdb is XXXX).

説明: PDB がオープンされていません。

処置: 本メッセージの前後に Oracle エラーの詳細を示すメッセージが出力されている場合は、該当するメッセージにしたがって対処を行ってください。

[構成 ID] [監視種別] connectDbTrans: Failed to connect with Oracle (primary site info is not found).

説明: Oracle への接続操作に失敗しました。プライマリ・サイトの情報が見つかりません。

処置: 本メッセージの前後に Oracle エラーの詳細を示すメッセージが出力されている場合は、該当するメッセージにしたがって対処を行ってください。

[構成 ID] [監視種別] trans_check: Not supported. db_unique_name is null.

説明: 監視対象データベースが転送監視のサポート対象外です。

処置: 監視対象データベースがサポート対象の構成か確認してください。

[構成 ID] [監視種別] trans_check: Protection mode is not supported. (mode=XXXX)

説明: 監視対象データベースが転送監視のサポート対象外です。

処置: 監視対象データベースがサポート対象の構成か確認してください。

[構成 ID] [監視種別] trans_check: Synchronization status error occurred. (status=XXXX)

説明: 転送異常を検知しました。

処置: Oracle の転送処理が正しく行われているか確認してください。

[構成 ID] [監視種別] stb_sql_error: Allowable error occurred. ORACLE_ERROR_CODE

説明: インスタンス監視処理中に許可エラーが発生しました。インスタンス監視モニタには、Oracle の異常とは判断できないエラーのセットが許可エラーとして定義されています。

処置: 通常は対処の必要はありませんが、本メッセージが頻繁に出力される場合は、インスタンス監視の精度が低下する恐れがありますので、表示された Oracle エラーコードおよび Oracle のアラート・ログを参照し、エラーの原因を取り除いてください。Oracle のエラーコードについては、Oracle のマニュアル『Database エラー・メッセージ』を参照してください。

[構成ID] [監視種別] reconnection. ORACLE_ERROR_CODE

説明: インスタンス監視処理中にデータベースのセッションが切れました。インスタンス監視モニタは、Oracle に再接続して監視動作を継続します。

処置: 通常は対処の必要はありませんが、本メッセージが頻繁に出力される場合は、インスタンス監視の精度が低下する恐れがありますので、表示された Oracle エラーコードおよび Oracle のアラート・ログを参照し、エラーの原因を取り除いてください。Oracle のエラーコードについては、Oracle のマニュアル『Database エラー・メッセージ』を参照してください。

[構成ID] [監視種別] stb_sql_error:Oracle error occurred. ORACLE_ERROR_CODE

説明: インスタンス監視モニタが発行した SQL ステートメントが異常終了しました。ApplicationMonitor は発生したエラーの種別にしたが、監視結果をモニタ制御デーモンに送信します。

処置: インスタンス監視モニタの設定に問題がある場合を除き、通常は対処の必要はありません。メッセージ内に示された Oracle エラーコードを参照し、設定ファイルに誤りがないことを確認してください。運用中のシステムで、メッセージ内に示された Oracle エラーコードに対して適切でない状態遷移が行われた場合は、Oracle および ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。Oracle のエラーコードについては、Oracle のマニュアル『Database エラー・メッセージ』を参照してください。

1.9.3. 通知メッセージ

[構成ID] [監視種別] Detected an obstacle(XXXX). Current retry count (YYYY / ZZZZ).

説明: 転送遅延または適用遅延を検出しました。再起動回数を出力します。

処置: 対処の必要はありません。

[構成ID] [監視種別] Status reconfirmed as UP by retry operation.

説明: リトライ処理により UP と再確認されました。

処置: 対処の必要はありません。

[構成ID] [監視種別] Delay of transmission was restored.

説明: 転送遅延が解消されました。

処置: 対処の必要はありません。

[構成ID][監視種別] Delay of Redo-Apply was restored.

説明: 適用遅延が解消されました。

処置: 対処の必要はありません。

[構成ID][監視種別] Delay of transmission is unknown.

説明: 転送状況が判断できません。

処置: 通常は対処の必要はありませんが、監視対象データベースが正常に動作しているにもかかわらず本メッセージが出力される場合は、ApplicationMonitorの障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

[構成ID][監視種別] Delay of Redo-Apply is unknown.

説明: 適用状況が判断できません。

処置: 通常は対処の必要はありませんが、監視対象データベースが正常に動作しているにもかかわらず本メッセージが出力される場合は、ApplicationMonitorの障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

1.10. アラートログ監視モニタ (altmond) 固有メッセージ

本章に記述しているメッセージにしたがって障害解析情報の採取を行う場合は、「2 障害解析情報の採取」を参照してください。

1.10.1. エラーメッセージ

[構成ID] Failed to check argument(s).

説明: 起動時に不正な引数が指定されました。

処置: 正しい引数を指定してください。

[構成ID] Failed to changing work directory. XXXX

説明: 作業ディレクトリの変更に失敗しました。

処置: インストールが正しく行われていることを確認してください。
ApplicationMonitor の再インストールを行っても症状が改善されない場合は、ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

[構成ID] Failed to load sg data. status:XXXX

説明: 構成情報の読み込みに失敗しました。

処置: ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

[構成ID] select(): Error occurred XXXX. YYYY

説明: select() によるイベント待ち合わせ処理でエラーが発生しました。

処置: ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

[構成ID] Failed to receive XXXX

説明: メッセージの受信処理が失敗しました。

処置: ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

[構成 ID] Received unknown message type.

説明: モニタ制御デーモンから不正なメッセージを受信しました。

処置: ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

[構成 ID] altmond: Failed to allocate memory. status:XXXX

説明: メモリ不足によりアラート・ログ監視結果送信用バッファの確保に失敗しました。

処置: システム資源のチューニングが適切であるにもかかわらず本メッセージが出力される場合は、ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

[構成 ID] Failed to decode sg data. status:XXXX

説明: 構成情報の解読に失敗しました。

処置: ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

[構成 ID] Failed to set error argument. status:XXXX

説明: Oracle エラーのフィルタリングに用いる、Oracle エラーコード・セットの読み込みに失敗しました。

処置: ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

[構成 ID] Failed to allocate memory. XXXX

説明: メモリ不足によりアラート・ログ監視結果送信用バッファの確保に失敗しました。

処置: システム資源のチューニングが適切であるにもかかわらず本メッセージが出力される場合は、ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

[構成 ID] Failed to send startup message.

説明: 起動応答メッセージの送信に失敗しました。

処置: モニタ制御デーモンが正常に動作しているにもかかわらず本メッセージが頻繁に出力される場合は、ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

[構成ID] Received unknown message type XXXX

説明: モニタ制御デーモンから不正なメッセージを受信しました。

処置: ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

altmond_XX: Invalid argument YYYY

Usage: altmond_XX [-C <component id>]

説明: 指定した引数に誤りがあります。

処置: 同時に出力される Usage メッセージの書式で実行されるように設定が行われているか確認してください。

[構成ID] 関数名(): argument is inaccurate.

説明: 引数が不正なため、初期化に失敗しました。

処置: ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

[構成ID] Failed to get config number.

説明: 設定情報の取得に失敗しました。

処置: ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

[構成ID] alert_check: invalid reconfig data.

説明: 設定情報の取得に失敗しました。

処置: ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

1.10.2. 警告メッセージ

[構成ID] Failed to check history of dump.

[構成ID] Use initial file name for dump.

説明: トレースログファイルの初期処理に失敗しました。初期値を使用します。

処置: トレースログ出力先のファイルシステムに異常がないことを確認してください。異常がない場合は、存在するトレースログファイルを削除してください。本メッセージが頻繁に出力される場合は、ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

[構成 ID] Pipe closed by peer.

説明: モニタ制御デーモンとの通信用 PIPE が切断されました。

処置: ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

[構成 ID] [プロセス ID] State of alert-log cannot be confirmed.

説明: アラート・ログ監視は行われません。

処置: 同時に出力されるエラーメッセージにしたがって対処してください。原因が特定できない場合は、ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

1.10.3. 通知メッセージ

[構成 ID] smon process id is XXXX

説明: SMON のプロセス ID は XXXX です。

処置: 特に対処の必要はありません。

[構成 ID] Target file is re-opened.

説明: 対象ファイルを再オープンします。

処置: 特に対処の必要はありません。

[構成 ID] Failed to check oracle XXXX

説明: Oracle 情報の確認に失敗しました。

処置: 特に対処の必要はありません。

[構成 ID] Reconfiguration started.

説明: Oracle のリコンフィグ開始メッセージを検知しました。

処置: 特に対処の必要はありません。

[構成 ID] Reconfiguration complete.

説明: Oracle のリコンフィグ完了メッセージを検知しました。

処置: 特に対処の必要はありません。

[構成 ID] Completed instance recovery.

説明: Oracle のリカバリ完了メッセージを検知しました。

処置: 特に対処の必要はありません。

[構成ID] Starting ORACLE instance.

説明: Oracle のインスタンス起動メッセージを検知しました。

処置: 特に対処の必要はありません。

[構成ID] Beginning failover.

説明: Oracle Data Guard のフェイルオーバー開始メッセージを検知しました。

処置: 特に対処の必要はありません。

[構成ID] Completed database open.

説明: データベースのオープン完了メッセージを検知しました。

処置: 特に対処の必要はありません。

[構成ID] ASM Instance is down.

説明: ASM インスタンスとの通信障害発生メッセージを検知しました。

処置: 特に対処の必要はありません。

[構成ID] Pluggable database XXXX closed.

説明: PDB がクローズされました。

処置: 特に対処の必要はありません。

1.11. CRS 監視モニタ (crsmond) 固有メッセージ

本章に記述しているメッセージにしたがって障害解析情報の採取を行う場合は、「2 障害解析情報の採取」を参照してください。

1.11.1. エラーメッセージ

stat() error occurred. XXXX

説明: トレースログ出力用ファイルのファイル情報取得に失敗しました。

処置: トレースログ出力先のファイルシステムに異常がないことを確認してください。
ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

Invalid option or argument(s).

説明: 引数の指定に誤りがあります。

処置: 引数は指定できません。引数を指定せずに起動してください。

Only super-user can execute XXXX.

説明: root ユーザー以外のユーザーで起動されました。

処置: CRS 監視モニタは root ユーザーで起動してください。

Failed to 関数名 XXXX: YYYY

説明: 内部エラーを検出しました。

処置: ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

Failed to changing work directory. XXXX

説明: 作業ディレクトリの変更に失敗しました。

処置: インストールが正しく行われていることを確認してください。
ApplicationMonitor の再インストールを行っても症状が改善されない場合は、ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

Failed to open(): XXXX

説明: lock ファイルの読み込みに失敗しました。

処置: ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

crsmond is already running.

説明: CRS 監視モニタは、すでに起動されています。

処置: CRS 監視モニタが停止しているにもかかわらず本メッセージが出力される場合は、ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

関数名(): XXXX.

説明: 内部エラーが発生しました。

処置: ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

Failed to load sg data. status: initialize

説明: 設定情報の読み込みに失敗しました。

処置: CRS 監視設定ファイルに問題がないことを確認してください。原因が特定できない場合は、ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

XXXX: Invalid argument

Usage: XXXX

説明: 指定した引数に誤りがあります。

処置: 同時に出力される Usage メッセージの書式で実行されるように設定が行われているか確認してください。

Socket initialize failed.

説明: ソケットの初期化に失敗しました。

処置: ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

select(): Error occurred. XXXX

説明: select() によるイベント待ち合わせ処理でエラーが発生しました。

処置: ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

Retry over retry_count, so going down.

説明: リトライ回数を超えたため、処理を終了します。

処置: CRS 監視設定ファイルに問題がないことを確認してください。原因が特定できない場合は、ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

Failed to am_monsock_cmdrecv().

説明: リクエストの受信に失敗しました。

処置: ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

Failed to send monitor status data.

説明: SHOW リクエストに対する監視結果の送信に失敗しました。

処置: ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

Received unknown request.

説明: 未知のリクエストを受信しました。

処置: ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

am_monsock_cmdrecv: Failed to send command status

説明: リクエストに対するステータスの送信に失敗しました。

処置: ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

crs_check: Time-out occurred.

説明: CRS 監視処理でエラーが発生しました。ApplicationMonitor は、設定にしたがって障害検出時の動作を行います。

処置: CRS 監視設定ファイルの POLL_TIMEOUT パラメータのチューニングが適切であるにもかかわらず本メッセージが出力される場合は、ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

crs_check: message:"XXXX" can't found

説明: CRS 監視処理が正常に行われた際のメッセージが見つかりません。ApplicationMonitor は、設定にしたがって障害検出時の動作を行います。

処置: CRS 監視モニタの設定に問題がある場合を除き、通常は対処の必要はありません。障害発生時の動作が適切でない場合は、ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

crs_check: CRS Error detected. (ORACLE_ERROR_CODE).

説明: CRS エラーを検出しました。ApplicationMonitor は、設定にしたがって障害検出時の動作を行います。

処置: CRS 監視モニタの設定に問題がある場合を除き、通常は対処の必要はありません。メッセージ内に示された Oracle エラーコードを参照し、CRS 監視モニタの設定ファイルに誤りがないことを確認してください。運用中のシステムで、メッセージ内に示された Oracle エラーコードに対して適切でない状態遷移が行われた場合は、Oracle および ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。Oracle のエラーコードについては、Oracle のマニュアル『Database エラー・メッセージ』を参照してください。

mon_cmd_exe: Failed to XXXX

説明: CRS 監視処理でエラーが発生しました。ApplicationMonitor は、設定にしたがって障害発生時の動作を行います。

処置: CRS 監視設定ファイルの CRS_STAT パラメータに誤りがないことを確認してください。パラメータに誤りがない場合は、ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

mon_cmd_exe: 関数名(): XXXX

説明: CRS 監視処理でエラーが発生しました。ApplicationMonitor は、設定にしたがって障害発生時の動作を行います。

処置: CRS 監視設定ファイルの CUSTOM_USER パラメータに誤りがないことを確認してください。パラメータに誤りがない場合は、ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

mon_cmd_exe: Time-out occurred.

説明: CRS 監視処理でエラーが発生しました。ApplicationMonitor は、設定にしたがって障害検出時の動作を行います。

処置: CRS 監視設定ファイルの POLL_TIMEOUT パラメータのチューニングが適切であるにもかかわらず本メッセージが出力される場合は、ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

mon_cmd_exe: Kill process(pid=XXXX).

説明: プロセスを KILL しました。

処置: 同時に出力されるメッセージにしたがって対処してください。

mon_cmd_exe: Failed to execute command : XXXX

説明: コマンドの実行に失敗しました。

処置: ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

crs_sgcommit(): custom_user is not set.

説明: CUSTOM_USER パラメータが設定されていません。

処置: CRS 監視設定ファイルの CUSTOM_USER パラメータに誤りがないことを確認してください。パラメータに誤りがない場合は、ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

1.11.2. 警告メッセージ

Failed to check history of dump.

Use initial file name for dump.

説明: トレースログファイルの初期処理に失敗しました。初期値を使用します。

処置: トレースログ出力先のファイルシステムに異常がないことを確認してください。異常がない場合は、存在するトレースログファイルを削除してください。本メッセージが頻繁に出力される場合は、ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

Failed to load sg data. status: apply

The setting of the previous is returned.

説明: 設定情報の読み込みに失敗しました。設定情報を元に戻して動作を継続します。

処置: CRS 監視設定ファイルに問題がないことを確認してください。原因が特定できない場合は、ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

Kill XXXX for restart from init(8).

説明: init(8) により起動された XXXX を停止します。

処置: 同時に出力されるエラーメッセージにしたがって対処してください。原因が特定できない場合は、ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

crs_check: Failed to crs_cmd_exe.

説明: Oracle Clusterware／Oracle Restart のデーモンの状態表示用コマンドの実行に失敗しました。

処置: 同時に出力されるエラーメッセージにしたがって対処してください。原因が特定できない場合は、ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

crs_check: Failed to am_cmn_getstd.

説明: Oracle Clusterware／Oracle Restart のデーモンの状態表示用コマンド実行結果の取得に失敗しました。

処置: CRS 監視モニタが動作しているファイルシステムに異常がないことを確認してください。原因が特定できない場合は、ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

crs_check: Failed to am_cmn_getstd. result is null.

説明: Oracle Clusterware／Oracle Restart のデーモンの状態表示用コマンドの実行に失敗しました。

処置: CRS 監視モニタが動作しているファイルシステムに異常がないことを確認してください。原因が特定できない場合は、ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

crs_check: command exit status=0, but argument is maybe invalid, so check configuration-parameter "CRS_STAT"

説明: Oracle Clusterware／Oracle Restart のデーモンの状態表示用コマンドの引数が無効である可能性があります。

処置: CRS 監視設定ファイルの CRS_STAT パラメータに適切な値が指定されているか確認してください。原因が特定できない場合は、ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

Failed to am_getproc().

説明: Oracle Clusterware／Oracle Restart のデーモンプロセス情報が取得できません。

処置: Oracle Clusterware／Oracle Restart が動作していない場合は、特に対処の必要はありません。動作中の場合は、ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

kill() failed: XXXX

説明: Oracle Clusterware／Oracle Restart のデーモンプロセスの停止に失敗しました。

処置: Oracle Clusterware／Oracle Restart が動作していない場合は、特に対処の必要はありません。動作中の場合は、ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

mon_cmd_exe: 関数名(): XXXX

説明: CRS 監視処理でエラーが発生しました。

処置: ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

1.11.3. 通知メッセージ

crsmond is start

説明: CRS 監視モニタによるモニタリングを開始します。

処置: 特に対処の必要はありません。

Returns to usual check mode (crs check).

説明: 通常の監視モードに戻ります。

処置: 特に対処の必要はありません。

HALT_METHOD is XXXX. So YYYY isn't killed.

説明: HALT_METHOD パラメータに XXXX が設定されているため、YYYY プロセスを KILL しません。

処置: 特に対処の必要はありません。

Monitoring shifts to repetition check mode.

説明: 延命監視モードに変更します。

処置: 特に対処の必要はありません。

Disaster detected in repetition check mode.

説明: 延命監視モード中に障害を検知しました。

処置: 特に対処の必要はありません。

Detected an obstacle(XXXX). Current retry count (YYYY / ZZZZ).

説明: Oracle Clusterware／Oracle Restart のデーモンの監視で障害を検知しました。再起動回数を出力します。

処置: 特に対処の必要はありません。

-- crsmond suspend start --

説明: 監視を一時停止しました。

処置: 特に対処の必要はありません。

-- crsmond suspend end --

説明: 監視を再開しました。

処置: 特に対処の必要はありません。

Terminating process XXXX. PID=YYYY

説明: 監視対象プロセスを停止します。

処置: 特に対処の必要はありません。

XXXX terminated

説明: 監視対象プロセスが停止しました。

処置: 特に対処の必要はありません。

XXXX restarted already. PID=YYYY

説明: プロセスはすでに再起動済みです。

処置: 特に対処の必要はありません。

XXXX is not detected.

説明: CRS 監視モニタは動作していません。

処置: 特に対処の必要はありません。

Status is UP.

説明: UP を検知しました。

処置: 特に対処の必要はありません。

Status reconfirmed as UP by retry operation.

説明: リトライ処理により UP と再確認されました。

処置: 特に対処の必要はありません。

crsmond is terminated.

説明: プロセスが終了しました。

処置: 特に対処の必要はありません。

1.12. ASM 監視モニタ (asmmond) 固有メッセージ

本章に記述しているメッセージにしたがって障害解析情報の採取を行う場合は、「2 障害解析情報の採取」を参照してください。

1.12.1. エラーメッセージ

Invalid option or argument(s).

説明: 引数の指定に誤りがあります。

処置: 引数は指定できません。引数を指定せずに起動してください。

Only super-user can execute XXXX.

説明: root ユーザー以外のユーザーで起動されました。

処置: ASM 監視モニタは root ユーザーで起動してください。

Failed to 関数名 XXXX: YYYY

説明: 内部エラーを検出しました。

処置: ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

Failed to changing work directory. XXXX

説明: 作業ディレクトリの変更に失敗しました。

処置: インストールが正しく行われていることを確認してください。
ApplicationMonitor の再インストールを行っても症状が改善されない場合は、ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

Failed to load sg data. status:initialize

説明: 設定情報の読み込みに失敗しました。

処置: ASM 監視設定ファイルに問題がないことを確認してください。原因が特定できない場合は、ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

Failed to 関数名().

説明: 内部エラーを検出しました。

処置: ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

Failed to load def data. status:initialize

説明: 設定ファイルの読み込みに失敗しました。

処置: ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

Failed to set error argument. status:initial

説明: ASM インスタンス監視時、Oracle エラーのフィルタリングに用いる、Oracle エラーコード・セットの読み込みに失敗しました。

処置: ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

関数名() failed. status:initial

説明: 内部エラーを検出しました。

処置: ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

Failed to open(): XXXX

説明: lock ファイルの読み込みに失敗しました。

処置: ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

asmmond is already running.

説明: ASM 監視モニタは、すでに起動されています。

処置: ASM 監視モニタが停止しているにもかかわらず本メッセージが出力される場合は、ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

関数名(): XXXX.

説明: 内部エラーが発生しました。

処置: ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

Socket initialize failed.

説明: ソケットの初期化に失敗しました。

処置: ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

select(): Error occurred. XXXX

説明: select() によるイベント待ち合わせ処理でエラーが発生しました。

処置: ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

monitor-status is inaccurate (XXXX).

説明: ASM 監視モニタのステータスに誤りがあります。

処置: ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

Retry over, so going down. status is XXXX

説明: リトライ回数を超えたため、処理を終了します。

処置: ASM 監視設定ファイルに問題がないことを確認してください。原因が特定できない場合は、ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

Failed to am_monsock_cmdrecv().

説明: リクエストの受信に失敗しました。

処置: ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

process no is inaccurate.

説明: プロセス ID が不正です。

処置: ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

Failed to receive XXXX.

説明: メッセージの受信に失敗しました。

処置: ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

received data is inaccurate (XXXX).

説明: 受信データが不正のため、処理に失敗しました。

処置: ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

invalid monitor_no.

説明: 子プロセスのプロセス ID が不正です。

処置: ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

asmRestart: Failed to access: XXXX

説明: ASM インスタンス再起動処理でエラーが発生しました。

処置: インストールが正しく行われていることを確認してください。
ApplicationMonitor の再インストールを行っても症状が改善されない場合は、ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

Failed to allocate memory. status:initial

説明: メモリ不足により ASM インスタンス監視結果送信用バッファの確保に失敗しました。

処置: システム資源のチューニングが適切であるにもかかわらず本メッセージが出力される場合は、ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

select(): Error occurred in loop. XXXX

説明: select() によるイベント待ち合わせ処理でエラーが発生しました。

処置: ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

Failed to send message.

説明: メッセージの送信に失敗しました。

処置: 本メッセージが頻繁に出力される場合は、ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

関数名: argument is inaccurate.

説明: 内部エラーが発生しました。

処置: ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

Failed to mkdir XXXX: YYYY

説明: 作業ディレクトリの作成に失敗しました。

処置: システム資源のチューニングが適切であるにもかかわらず本メッセージが出力される場合は、ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

mon_cmd_exe: Failed to export environment variables.

説明: 環境変数のエクスポート処理に失敗しました。

処置: ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

mon_cmd_exe: Failed to create pipe: XXXX

説明: パイプの生成に失敗しました。

処置: ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

mon_cmd_exec: Failed to fcntl (up[XXXX]): YYYY

説明: ファイル操作に失敗しました。

処置: ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

mon_cmd_exec: Failed to 関数名 : XXXX

説明: 内部処理でエラーが発生しました。

処置: ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

mon_cmd_exec: Failed to determine UID

説明: パスワードファイルのエントリ取得に失敗しました。

処置: ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

mon_cmd_exe: 関数名(): XXXX

説明: 内部処理でエラーが発生しました。

処置: ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

mon_cmd_exe: Time-out occurred.

説明: ASM インスタンス監視処理でエラーが発生しました。ApplicationMonitor は、設定にしたがって障害検出時の動作を行います。

処置: ASM 監視設定ファイルの CRS_CMD_TIMEOUT パラメータのチューニングが適切であるにもかかわらず本メッセージが出力される場合は、ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

mon_cmd_exe: Failed to execute command : XXXX

説明: コマンドの実行に失敗しました。

処置: ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

1.12.2. 警告メッセージ

Failed to check history of dump.

Use initial file name for dump.

説明: トレースログファイルの初期処理に失敗しました。初期値を使用します。

処置: トレースログ出力先のファイルシステムに異常がないことを確認してください。異常がない場合は、存在するトレースログファイルを削除してください。本メッセージが頻繁に出力される場合は、ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

Failed to load XXXX data. status: apply

The setting of the previous is returned.

説明: 設定情報の読み込みに失敗しました。設定情報を元に戻して動作を継続します。

処置: ASM 監視設定ファイルに問題がないことを確認してください。原因が特定できない場合は、ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

Failed to set error argument. status:XXXX

説明: ASM インスタンス監視時、Oracle エラーのフィルタリングに用いる、Oracle エラーコード・セットの読み込みに失敗しました。

処置: フィルタリング設定ファイルに問題がないことを確認してください。原因が特定できない場合は、ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

Failed in the start of child process (XXXX).

説明: 監視用子プロセスの起動に失敗しました。

処置: ASM インスタンスが起動していることを確認してください。起動しているにもかかわらず、本メッセージが頻繁に出力される場合は、ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

Failed to send init_check_rq message.

説明: メッセージの送信に失敗しました。

処置: 通常は対処の必要はありませんが、本メッセージが頻繁に出力される場合は、ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

Failed to send XXXX.(YYYY)

説明: メッセージの送信に失敗しました。

処置: 通常は対処の必要はありませんが、本メッセージが頻繁に出力される場合は、ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

Failed to send monitor status data.

説明: SHOW リクエストに対する監視結果の送信に失敗しました。

処置: 通常は対処の必要はありませんが、本メッセージが頻繁に出力される場合は、ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

Failed to send command status

説明: リクエストに対するステータスの送信に失敗しました。

処置: 通常は対処の必要はありませんが、本メッセージが頻繁に出力される場合は、ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

XXXX stall occurred.

説明: 監視用子プロセスの応答処理でストールを検出しました。

処置: メッセージの出力が一時的なもので、ASM 監視モニタが継続動作できていれば対処の必要はありませんが、本メッセージが頻繁に出力される場合は、ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

XXXX is different.

説明: パラメータの値が異なるため、設定は反映されませんでした。

処置: パラメータの値を確認してください。また、ASM 監視モニタ動作中は変更できません。

mon_cmd_exe: 関数名(): XXXX

説明: ASM インスタンス監視処理でエラーが発生しました。

処置: ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

1.12.3. 通知メッセージ

asmmond_XXXX is start

説明: ASM 監視モニタによるモニタリングを開始します。

処置: 特に対処の必要はありません。

Returns to usual check mode (asm check).

説明: 通常の監視モードに戻ります。

処置: 特に対処の必要はありません。

Detected an obstacle(XXXX). Current retry count (YYYY / ZZZZ).

説明: ASM インスタンス監視で障害を検出しました。再起動回数を出力します。

処置: 特に対処の必要はありません。

Monitoring shifts to repetition check mode.

説明: 延命監視モードに変更します。

処置: 特に対処の必要はありません。

Disaster detected in repetition check mode.

説明: 延命監視モード中に障害を検知しました。

処置: 特に対処の必要はありません。

-- asmmond suspend start --

説明: 監視を一時停止しました。

処置: 特に対処の必要はありません。

-- asmmond suspend end --

説明: 監視を再開しました。

処置: 特に対処の必要はありません。

poll_timeout was changed (XXXX -> YYYY).

説明: POLL_TIMEOUT パラメータに設定された時間が短いため、Oracle の環境に合わせた時間に変更して監視を行います。

処置: 特に対処の必要はありません。

ASM restarted already, So OCW verifying skipped.

説明: ASM インスタンスはすでに再起動されました。そのため、Oracle Clusterware／Oracle Restart の検証処理がスキップされました。

処置: 特に対処の必要はありません。

asm retry over.

説明: リトライ回数の上限を超えました。

処置: 特に対処の必要はありません。

asm retrying.

説明: ASM インスタンスはリトライ中です。

処置: 特に対処の必要はありません。

Status is UP

説明: UP を検知しました。

処置: 特に対処の必要はありません。

1 メッセージ一覧

Status reconfirmed as UP by retry operation.

説明: リトライ処理により UP と再確認されました。

処置: 特に対処の必要はありません。

asmonnd_XXXX is terminated.

説明: プロセスが終了しました。

処置: 特に対処の必要はありません。

1.13. SCAN リスナー監視モニタ (slnrmond) 固有メッセージ

本章に記述しているメッセージにしたがって障害解析情報の採取を行う場合は、「2 障害解析情報の採取」を参照してください。

1.13.1. エラーメッセージ

[SCAN リスナー名] Failed to check argument(s).

説明: 起動時に不正な引数が指定されました。

処置: 正しい引数を指定してください。

[SCAN リスナー名] Only super-user can execute XXXX

説明: root ユーザー以外のユーザーで起動されました。

処置: SCAN リスナー監視モニタは root ユーザーで起動してください。

[SCAN リスナー名] Failed to 関数名 XXXX: YYYY

説明: 内部エラーを検出しました。

処置: ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

[SCAN リスナー名] Failed to changing work directory. XXXX

説明: 作業ディレクトリの変更に失敗しました。

処置: インストールが正しく行われていることを確認してください。
ApplicationMonitor の再インストールを行っても症状が改善されない場合は、ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

[SCAN リスナー名] XXXX is already running.

説明: SCAN リスナー監視モニタは、すでに起動されています。

処置: SCAN リスナー監視モニタが停止しているにもかかわらず本メッセージが出力される場合は、ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

[SCAN リスナー名] 関数名 XXXX

説明: 内部処理でエラーが発生しました。

処置: ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

[SCAN リスナー名] Failed to load sg data. status:initialize

説明: 設定情報の読み込みに失敗しました。

処置: ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

[SCAN リスナー名] Failed to set error argument. status:initial

説明: SCAN リスナー監視時、Oracle エラーのフィルタリングに用いる、Oracle エラーコード・セットの読み込みに失敗しました。

処置: ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

[SCAN リスナー名] Failed to 関数名 XXXX

説明: 内部処理でエラーが発生しました。

処置: ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

[SCAN リスナー名] Failed to am_monChangeUser()

説明: モニタプロセスに指定されたユーザー名が不正です。

処置: 設定ファイルで正しいユーザー名を指定してください。

[SCAN リスナー名] Failed to thread init.

説明: スレッドの生成に失敗しました。

処置: ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

[SCAN リスナー名] Socket initialize failed.

説明: ソケットの初期化に失敗しました。

処置: ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

[SCAN リスナー名] select(): Error occurred. XXXX

説明: select() によるイベント待ち合わせ処理でエラーが発生しました。

処置: ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

[SCAN リスナー名] Failed to am_monsock_cmdrecv()

説明: リクエストの受信に失敗しました。

処置: ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

[SCAN リスナー名] Failed to send monitor status data.

説明: SHOW リクエストに対する監視結果の送信に失敗しました。

処置: ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

[SCAN リスナー名] Received unknown request.

説明: 未知のリクエストを受信しました。

処置: ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

[SCAN リスナー名] Failed to send command status

説明: リクエストに対するステータスの送信に失敗しました。

処置: ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

[SCAN リスナー名] XXXX: Invalid argument:YYYY

[SCAN リスナー名] Usage: ZZZZ -s <scan listener name>

説明: 指定された引数に誤りがあります。

処置: 同時に出力される Usage メッセージの書式で実行されるように設定が行われているか確認してください。

[SCAN リスナー名] check_scan_listener: Failed to access: XXXX

説明: SCAN リスナー監視処理でエラーが発生しました。

処置: インストールが正しく行われていることを確認してください。
ApplicationMonitor の再インストールを行っても症状が改善されない場合は、
ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

[SCAN リスナー名] check_scan_listener: Failed to lsnrctl.

説明: SCAN リスナー監視処理でエラーが発生しました。

処置: SCAN リスナー監視モニタの設定に問題がある場合を除き、通常は対処の必要はありません。SCAN リスナー再起動処理が行われない場合は、
ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

[SCAN リスナー名] stop_scan_listener: Failed to 関数名 XXXX

説明: 内部処理でエラーが発生しました。

処置: ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

[SCAN リスナー名] slsnrmnd: TNS error occurred. [XXXX]

説明: SCAN リスナー監視処理中に TNS エラーが発生しました。

処置: SCAN リスナー監視モニタの設定に問題がある場合を除き、通常は対処の必要はありません。メッセージ内に示された Oracle エラーコードを参照し、設定ファイルに誤りがないことを確認してください。運用中のシステムで、メッセージ内に示された Oracle エラーコードに対して適切でない状態遷移が行われた場合は、Oracle および ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。Oracle のエラーコードについては、Oracle のマニュアル『Database エラー・メッセージ』を参照してください。

[SCAN リスナー名] ora_exec_command: Failed to XXXX

説明: SCAN リスナー監視処理でエラーが発生しました。

処置: 設定ファイルの LSNRCTL パラメータに誤りがないことを確認してください。
パラメータに誤りがない場合は、ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

[SCAN リスナー名] ora_exec_command: 関数名(): XXXX

説明: SCAN リスナー監視処理でエラーが発生しました。

処置: 設定ファイルの MONITOR_USER パラメータに誤りがないことを確認してください。パラメータに誤りがない場合は、ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

[SCAN リスナー名] ora_exec_command: Time-out occurred.

説明: SCAN リスナー監視処理でエラーが発生しました。

処置: 設定ファイルの POLL_TIMEOUT パラメータのチューニングが適切であるにもかかわらず本メッセージが出力される場合は、ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

[SCAN リスナー名] ora_exec_command: Kill process(pid=XXXX).

説明: プロセスを KILL しました。

処置: 同時に出力されるメッセージにしたがって対処してください。

1.13.2. 警告メッセージ

[SCAN リスナー名] Failed to load sg data. status:apply

[SCAN リスナー名] The setting of the previous is returned.

説明: 設定情報の読み込みに失敗しました。設定情報を元に戻して動作を継続します。

処置: SCAN リスナー監視設定ファイルに問題がないことを確認してください。原因が特定できない場合は、ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

[SCAN リスナー名] Failed to set error argument. status:apply

説明: SCAN リスナー監視時、Oracle エラーのフィルタリングに用いる、Oracle エラーコード・セットの読み込みに失敗しました。

処置: SCAN リスナー監視設定ファイルに問題がないことを確認してください。原因が特定できない場合は、ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

[SCAN リスナー名] check_scan_listener: Allowable error occurred.:error_code is null.

説明: SCAN リスナー監視処理中に許可エラーが発生しました。SCAN リスナー監視モニタには、SCAN リスナーの異常とは判断できないエラーのセットが許可エラーとして定義されています。

処置: 通常は対処の必要はありませんが、本メッセージが頻繁に出力される場合は、SCAN リスナー監視の精度が低下する恐れがありますので、表示された Oracle エラーコードおよび Oracle のアラート・ログを参照し、エラーの原因を取り除いてください。Oracle のエラーコードについては、Oracle のマニュアル『Database エラー・メッセージ』を参照してください。

[SCAN リスナー名] check_scan_listener: Allowable error occurred.:lsnrctl

説明: SCAN リスナー監視処理中に許可エラーが発生しました。SCAN リスナー監視モニタには、SCAN リスナーの異常とは判断できないエラーのセットが許可エラーとして定義されています。

処置: 通常は対処の必要はありませんが、本メッセージが頻繁に出力される場合は、SCAN リスナー監視の精度が低下する恐れがありますので、表示された Oracle エラーコードおよび Oracle のアラート・ログを参照し、エラーの原因を取り除いてください。Oracle のエラーコードについては、Oracle のマニュアル『Database エラー・メッセージ』を参照してください。

[SCAN リスナー名] slsnrmond: Allowable error occurred. [XXXX]

説明: SCAN リスナー監視処理中に許可エラーとして定義されている異常が発生しました。

処置: 通常は対処の必要はありませんが、本メッセージが頻繁に出力される場合は、本メッセージの前後に出力される TNS エラーコードにしたがって対処を行ってください。

[SCAN リスナー名] ora_exec_command: 関数名() : XXXX

説明: SCAN リスナー監視処理でエラーが発生しました。

処置: 設定ファイルの MONITOR_USER パラメータに誤りがないことを確認してください。パラメータに誤りがない場合は、ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

1.13.3. 通知メッセージ

[SCAN リスナー名] slnrmond is start

説明: モニタリングを開始します。

処置: 特に対処の必要はありません。

[SCAN リスナー名] Status is UP.

説明: UP を検知しました。

処置: 特に対処の必要はありません。

[SCAN リスナー名] Status reconfirmed as UP by retry operation.

説明: リトライ処理により UP と再確認されました。

処置: 特に対処の必要はありません。

[SCAN リスナー名] Restarting timer has been set to XXXX sec

説明: 再起動待ち合わせの上限は XXXX 秒です。

処置: 特に対処の必要はありません。

[SCAN リスナー名] -- slnrmond suspend start --

説明: 監視を一時停止しました。

処置: 特に対処の必要はありません。

[SCAN リスナー名] -- slnrmond suspend end --

説明: 監視を再開しました。

処置: 特に対処の必要はありません。

[SCAN リスナー名] slnrmond is terminated.

説明: プロセスが終了しました。

処置: 特に対処の必要はありません。

[SCAN リスナー名] Scan listener restarted already.

説明: SCAN リスナーはすでに再起動されました。

説明: 特に対処の必要はありません。

1.14. 統計情報採取モニタ (statsmond) 固有メッセージ

本章に記述しているメッセージにしたがって障害解析情報の採取を行う場合は、「2 障害解析情報の採取」を参照してください。

1.14.1. エラーメッセージ

[構成ID][モニタID] Failed to check argument(s).

説明: 起動時に不正な引数が指定されました。

処置: 正しい引数を指定してください。

[構成ID][モニタID] Failed to changing work directory. XXXX

説明: 作業ディレクトリの変更に失敗しました。

処置: インストールが正しく行われていることを確認してください。
ApplicationMonitor の再インストールを行っても症状が改善されない場合は、ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

[構成ID][モニタID] Failed to load sg data. status:XXXX

説明: 構成情報の読み込みに失敗しました。

処置: 設定ファイルに問題がないことを確認してください。原因が特定できない場合は、ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

[構成ID][モニタID] Failed to search sg data. status:XXXX

説明: 統計情報採取用の構成情報の展開に失敗しました。

処置: 設定ファイルの統計情報採取モニタ設定部分に問題がないことを確認してください。原因が特定できない場合は、ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

[構成ID][モニタID] Failed to allocate memory. status:XXXX

説明: メモリ不足により統計情報採取用バッファの確保に失敗しました。

処置: システム資源のチューニングが適切であるにもかかわらず本メッセージが出力される場合は、ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

[構成ID][モニタID] Failed to 関数名().

説明: 内部エラーを検出しました。

処置: ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

[構成ID][モニタID] Failed to set error argument. status:XXXX

説明: 統計情報採取時、Oracle エラーのフィルタリングに用いる、Oracle エラーコード・セットの読み込みに失敗しました。

処置: ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

[構成ID][モニタID] Failed to load def data. status:XXXX

説明: 設定ファイルの読み込みに失敗しました。

処置: ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

XXXX : Invalid argument -C YYYY

Usage: XXXX [-C <component id>] -i <id>

説明: 指定した引数に誤りがあります。

処置: 同時に出力される Usage メッセージの書式で実行されるように設定が行われているか確認してください。

[構成ID][モニタID] Failed to open(): XXXX

説明: ファイルのオープンに失敗しました。

処置: ファイルシステムに異常がないか確認してください。原因が特定できない場合は、ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

[構成ID][モニタID] statsmond_XXXX is already running.

説明: 統計情報採取モニタは、すでに起動されています。

処置: 統計情報採取モニタが停止しているにもかかわらず本メッセージが出力される場合は、ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

[構成ID][モニタID] Socket initialize failed.

説明: 単独起動時、ソケットの初期化に失敗しました。

処置: ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

[構成ID][モニタID] Failed to thread init.

説明: スレッドの生成に失敗しました。

処置: ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

[構成ID][モニタID] select(): Error occurred XXXX. YYYY

説明: select() によるイベント待ち合わせ処理でエラーが発生しました。

処置: ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

[構成ID][モニタID] Failed to send monitor status data.

説明: 単独起動時、SHOW リクエストに対する採取結果の送信に失敗しました。

処置: ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

[構成ID][モニタID] Received unknown request.

説明: 単独起動時、未知のリクエストを受信しました。

処置: ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

[構成ID][モニタID] Failed to send command status

説明: 単独起動時、リクエストに対するステータスの送信に失敗しました。

処置: ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

[構成ID][モニタID] unlink(): XXXX.

説明: 内部処理でエラーが発生しました。

処置: ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

[構成ID][モニタID] Time-out occurred. Failed to receive Boot-request.

説明: select() によるイベント待ち合わせ処理でタイムアウトが発生しました。

処置: 設定ファイルの MONITOR_CONTROL パラメータの値を確認してください。
単独起動する場合は、パラメータ値として "NO" を指定してください。原因が
特定できない場合は、ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポ
ートセンターに連絡してください。

[構成ID][モニタID] Failed to receive XXXX.

説明: メッセージの受信処理が失敗しました。

処置: ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡して
ください。

[構成ID][モニタID] Received unknown message type.

説明: モニタ制御デーモンから不正なメッセージを受信しました。

処置: ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡して
ください。

[構成ID][モニタID] Failed to send startup message.

説明: 起動応答メッセージの送信に失敗しました。

処置: モニタ制御デーモンが正常に動作しているにもかかわらず本メッセージが頻
繁に出力される場合は、ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポ
ートセンターに連絡してください。

[構成ID][モニタID] Failed to send message.

説明: メッセージの送信に失敗しました。

処置: モニタ制御デーモンが正常に動作しているにもかかわらず本メッセージが頻
繁に出力される場合は、ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポ
ートセンターに連絡してください。

[構成ID][モニタID] Failed to encode sg data. status:XXXX

説明: 構成情報の符号化に失敗しました。

処置: ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡して
ください。

[構成ID][モニタID] Received unknown message type XXXX.

説明: モニタ制御デーモンから不正なメッセージを受信しました。

処置: ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

[構成ID][モニタID] Cannot allocate memory for XXXX descriptor.

説明: 識別子にメモリを割り当てることができません。

処置: ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

[構成ID][モニタID] Failed to get stats of XXXX.

説明: 統計情報の採取に失敗しました。

処置: ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

[構成ID][モニタID] exec_statement: failed to sql statement

説明: 統計情報採取モニタが発行した SQL ステートメントが失敗しました。

処置: ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

[構成ID][モニタID] (XXXX) realloc() failed: YYYY

説明: メモリの再割当てに失敗しました。

処置: システム資源のチューニングが適切であるにもかかわらず本メッセージが出力される場合は、ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

am_cmn_statsThreadInit: 関数名() XXXX.

説明: 内部エラーを検出しました。

処置: ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

1.14.2. 警告メッセージ

[構成ID][モニタID] Failed to check history of dump.

[構成ID][モニタID] Use initial file name for dump.

説明: トレースログファイルの初期処理に失敗しました。初期値を使用します。

処置: トレースログ出力先のファイルシステムに異常がないことを確認してください。異常がない場合は、存在するトレースログファイルを削除してください。本メッセージが頻繁に出力される場合は、ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

[構成ID][モニタID] Pipe closed by peer.

説明: モニタ制御デーモンとの通信用 PIPE が切断されました。

処置: ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

[構成ID][モニタID] stats-name is not defined.

説明: Stats ステートメントが定義されていません。

処置: 設定ファイルに誤りがないことを確認してください。原因が特定できない場合は、ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

am_cmn_statsThreadMain: Failed to fstat.(XXXX): YYYY

説明: XXXX の取得に失敗しました。

処置: 統計情報採取モニタが動作しているファイルシステムに異常がないことを確認してください。原因が特定できない場合は、ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

am_cmn_statsThreadMain: rename error.(XXXX to YYYY): ZZZZ

説明: ファイルのリネームに失敗しました。

処置: 統計情報採取モニタが動作しているファイルシステムに異常がないことを確認してください。原因が特定できない場合は、ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

am_cmn_statsThreadMain: open error.(XXXX): YYYY

説明: ファイルのオープンに失敗しました。

処置: 統計情報採取モニタが動作しているファイルシステムに異常がないことを確認してください。原因が特定できない場合は、ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

am_cmn_statsThreadMain: fcntl get error.(XXXX): YYYY

説明: ファイルの状態取得に失敗しました。

処置: 統計情報採取モニタが動作しているファイルシステムに異常がないことを確認してください。原因が特定できない場合は、ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

am_cmn_statsThreadMain: fcntl set error.(XXXX): YYYY

説明: ファイルの状態設定に失敗しました。

処置: 統計情報採取モニタが動作しているファイルシステムに異常がないことを確認してください。原因が特定できない場合は、ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

1.14.3. 通知メッセージ

[構成ID][モニタID] -- statsmond suspend start --

説明: 採取を一時停止しました。

処置: 対処の必要はありません。

[構成ID][モニタID] -- statsmond suspend end --

説明: 採取を再開しました。

処置: 対処の必要はありません。

[構成ID][モニタID] statsmond_XXXX is start

説明: モニタリングを開始します。

処置: 対処の必要はありません。

[構成ID][モニタID] Status is UP.

説明: UP を検知しました。

処置: 対処の必要はありません。

[構成ID][モニタID] Status reconfirmed as UP by retry operation.

説明: リトライ処理により UP と再確認されました。

処置: 対処の必要はありません。

[構成ID][モニタID] statsmond_XXXX is terminated.

説明: プロセスが終了しました。

処置: 対処の必要はありません。

1.15. システムステートダンプ採取デーモン (ssdump) 固有メッセージ

本章に記述しているメッセージにしたがって障害解析情報の採取を行う場合は、「2 障害解析情報の採取」を参照してください。

1.15.1. エラーメッセージ

[構成ID] Failed to check argument(s).

説明: 起動時に不正な引数が指定されました。

処置: 正しい引数を指定してください。

[構成ID] Failed to changing work directory. XXXX

説明: 作業ディレクトリの変更に失敗しました。

処置: インストールが正しく行われていることを確認してください。
ApplicationMonitor の再インストールを行っても症状が改善されない場合は、ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

XXXX: Invalid argument YYYY

Usage: XXXX [-C <component id>]

説明: 指定した引数に誤りがあります。

処置: 同時に出力される Usage メッセージの書式で実行されるように設定が行われているか確認してください。

[構成ID] Ssdump does not connect to Oracle. So it couldn't get system state.

説明: インスタンス障害発生時に行われるシステムステート・ダンプ採取が行われませんでした。

処置: 本メッセージに対する対処は必要ありませんが、インスタンス監視モニタにより出力されるメッセージにしたがって対処を行ってください。

1.15.2. 警告メッセージ

[構成ID] select(): Error occurred XXXX. YYYY

説明: select() によるイベント待ち合わせ処理でエラーが発生しました。

処置: ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

[構成 ID] Failed to receive XXXX.

説明: メッセージの受信処理が失敗しました。

処置: ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

[構成 ID] Pipe closed by peer XXXX.

説明: モニタ制御デーモンとの通信用 PIPE が切断されました。

処置: ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

[構成 ID] Received unknown message type.

説明: モニタ制御デーモンから不正なメッセージを受信しました。

処置: ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

[構成 ID] sssdump: Failed to allocate memory. status:XXXX

説明: メモリ不足により接続確認結果送信用バッファの確保に失敗しました。

処置: システム資源のチューニングが適切であるにもかかわらず本メッセージが出力される場合は、ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

[構成 ID] Failed to decode sg data. status:XXXX

説明: 構成情報の解読に失敗しました。

処置: ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

[構成 ID] Failed to set error argument. status:XXXX

説明: システムステート・ダンプの採取時、Oracle エラーのフィルタリングに用いる、Oracle エラーコード・セットの読み込みに失敗しました。

処置: ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

[構成 ID] Failed to connect with Oracle.

説明: Oracle への接続操作に失敗しました。

処置: 本メッセージの前後に Oracle エラーの詳細を示すメッセージが出力されている場合は、該当するメッセージにしたがって対処を行ってください。

[構成ID] ssdump: Allowable error occurred:XXXX

説明: システムステート・ダンプの採取処理中に許可エラーとして定義されている異常が発生しました。

処置: 通常は対処の必要はありませんが、本メッセージが頻繁に出力される場合は、本メッセージの前後に出力される Oracle エラーコードにしたがって対処を行ってください。

[構成ID] Failed to send startup message.

説明: 起動応答メッセージの送信に失敗しました。

処置: モニタ制御デーモンが正常に動作しているにもかかわらず本メッセージが頻繁に出力される場合は、ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

[構成ID] Cannot switch pluggable database to XXXX.

説明: PDB への切り替えが行えませんでした。

処置: 本メッセージの前後に Oracle エラーの詳細を示すメッセージが出力されている場合は、該当するメッセージにしたがって対処を行ってください。

[構成ID] Database not open (pdb is XXXX).

説明: PDB がオープンされていません。

処置: 本メッセージの前後に Oracle エラーの詳細を示すメッセージが出力されている場合は、該当するメッセージにしたがって対処を行ってください。

[構成ID] ssdump: Failed to XXXX.

説明: システムステート・ダンプの採取処理でエラーが発生しました。ApplicationMonitor は、発生したエラーの種別にしたがって接続確認結果をモニタ制御デーモンに送信します。

処置: 本メッセージの前後に Oracle エラーの詳細を示すメッセージが出力された場合は、該当するメッセージにしたがって対処を行ってください。

[構成ID] Failed to connect with Oracle (XXXX).

説明: Oracle への接続操作に失敗しました。

処置: 本メッセージの前後に Oracle エラーの詳細を示すメッセージが出力されている場合は、該当するメッセージにしたがって対処を行ってください。

[構成ID] Failed to send message.

説明: メッセージの送信に失敗しました。

処置: モニタ制御デーモンが正常に動作しているにもかかわらず本メッセージが頻繁に出力される場合は、ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

[構成ID] run_check: Failed to XXXX.

説明: Oracle 接続確認処理でエラーが発生しました。ApplicationMonitor は、発生したエラーの種別にしたがって接続確認結果をモニタ制御デーモンに送信します。

処置: 本メッセージの前後に Oracle エラーの詳細を示すメッセージが出力された場合は、該当するメッセージにしたがって対処を行ってください。

[構成ID] run_check: Allowable error occurred:XXXX

説明: Oracle 接続確認処理中に許可エラーとして定義されている異常が発生しました。

処置: 通常は対処の必要はありませんが、本メッセージが頻繁に出力される場合は、本メッセージの前後に出力される Oracle エラーコードにしたがって対処を行ってください。

[構成ID] run_check: Cannot switch pluggable database to XXXX.

説明: PDB への切り替えが行えませんでした。

処置: 本メッセージの前後に出力される Oracle エラーコードにしたがって対処を行ってください。

[構成ID] run_check: Database not open (pdb is XXXX).

説明: PDB がオープンされていません。

処置: 本メッセージの前後に出力される Oracle エラーコードにしたがって対処を行ってください。

[構成ID] sssdump: Failed to get dump.

説明: システムステート・ダンプの採取に失敗しました。

処置: Oracle エラーコードおよび Oracle のアラート・ログを参照し、エラーの原因を取り除いてください。設定ファイルが正しく記述されていることを確認してください。システムステート・ダンプの採取は Oracle 側の状態により、必ずしも成功するとは限りません。

[構成ID] sql_error: Allowable error occurred. *ORACLE_ERROR_CODE*

説明: Oracle への接続操作中に許可エラーが発生しました。システムステートダンプ採取デーモンには、Oracle の異常とは判断できないエラーのセットが許可エラーとして定義されています。

処置: 通常は対処の必要はありませんが、本メッセージが頻繁に出力される場合は、Oracle 接続操作の精度が低下する恐れがありますので、表示された Oracle エラーコードおよび Oracle のアラート・ログを参照し、エラーの原因を取り除いてください。Oracle のエラーコードについては、Oracle のマニュアル『Database エラー・メッセージ』を参照してください。

[構成ID] sql_error: Oracle error occurred. *ORACLE_ERROR_CODE*

説明: Oracle への接続操作中に Oracle エラーが発生しました。システムステートダンプ採取デーモンは、システムステート・ダンプの採取を行うことができません。

処置: メッセージ内に示された Oracle エラーコードを参照し、設定ファイルに誤りがないことを確認してください。運用中に本メッセージが出力される場合は、Oracle エラーコードおよび Oracle のアラート・ログを参照し、エラーの原因を取り除いてください。Oracle のエラーコードについては、Oracle のマニュアル『Database エラー・メッセージ』を参照してください。

1.16. 管理コマンド (oraadmin) 固有メッセージ

管理コマンドのメッセージのうち、標準エラー出力、標準出力に出力するメッセージには、エラー、警告および通知といった種別はありません。管理コマンドがこの章に記述していないエラーメッセージを出力した場合は、「1.1 ApplicationMonitor 共通メッセージ」を参照してください。

なお、通知メッセージに関しては、syslog に出力します。メッセージのファシリティは、LOG_DAEMON です。

本章に記述しているメッセージにしたがって障害解析情報の採取を行う場合は、「2 障害解析情報の採取」を参照してください。

1.16.1. 標準エラー出力メッセージ

Only super-user can execute oraadmin.

説明: root ユーザー以外のユーザーで実行されました。

処置: 管理コマンドは root ユーザーで実行してください。

crsmond don't run on current-node.

説明: CRS 監視モニタは、現在のノード上で動作していません。

処置: CRS 監視モニタが動作しているか確認してください。

asmmond don't run on current-node.

説明: ASM 監視モニタは、現在のノード上で動作していません。

処置: ASM 監視モニタが動作しているか確認してください。

stand alone monitors also stop.

The end of show request.

説明: 単独起動しているモニタはありません。show リクエストを終了します。

処置: モニタの起動状況を確認してください。

Usage:

説明: コマンドの書式が誤っています。

処置: 同時に出力される各書式にしたがって正しいコマンドを再投入してください。

Invalid argument. XXXX is used twice.

説明: コマンド引数に同一のオプションが複数回現われました。

処置: 同時に出力される Usage にしたがって正しいコマンドを再投入してください。

Invalid argument. XXXX is used YYYY request.

説明: リクエストに対するオプションの指定に誤りがあります。

処置: 同時に出力される Usage にしたがって正しいコマンドを再投入してください。

Invalid request.

説明: -c オプションに不正なリクエスト名が指定されました。

処置: サポートされているリクエスト名を正しく指定してください。

Invalid request XXXX to stand alone monitor.

説明: -c オプションに不正なリクエスト名が指定されました。

処置: 指定されたリクエストは、単独起動モニタに対して使用することはできません。
同時に出力される Usage にしたがって正しいコマンドを再投入してください。

Invalid argument.

説明: 無効なオプションが指定されました。

処置: 同時に出力される Usage にしたがって正しいコマンドを再投入してください。

Invalid argument for XXXX request.

説明: リクエストに対するパラメータに誤りがあります。

処置: 同時に出力される Usage にしたがって正しいコマンドを再投入してください。

Invalid argument for XXXX request to stand alone monitor.

説明: 単独起動モニタへのリクエストに対するパラメータに誤りがあります。

処置: 同時に出力される Usage にしたがって正しいコマンドを再投入してください。

Invalid argument. Only either of -t or -d or -S or -b or -P or -r can be specified.

説明: オプションの指定に誤りがあります。-t オプション、-d オプション、-S オプション、-b オプション、-P オプション、-r オプションは、1 つしか指定できません。

処置: すべて指定したい場合は、-a オプションを指定してください。

File name is too long.

説明: -f オプションに指定したファイル名が長すぎます。

処置: ファイル名の長さを 4096 バイト以内にしてください。

Request is incorrect.

説明: -c オプションに不正なリクエスト名が指定されました。

処置: サポートされているリクエスト名を正しく指定してください。

Invalid monitor_type.

説明: 無効なモニタタイプが指定されました。

処置: 同時に出力される Usage にしたがって正しいコマンドを再投入してください。

listener_name is too long (set XXXX/ limit YYYY).

説明: -s オプションで指定されたリスナー名が長すぎます。

処置: リスナー名の長さを YYYY 以内にしてください。

monitor_id is too long (set XXXX/ limit YYYY).

説明: -i オプションで指定された表領域監視モニタ ID が長すぎます。

処置: 表領域監視モニタ ID の長さを YYYY 以内にしてください。

Component ID should be an integer & [0-9].

説明: -C オプションに不正な構成 ID が指定されました。

処置: 0～9 の整数を指定してください。

Too many specified node names. limit XXXX.

説明: -n オプションに指定したノード数が多すぎます。

処置: 指定可能ノード数以内にしてください。

Port number should be an integer.

説明: ポート番号に数値以外の値が指定されました。

処置: ポート番号に整数値を指定しコマンドを再投入してください。

Port number should be lower than XXXX.

説明: -p オプションに指定したポート番号が範囲外です。

処置: ポート番号に XXXX 以下の値を指定してコマンドを再投入してください。

Port number should be higher than 1024.

説明: -p オプションに指定したポート番号が範囲外です。

処置: ポート番号に 1024 以上の値を指定してコマンドを再投入してください。

Too many specified pdb names.

説明: -P オプションに指定した PDB 数が多すぎます。

処置: 指定した PDB 数を確認してください。

Failed to allocate memory of -P (XXXX).

説明: メモリ不足により -P オプションは失敗しました。

処置: システム資源のチューニングが適切であるにもかかわらず本メッセージが出力される場合は、ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

Configuration file can not be accessed.(errno=XXXX)

説明: -f オプションに指定した設定ファイルが見つかりません。

処置: ファイル名が正しいことを確認してください。また、設定ファイルが存在するファイルシステムに異常がないか確認してください。

Internal error occured in am_cmd_prepare2()

説明: 内部エラーが発生しました。

処置: ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

Failed to read configuration.

説明: 構成情報の読み込みに失敗しました。

処置: 同時に出力されるエラーメッセージにしたがって設定ファイルの修正を行ってください。設定ファイルの再配布を行っても症状が改善されない場合は、ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

Failed to read configuration file.

説明: 設定ファイルの読み込みに失敗しました。

処置: 同時に出力されるエラーメッセージにしたがって設定ファイルの修正を行ってください。原因が特定できない場合は、ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

request for stand alone monitors, creating binary file.

説明: 単独起動しているモニタに対するリクエストです。バイナリファイルを作成してください。

処置: 単独起動しているモニタに対するリクエストを行う場合は、設定ファイルの配布が必要です。設定ファイルの再配布を行っても症状が改善されない場合は、ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

Failed to read configuration. XXXX**The status of oramond and (monitors that starts alone) cannot be acquired.**

説明: モニタ制御デーモンおよび単独起動しているモニタのステータスを得ることはできません。

処置: 同時に出力されるエラーメッセージにしたがって設定ファイルの修正を行ってください。設定ファイルの再配布を行っても症状が改善されない場合は、ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

So acquisition of the status of crsmond of a current-node begins.

説明: 現在のノード上で動作している CRS 監視モニタのステータスを出力します。

処置: 同時にエラーメッセージが出力されている場合は、メッセージにしたがって設定ファイルの修正を行ってください。設定ファイルの再配布を行っても症状が改善されない場合は、ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

So acquisition of the status of asmmond of a current-node begins.

説明: 現在のノード上で動作している ASM 監視モニタのステータスを出力します。

処置: 同時にエラーメッセージが出力されている場合は、メッセージにしたがって設定ファイルの修正を行ってください。設定ファイルの再配布を行っても症状が改善されない場合は、ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

Failed to request

When a cluster is stopping, please supply a command again after performing a delete request.

説明: apply 処理に失敗しました。

処置: 設定ファイルのノード名が変更された場合、またはノード数が指定可能数を超えた場合、apply 処理は行われません。同時に出力されるエラーメッセージにしたがって設定ファイルの修正を行うか、ApplicationMonitor が停止している場合は、delete リクエストを実行して構成情報ファイルを削除した後、apply リクエストを再投入してください。

nodename = XXXX is not found.

説明: 指定されたノードが存在しません。

処置: 設定ファイルに記述されているノード名を指定してください。原因が特定できない場合は、ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

nodename = XXXX can not find.

説明: ホストアドレスが見つかりません。

処置: 設定ファイルのノード名が正しいことを確認してください。原因が特定できない場合は、ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

listener_name = XXXX is not found.

説明: 指定されたリスナー名が存在しません。

処置: 設定ファイルに記述されているリスナー名を指定してください。原因が特定できない場合は、ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

monitor_id = XXXX is not found.

説明: 指定された表領域監視モニタ ID が存在しません。

処置: 設定ファイルに記述されている表領域監視モニタ ID を指定してください。原因が特定できない場合は、ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

am_cmd_prepare: Internal error occurred. Invalid opt_mode.

説明: 内部エラーが発生しました。

処置: ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

am_cmd_execute(2): Internal error occurred. Invalid opt_mode.

説明: 内部エラーが発生しました。

処置: ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

am_cmd_execute2: Failed to send message. To XXXX: mode=YYYY.

説明: 応答メッセージの送信に失敗しました。

処置: ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

am_cmd_execute2: select(): XXXX node=YYYY

説明: select() によるイベント待ち合わせ処理でエラーが発生しました。

処置: ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

**am_cmd_execute2: Communication timeout occurred before receive message.
node=XXXX, mode=YYYY**

説明: select() によるイベント待ち合わせ処理でタイムアウトが発生しました。

処置: ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

am_cmd_execute2: Failed to receive reply. From XXXX: mode=YYYY

説明: 返信データの受信に失敗しました。

処置: ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

**am_cmd_execute2: Internal communication error occurred. Unknown message
type received. type: XXXX**

説明: 内部エラーが発生しました。

処置: ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

Fail: crsmond (node = XXXX) is not YYYY.

説明: CRS 監視モニタに対するリクエストが失敗しました。

処置: syslog を確認してください。エラーメッセージが出力されている場合は、メッセージにしたがって対処を行ってください。原因が特定できない場合は、ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

Fail: lsnrmond (node = XXXX, listener_name = YYYY) is not ZZZZ.

説明: リスナー監視モニタに対するリクエストが失敗しました。

処置: syslog を確認してください。エラーメッセージが出力されている場合は、メッセージにしたがって対処を行ってください。原因が特定できない場合は、ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

Fail: tschkmond (node = XXXX, monitor_id = YYYY) is not ZZZZ.

説明: 表領域監視モニタに対するリクエストが失敗しました。

処置: syslog を確認してください。エラーメッセージが出力されている場合は、メッセージにしたがって対処を行ってください。原因が特定できない場合は、ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

Fail: fdsmond (node = XXXX) is not YYYY.

説明: ディスク領域監視モニタに対するリクエストが失敗しました。

処置: syslog を確認してください。エラーメッセージが出力されている場合は、メッセージにしたがって対処を行ってください。原因が特定できない場合は、ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

Fail: statsmond (node = XXXX, monitor_id = YYYY) is not ZZZZ.

説明: 統計情報採取モニタに対するリクエストが失敗しました。

処置: syslog を確認してください。エラーメッセージが出力されている場合は、メッセージにしたがって対処を行ってください。原因が特定できない場合は、ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

Fail: asmmond (node = XXXX) is not YYYY.

説明: ASM 監視モニタに対するリクエストが失敗しました。

処置: syslog を確認してください。エラーメッセージが出力されている場合は、メッセージにしたがって対処を行ってください。原因が特定できない場合は、ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

am_cmd_connect: Failed to create socket XXXX

説明: TCP ソケットの初期化に失敗しました。

処置: ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

am_cmd_connect: Failed to connect server XXXX

説明: TCP 通信での接続に失敗しました。

処置: 設定ファイルに問題がないことを確認してください。原因が特定できない場合は、ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

am_cmd_append_st: Internal error occurred.

説明: 内部エラーが発生しました。

処置: ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

Failed to Specification of a monitor-control(master).

説明: モニタ制御デーモン (MASTER) の特定に失敗しました。

処置: ApplicationMonitor が正常に動作しているにもかかわらず本メッセージが出力される場合は、ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

am_cmd_chk_master: Failed to XXXX

説明: モニタ制御デーモン (MASTER) との通信に失敗しました。

処置: ApplicationMonitor が正常に動作しているにもかかわらず本メッセージが出力される場合は、ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

am_cmd_chk_master: select(): XXXX

説明: select() によるイベント待ち合わせ処理でエラーが発生しました。

処置: ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

am_cmd_chk_master: Connection timeout occurred before receive message.

説明: select() によるイベント待ち合わせ処理でタイムアウトが発生しました。

処置: ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

**am_cmd_chk_master: Connection was refused by monitor-control(master).
receive status: XXXX**

説明: モニタ制御デーモン (MASTER) との通信に失敗しました。

処置: ApplicationMonitor が正常に動作しているにもかかわらず本メッセージが出力される場合は、ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

am_cmd_chk_master: Internal communication error. received: XXXX

説明: 内部エラーが発生しました。

処置: ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

am_ask_master: Failed to XXXX

説明: モニタ制御デーモン (MASTER) 特定処理でエラーが発生しました。

処置: ApplicationMonitor が正常に動作しているにもかかわらず本メッセージが出力される場合は、ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

am_ask_master: select(): XXXX

説明: select() によるイベント待ち合わせ処理でエラーが発生しました。

処置: ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

am_ask_master: Communication timeout occurred before specified monitor-control(master).

説明: select() によるイベント待ち合わせ処理でタイムアウトが発生しました。

処置: ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

am_ask_master: Received unknown message. type: XXXX

説明: 未知のメッセージを受信しました。

処置: ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

am_cmd_connect_conf(2): Failed to allocate memory.

説明: メモリ不足により構成情報管理サーバとの接続に失敗しました。

処置: システム資源のチューニングが適切であるにもかかわらず本メッセージが出力される場合は、ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

am_cmd_connect_conf(2): Failed to XXXX

説明: 構成情報管理サーバとの接続処理でエラーが発生しました。

処置: ApplicationMonitor が正常に動作しているにもかかわらず本メッセージが出力される場合は、ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

am_cmd_connect_conf(2): select(): XXXX

説明: select() によるイベント待ち合わせ処理でエラーが発生しました。

処置: ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

am_cmd_connect_conf(2): Communication timeout occurred before connect .

説明: select() によるイベント待ち合わせ処理でタイムアウトが発生しました。

処置: ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

**am_cmd_connect_conf(2): Connection was refused by configuration-server.
receive status: XXXX**

説明: 構成情報管理サーバとの通信に失敗しました。

処置: ApplicationMonitor が正常に動作しているにもかかわらず本メッセージが出力される場合は、ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

am_cmd_connect_conf(2): Internal communication error. received: XXXX

説明: 内部エラーが発生しました。

処置: ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

pluggable database monitor is inactive.

説明: PDB 監視モニタが動作していません。

処置: 設定ファイルの PDB 監視設定部分に問題がないことを確認してください。原因が特定できない場合は、ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

am_cmd_monitor_ctrl: Failed to allocate memory. mode: XXXX

説明: メモリ不足によりメモリ領域の確保に失敗しました。

処置: システム資源のチューニングが適切であるにもかかわらず本メッセージが出力される場合は、ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

am_cmd_monitor_ctrl: Failed to search sg data. mode: XXXX

Could not find pluggable-database-name. Please check a configuration file.

説明: PDB 監視用の構成情報の展開に失敗しました。

処置: 設定ファイルの PDB 監視設定部分に問題がないことを確認してください。原因が特定できない場合は、ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

am_cmd_monitor_ctrl: Failed to send request. mode: XXXX

説明: モニタ制御デーモン (MASTER) へのリクエスト送信処理でエラーが発生しました。

処置: ApplicationMonitor が正常に動作しているにもかかわらず本メッセージが出力される場合は、ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

am_cmd_monitor_ctrl: select(): XXXX

説明: select() によるイベント待ち合わせ処理でエラーが発生しました。

処置: ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

am_cmd_monitor_ctrl: Communication timeout occurred before receive reply from monitor-control(master).

説明: select() によるイベント待ち合わせ処理でタイムアウトが発生しました。

処置: ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

am_cmd_monitor_ctrl: Failed to receive reply message from monitor-control(master).

説明: モニタ制御デーモン (MASTER) からのリクエスト受信処理でエラーが発生しました。

処置: ApplicationMonitor が正常に動作しているにもかかわらず本メッセージが出力される場合は、ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

am_cmd_monitor_ctrl: Internal communication error XXXX

説明: 内部エラーが発生しました。

処置: ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

am_cmd_monitor_ctrl: Internal error (XXXX). Unknown status received. Failed to YYYY.

説明: モニタ制御部デーモン (MASTER) より未知のステータスを受信しました。

処置: 管理コマンドを再投入しても症状が改善されない場合は、ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

am_cmd_monitor_ctrl: Internal error occurred. Unknown request mode XXXX.

説明: 未知のリクエストを送信しようとしてしました。

処置: ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

Received error status (XXXX) from monitor-control(master).

Failed to YYYY.

説明: モニタ制御デーモン (MASTER) よりエラーステータスを受信しました。

処置: 管理コマンドを再投入しても症状が改善されない場合は、ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

Failed to XXXX request

説明: リクエストに対する処理が失敗しました。

処置: 同時に出力されるエラーメッセージにしたがって対処してください。原因が特定できない場合は、ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

Failed to compare configuration file.

説明: 設定ファイルの変更可パラメータの比較に失敗しました。

処置: 同時に出力されるエラーメッセージにしたがって設定ファイルを修正してください。原因が特定できない場合は、ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

am_cmd_suspend: Internal error occurred. Invalid node-name.

説明: 内部エラーが発生しました。

処置: 設定ファイルに問題がないことを確認してください。原因が特定できない場合は、ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

am_cmd_ipc_cycle: Failed to XXXX

説明: リクエストの送信および結果の受信処理でエラーが発生しました。

処置: ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

am_cmd_ipc_cycle: select(): XXXX

説明: select() によるイベント待ち合わせ処理でエラーが発生しました。

処置: ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

am_cmd_ipc_cycle: Communication timeout occurred before receive message. XXXX

説明: select() によるイベント待ち合わせ処理でタイムアウトが発生しました。

処置: ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

am_cmd_ipc_cycle: Internal communication error occurred. Unknown message type received. type: XXXX

説明: 内部エラーが発生しました。

処置: ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

Error occurred, so failed to check-request.

説明: 設定ファイルの確認処理に失敗しました。

処置: 設定ファイルに問題がないことを確認してください。原因が特定できない場合は、ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

am_cmd_check: Failed to XXXX

説明: 設定ファイルの確認処理でエラーが発生しました。

処置: 設定ファイルに問題がないことを確認してください。原因が特定できない場合は、ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

am_cmd_check: select(): XXXX

説明: select() によるイベント待ち合わせ処理でエラーが発生しました。

処置: ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

am_cmd_check: Communication timeout occurred before receive check reply.

説明: select() によるイベント待ち合わせ処理でタイムアウトが発生しました。

処置: ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

am_cmd_check: Internal error occurred. Received unknown XXXX

説明: 内部エラーが発生しました。

処置: ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

invalid username/password, section(table_name = XXXX)

説明: 設定ファイルで指定された Table ステートメントのユーザー名／パスワードは無効です。

処置: 該当する Table ステートメントに問題がないことを確認してください。Table ステートメントの値が正常であるにもかかわらず本メッセージが出力される場合は、Oracle および ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

table or view does not exist, section(table_name = XXXX)

説明: 設定ファイルで指定された Table ステートメントのテーブルまたはビューは存在しません。

処置: 該当する Table ステートメントに問題がないことを確認してください。Table ステートメントの値が正常であるにもかかわらず本メッセージが出力される場合は、Oracle および ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

Oracle error or stall occurred, section(table_name = XXXX)

説明: 設定ファイルで指定された Table ステートメントの確認中に Oracle のエラーまたはストールを検出しました。

処置: Oracle の状態が正常であるにもかかわらず本メッセージが出力される場合は、タイムアウトおよびリトライの設定を見なおしてください。症状が改善されない場合は、Oracle および ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

tablespace does not exist, section(tablespace_name = XXXX)

説明: 設定ファイルで指定された TableSpace ステートメントの表領域は存在しません。

処置: 該当する TableSpace ステートメントに問題がないことを確認してください。TableSpace ステートメントの値が正常であるにもかかわらず本メッセージが出力される場合は、Oracle および ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

unsupported tablespace, section(tablespace_name = XXXX)

説明: ローカル管理された一時表領域は監視対象外です。

処置: 該当する TableSpace ステートメントには、ローカル管理された一時表領域以外の表領域を指定してください。TableSpace ステートメントの値が正常であるにもかかわらず本メッセージが出力される場合は、Oracle および ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

Oracle error or stall occurred, section(tablespace_name = XXXX)

説明: 設定ファイルで指定された TableSpace ステートメントの確認中に Oracle のエラーまたはストールを検出しました。

処置: Oracle の状態が正常であるにもかかわらず本メッセージが出力される場合は、タイムアウトおよびリトライの設定を見なおしてください。症状が改善されない場合は、Oracle および ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

invalid username/password, section(table_name = XXXX). Node=YYYY, pdb=ZZZZ

説明: 設定ファイルで指定された Table ステートメント内のユーザー名／パスワードは無効です。

処置: 該当する Table ステートメントに問題がないことを確認してください。Table ステートメント内の値が正常であるにもかかわらず本メッセージが出力される場合は、Oracle および ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

table or view does not exist, section(table_name = XXXX). Node=YYYY, pdb=ZZZZ

説明: 設定ファイルで指定された Table ステートメントのテーブルまたはビューは存在しません。

処置: 該当する Table ステートメントに問題がないことを確認してください。Table ステートメントの値が正常であるにもかかわらず本メッセージが出力される場合は、Oracle および ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

Oracle error or stall occurred, section(table_name = XXXX). Node=YYYY, pdb=ZZZZ

説明: 設定ファイルで指定された Table ステートメントの確認中に Oracle のエラーまたはストールを検出しました。

処置: Oracle の状態が正常であるにもかかわらず本メッセージが出力される場合は、タイムアウトおよびリトライの設定を見なおしてください。症状が改善されない場合は、Oracle および ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

Oracle is DOWN, but monitor-control is active XXXX. so apply request can't execute. Node=YYYY

説明: Oracle が停止しているノード上のモニタ制御デーモンが起動しているため、配布処理が行われませんでした。

処置: 該当ノード上のモニタ制御デーモンを停止し、コマンドを再投入してください。

Oracle or listener is DOWN, so can't check parameter. Node=XXXX

説明: 該当ノード上の Oracle またはリスナーが停止しているため、Table ステートメントおよび TableSpace ステートメントの確認は行われませんでした。

処置: Oracle の状態が正常であるにもかかわらず本メッセージが出力される場合は、Oracle および ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

When the setting file was checked, some errors or setting mistakes were detected.

説明: 設定ファイルの確認処理によりいくつかの設定ミスを検出しました。

処置: 同時に出力されるエラーメッセージにしたがって設定ファイルの修正を行ってください。原因が特定できない場合は、Oracle および ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

Failed to check configuration, so failed to apply request.

説明: 設定ファイルの確認処理によりエラーを検出したため、apply 処理に失敗しました。

処置: 同時に出力されるエラーメッセージにしたがって設定ファイルの修正を行ってください。原因が特定できない場合は、Oracle および ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

Failed to connect monitor-control(master).

説明: モニタ制御デーモン (MASTER) の接続に失敗しました。

処置: ApplicationMonitor が正常に動作しているにもかかわらず本メッセージが出力される場合は、ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

Failed to send apply request to monitor-control(master).

説明: apply 要求の送信に失敗しました。

処置: ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

Disconnect from configuration-server & execute self-rollback.

説明: 構成情報管理サーバとの通信を切断し、ロールバックを行います。

処置: 同時に出力されるエラーメッセージにしたがって対処してください。

Communication error occurred. received XXXX

説明: モニタ制御デーモン (MASTER) との通信でエラーが発生しました。

処置: ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

am_cmd_apply: select(): XXXX

説明: select() によるイベント待ち合わせ処理でエラーが発生しました。

処置: ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

am_cmd_apply: Communication timeout occurred before receive apply reply from monitor-control(master).

説明: select() によるイベント待ち合わせ処理でタイムアウトが発生しました。

処置: ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

am_cmd_apply: Failed to receive apply reply from monitor-control(master).

説明: モニタ制御デーモン (MASTER) からの apply 応答の受信に失敗しました。

処置: ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

am_cmd_apply: It cannot judge whether the request was successful. Please check syslog

説明: apply 処理が正常に行われなかった可能性があります。syslog を確認してください。

処置: syslog に出力されているエラーメッセージにしたがって対処してください。原因が特定できない場合は、ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

**Failed to send disconnect message to configuration-server (XXXX request).
NODE:YYYY**

説明: 構成情報管理サーバへの終了要求の送信に失敗しました。

処置: ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

Failed to XXXX configuration file on some node.

説明: あるノード上で構成情報の操作に失敗しました。

処置: 構成情報ファイルが存在するファイルシステムに異常がないことを確認してください。原因が特定できない場合は、ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

Failed to delete configuration file.

説明: 構成情報ファイルの削除に失敗しました。

処置: 構成情報ファイルが存在するファイルシステムに異常がないことを確認してください。原因が特定できない場合は、ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

Failed to view-request.

説明: 構成情報表示処理に失敗しました。

処置: ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

Error occurred, so delete-request is failed.

説明: 構成情報ファイル削除処理に失敗しました。

処置: 構成情報ファイルが存在するファイルシステムに異常がないことを確認してください。原因が特定できない場合は、ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

Some nodes are operating now, so can't delete configuration file.

説明: いくつかのノード上でモニタ制御デーモンが動作中のため、構成情報ファイルの削除が行われませんでした。

処置: モニタ制御デーモンが停止しているにもかかわらず本エラーメッセージが出力される場合は、ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

Disagreement of ID number was detected.

説明: ID 番号の不一致が検出されました。

処置: 設定ファイルが正しく配布されていることを確認してください。設定ファイルの再配布を行っても症状が改善されない場合は、ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

Failed to stop monitor on some node.

説明: あるノード上の ApplicationMonitor の停止に失敗しました。

処置: ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

am_cmd_disp_status: Failed to output information.

説明: 監視情報の表示に失敗しました。

処置: ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

GetMyself_crs_Show(): Invalid argument.

説明: 無効なオプションが指定されました。

処置: ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

GetMyself_crs_Show(): XXXX: YYYY.

説明: CRS モニタ監視または ASM モニタ監視との通信でエラーが発生しました。

処置: ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

GetMyself_crs_Show():Failed to send request..

説明: CRS モニタ監視または ASM モニタ監視に対するリクエストの送信が失敗しました。

処置: ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

GetMyself_crs_Show():Failed to receive result.

説明: CRS モニタ監視または ASM モニタ監視からの結果の受信に失敗しました。

処置: ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

Failed to connect oraconfd on the XXXX, maybe oraconfd is not run.

説明: 構成情報管理サーバとの接続に失敗しました。XXXX 上の構成情報管理サーバが動作していない可能性があります。

処置: 構成情報管理サーバが起動しているか確認してください。構成情報管理サーバが起動している状態で再度コマンドの投入を行ってください。原因が特定できない場合は、ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

PrintStandAlone_Status: Failed to send request(SHOW). To XXXX

説明: XXXX に対する SHOW リクエストの送信に失敗しました。

処置: ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

PrintStandAlone_Status: select(): XXXX node=YYYY

説明: select() によるイベント待ち合わせ処理でエラーが発生しました。

処置: ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

PrintStandAlone_Status: Communication timeout occurred before receive request(SHOW). node=XXXX

説明: select() によるイベント待ち合わせ処理でタイムアウトが発生しました。

処置: ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

PrintStandAlone_Status: Failed to receive reply(SHOW). From XXXX:

説明: XXXX からの SHOW リクエストに対する返信の受信に失敗しました。

処置: ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

PrintStandAlone_Status: Internal communication error occurred. Unknown message type received. type: XXXX

説明: 内部エラーが発生しました。

処置: ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

PrintStandAlone_Status: Receive monitor-type is invalid. type: XXXX

説明: 内部エラーが発生しました。

処置: ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

Failed to decode configuration data.

説明: 構成情報の解読に失敗しました。

処置: ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

Same SERVICE_PORT set to the other configuration (component ID:XXX).

説明: 指定された SERVICE_PORT パラメータは、他の設定ファイルですでに使用されています。

処置: 設定ファイルの SERVICE_PORT パラメータの値を確認してください。原因が特定できない場合は、ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

Same ADMIN_PORT set to the other configuration (component ID:XXX).

説明: 指定された ADMIN_PORT パラメータは、他の設定ファイルですでに使用されています。

処置: 設定ファイルの ADMIN_PORT パラメータの値を確認してください。原因が特定できない場合は、ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

A certain error occurred, so check request does not finished. Please check syslog.

説明: 設定ファイルの確認処理に失敗しました。syslog を確認してください。

処置: syslog に出力されているエラーメッセージにしたがって対処してください。原因が特定できない場合は、ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

Does not find SCRIPT_NAME. NODE:XXXX. (errno=YYYY)

説明: 指定されたスクリプトが存在しません。

処置: 設定ファイルの SCRIPT_NAME パラメータの値を確認してください。原因が特定できない場合は、ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

Does not find SCRIPT_USER. NODE:XXXX.

説明: 指定されたユーザー名が存在しません。

処置: 設定ファイルの SCRIPT_USER パラメータの値を確認してください。原因が特定できない場合は、ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

Does not find MONITOR_USER. NODE:XXXX YYYY.

説明: 指定されたモニタの実効ユーザー名が存在しません。

処置: 設定ファイルの MONITOR_USER パラメータの値を確認してください。原因が特定できない場合は、ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

ORACLE_BASE:XXXX, YYYY

説明: 指定された ORACLE_BASE パラメータが存在しません。

処置: 設定ファイルの ORACLE_BASE パラメータの値を確認してください。原因が特定できない場合は、ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

ORACLE_HOME:XXXX, YYYY

説明: 指定された ORACLE_HOME パラメータが存在しません。

処置: 設定ファイルの ORACLE_HOME パラメータの値を確認してください。原因が特定できない場合は、ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

ORA_NLS:XXXX, YYYY

説明: 指定された ORA_NLS パラメータが存在しません。

処置: 設定ファイルの ORA_NLS パラメータの値を確認してください。原因が特定できない場合は、ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

SHLIB_PATH:XXXX, YYYY

説明: 指定された SHLIB_PATH パラメータが存在しません。

処置: 設定ファイルの SHLIB_PATH パラメータの値を確認してください。原因が特定できない場合は、ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

TNS_ADMIN:XXXX, YYYY

説明: 指定された TNS_ADMIN パラメータが存在しません。

処置: 設定ファイルの TNS_ADMIN パラメータの値を確認してください。原因が特定できない場合は、ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

GRID_BASE:XXXX, YYYY

説明: 指定された GRID_BASE パラメータが存在しません。

処置: 設定ファイルの GRID_BASE パラメータの値を確認してください。原因が特定できない場合は、ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

GRID_HOME:XXXX, YYYY

説明: 指定された GRID_HOME パラメータが存在しません。

処置: 設定ファイルの GRID_HOME パラメータの値を確認してください。原因が特定できない場合は、ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

Does not find GRID_USER. NODE:XXXX.

説明: 指定された実効ユーザーが存在しません。

処置: 設定ファイルの GRID_USER パラメータの値を確認してください。原因が特定できない場合は、ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

Does not find MONITOR_USER. NODE:XXXX LISTENER_NAME:YYYY.

説明: 指定されたリスナー監視モニタの実効ユーザーが存在しません。

処置: 設定ファイルの該当するリスナーの MONITOR_USER パラメータの値を確認してください。原因が特定できない場合は、ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

Does not find TNSPING. NODE:XXXX LISTENER_NAME:YYYY. (errno=ZZZZ)

説明: 指定されたコマンドは存在しません。

処置: 設定ファイルの該当するリスナーの TNSPING パラメータの値を確認してください。原因が特定できない場合は、ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

Does not find XXXX. NODE:NNNN LISTENER_NAME:YYYY. (errno=ZZZZ)

説明: リスナー再起動スクリプトが存在しません。

処置: ApplicationMonitor が正しくインストールされていることを確認してください。ApplicationMonitor の再インストールを行っても症状が改善されない場合は、ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

Does not find MONITOR_USER. NODE:XXXX TSCHKMOND_ID:YYYY.

説明: 指定された表領域監視モニタの実効ユーザーが存在しません。

処置: 設定ファイルの該当する表領域監視の MONITOR_USER パラメータの値を確認してください。原因が特定できない場合は、ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

Does not find COMMAND_NAME. NODE:XXXX TSCHKMOND_ID:YYYY.

説明: 指定されたコマンドは存在しません。

処置: 設定ファイルの該当する表領域監視の COMMAND_NAME パラメータの値を確認してください。原因が特定できない場合は、ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

Does not find MONITOR_USER. NODE:XXXX FDSMOND.

Does not find MONITOR_USER. NODE:XXXX FDSMOND. MONITOR_USER=YYYY

説明: 指定されたディスク領域監視モニタの実効ユーザーが存在しません。

処置: 設定ファイルの該当するディスク領域監視の MONITOR_USER パラメータの値を確認してください。原因が特定できない場合は、ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

Does not find COMMAND_NAME. NODE:XXXX FDSMOND. (errno=YYYY).

説明: 指定されたコマンドは存在しません。

処置: 設定ファイルの該当するディスク領域監視の COMMAND_NAME パラメータの値を確認してください。原因が特定できない場合は、ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

Does not find COMMAND_NAME. NODE:XXXX DIRECTORY_ID: YYYY. (errno=ZZZZ).

説明: 指定されたコマンドは存在しません。

処置: 設定ファイルの該当する Directory ステートメントの COMMAND_NAME パラメータの値を確認してください。原因が特定できない場合は、ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

Does not find MONITOR_USER. NODE:XXXX STATSMD_ID:YYYY.

説明: 指定された統計情報採取モニタの実効ユーザーが存在しません。

処置: 設定ファイルの該当する統計情報採取の MONITOR_USER パラメータの値を確認してください。原因が特定できない場合は、ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

Does not find MONITOR_USER. NODE:XXXX STBDBMOND. MONITOR_USER=YYYY

説明: スタンバイデータベース監視モニタの実効ユーザーが存在しません。

処置: 設定ファイルのスタンバイ・データベース監視の MONITOR_USER パラメータの値を確認してください。原因が特定できない場合は、ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

Does not find COMMAND_NAME. NODE:XXXX STBDBMOND:YYYY. (errno=ZZZZ)

説明: 指定されたコマンドは存在しません。

処置: 設定ファイルの該当するステートメント内の COMMAND_NAME パラメータの値を確認してください。原因が特定できない場合は、ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

Does not find MONITOR_USER. NODE:XXXX PDBMOND. MONITOR_USER=YYYY

説明: PDB 監視モニタの実効ユーザーが存在しません。

処置: 設定ファイルの PDB 監視の MONITOR_USER パラメータの値を確認してください。原因が特定できない場合は、ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

Does not find COMMAND_NAME. NODE:XXXX PLUGGABLE:YYYY

説明: 指定されたコマンドは存在しません。

処置: 設定ファイルの該当する PDB の COMMAND_NAME パラメータの値を確認してください。原因が特定できない場合は、ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

Failed to resolve name. NODE:XXXX, LISTENER_NAME:YYYY

説明: ネット・サービス名の解決に失敗しました。

処置: 設定ファイルの該当するリスナーの NET_SERVICE_NAME パラメータの値を確認してください。原因が特定できない場合は、ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

network-number should be an integer.

説明: Oracle Clusterware で管理するネットワーク番号は整数である必要があります。

処置: ネットワーク番号は整数を指定してください。

network-number is too large.

説明: 指定したネットワーク番号が大きすぎます。

処置: 正しいネットワーク番号を指定してください。

Scan listener monitor is inactive.

説明: SCAN リスナー監視モニタが動作していません。

処置: 設定ファイル slsnrmond.conf に問題がないことを確認してください。原因が特定できない場合は、ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。正しいネットワーク番号を指定してください。

am_cmd_get_slsnr_info: failed XXXX

説明: 内部エラーが発生しました。

処置: ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。正しいネットワーク番号を指定してください。

am_cmd_get_slsnr_info: Failed to execute command by STALL.**am_cmd_get_slsnr_info: Kill SG check command.**

説明: コマンド実行処理でタイムアウトが発生しました。

処置: 構成情報のチューニングが適切であるにもかかわらず本メッセージが出力される場合は、ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

am_cmd_get_slsnr_info: Failed to execute command.

説明: コマンドの実行に失敗しました。

処置: ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

GetScanListenerInfo: Failed to get information of scan listener monitor resource.

説明: SCAN リスナーの情報を取得することができませんでした。

処置: ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

GetScanListenerInfo: Internal error occurred.

説明: 内部エラーが発生しました。

処置: ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

GetScanListenerInfo: Information of scan listener monitor resource is not found.

説明: SCAN リスナーの情報を取得することができませんでした。

処置: ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

GetScanListenerInfo: Execute result is unknown. (status = XXXX)

説明: 未知の結果を受信しました。

処置: ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

GetScanListenerInfo: Failed XXXX

説明: 内部エラーが発生しました。

処置: ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

am_cmd_prepare3: nodename = XXXX can not find.(YYYY)

説明: ホストアドレスが見つかりません。

処置: 設定ファイルのノード名が正しいことを確認してください。原因が特定できない場合は、ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

am_cmd_execute3: Internal error occurred. Invalid opt_mode.

説明: 内部エラーが発生しました。

処置: ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

am_cmd_execute3: nodename = XXXX is not found.(target = YYYY)

説明: 指定されたノードが存在しません。

処置: 設定ファイルに記述されているノード名を指定してください。原因が特定できない場合は、ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

am_cmd_execute3: Failed to send message. To XXXX, target=YYYY: mode=ZZZZ

説明: 応答メッセージの送信に失敗しました

処置: ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

am_cmd_execute3: select(): XXXX node=YYYY, target=ZZZZ

説明: select() によるイベント待ち合わせ処理でエラーが発生しました。

処置: ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

am_cmd_execute3: Communication timeout occurred before receive message. node=XXXX, target=YYYY, mode=ZZZZ

説明: select() によるイベント待ち合わせ処理でタイムアウトが発生しました。

処置: ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

am_cmd_execute3: Failed to receive reply. From XXXX, target=YYYY: mode=ZZZZ

説明: 返信データの受信に失敗しました。

処置: ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

am_cmd_execute3: Internal communication error occurred. Unknown message type received. node=XXXX, target=YYYY, type: ZZZZ

説明: 内部エラーが発生しました。

処置: ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

Fail: slsnrmond (node = XXXX, target = YYYY) failed to license (request = ZZZZ).

説明: 正しいライセンスを確認できませんでした。

処置: 登録したコードワードが正しいか確認してください。

Fail: slsnrmond (node = XXXX, target = YYYY) is not accepted (request = ZZZZ).

説明: リクエストを受け付けませんでした。

処置: ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

Fail: slsnrmond (target = %s) is offline.

説明: リソース情報が OFFLINE です。

処置: ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

am_cmd_execute3: Failed to send disconnect message to configuration-server (XXXX request). NODE:YYYY

説明: 構成情報管理サーバへの終了要求の送信に失敗しました。

処置: ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

Failed to XXXX request on some node.

説明: いずれかのノードで リクエストの処理に失敗しました。

処置: ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

Fail: XXXX (YYYY) failed to license (request = ZZZZ).

説明: 認証に失敗しました。

処置: 登録したコードワードが正しいか確認してください。

am_cmd_monitor_ctrl: Internal communication error (license request). received: XXXX

説明: 内部エラーが発生しました。

処置: 登録したコードワードが正しいか確認してください。

Failed to license check.

説明: 認証に失敗しました。

処置: 登録したコードワードが正しいか確認してください。

1.16.2. 標準出力メッセージ

Compare current binary file, so exist different value.

But checking extension mode now, so skipping this compare error.

説明: 確認時、変更箇所の比較でエラーが発生しましたが、-E オプションが指定されているため、エラーをスキップします。

処置: 対処の必要はありません。完全な確認を行う場合は、-E オプションを外して再度確認を行ってください。

Among option XX & YY, so print information ZZ mode.

説明: XX と YY の両オプションが指定された場合、ZZ オプションを採用します。

処置: 対処の必要はありません。

Connect to monitor-control(master).

説明: モニタ制御デーモン (MASTER) に接続されました。

処置: 対処の必要はありません。

Succeeded in XXXX.

説明: 処理が成功しました。

処置: 対処の必要はありません。

Finished to check configuration-file.

説明: 設定ファイルの確認処理が完了しました。

処置: 対処の必要はありません。

Success: crsmond (node = XXXX) is YYYY.

説明: CRS 監視モニタに対するリクエストが成功しました。

処置: 対処の必要はありません。

Success: lsnrmond (node = XXXX, listener_name = YYYY) is ZZZZ.

説明: リスナー監視モニタに対するリクエストが成功しました。

処置: 対処の必要はありません。

Success: tschkmond (node = XXXX, monitor_id = YYYY) is ZZZZ.

説明: 表領域監視モニタに対するリクエストが成功しました。

処置: 対処の必要はありません。

Success: fdsmond (node = XXXX) is YYYY.

説明: ディスク領域監視モニタに対するリクエストが成功しました。

処置: 対処の必要はありません。

Success: statsmond (node = XXXX, monitor_id = YYYY) is ZZZZ.

説明: 統計情報採取モニタに対するリクエストが成功しました。

処置: 対処の必要はありません。

Success: asmmnd (node = XXXX) is YYYY.

説明: ASM 監視モニタに対するリクエストが成功しました。

処置: 対処の必要はありません。

output status of crsmond of a current-node.

説明: 現在のノード上で動作している CRS 監視モニタのステータスを表示します。

処置: 対処の必要はありません。

Success: slsnrmond (node = XXXX, target = YYYY) is accepted (request = ZZZZ).

説明: リクエストを受け付けました。

処置: 対処の必要はありません。

Succeeded in license check.

説明: 認証が正しく行われました。

処置: 対処の必要はありません。

Monitoring stop until activation succeeded.

説明: ライセンスが登録されるまで監視を行いません。

処置: 登録したコードワードが正しいか確認してください。

1.16.3. 通知メッセージ

XXXX is supplied. Request is YYYY

説明: 管理コマンドがリクエストを受け付けました。

処置: 対処の必要はありません。

The execution command is XXXX

説明: 実行されたコマンドは XXXX です。

処置: 対処の必要はありません。

1.17. 構成情報管理サーバ (oraconfd) 固有メッセージ

本章に記述しているメッセージにしたがって障害解析情報の採取を行う場合は、「2 障害解析情報の採取」を参照してください。

1.17.1. エラーメッセージ

unlink(): XXXX

説明: 内部エラーが発生しました。

処置: ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

oraconfd: Invalid argument.

説明: 指定された引数の数が誤っています。

処置: 正しい引数を指定してください。

oraconfd: Invalid argument: XXXX

説明: 指定されたオプションが誤っています。

処置: 正しい引数を指定してください。

oraconfd: Port number should be an integer.

説明: ポート番号に数値以外の値が指定されました。

処置: ポート番号に整数値を指定してください。

oraconfd: Port number should be lower than XXXX.

説明: -p オプションに指定したポート番号が範囲外です。

処置: ポート番号に XXXX 以下の値を指定してください。

oraconfd: Port number should be higher than 1024.

説明: -p オプションに指定したポート番号が範囲外です。

処置: ポート番号に 1024 以上の値を設定してください。

am_serv_daemon_init: Only super-user can execute XXXX.

説明: root ユーザー以外のユーザーで起動されました。

処置: 構成情報管理サーバは root ユーザーで起動してください。

am_serv_daemon_init: Failed 関数名(): XXXX

説明: 内部エラーが発生しました。

処置: ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

am_serv_daemon_init: XXXX is already running.

説明: 構成情報管理サーバは、すでに起動されています。

処置: 構成情報管理サーバが停止しているにもかかわらず本メッセージが出力される場合は、ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

am_serv_term: Failed 関数名(): XXXX

説明: 内部エラーが発生しました。

処置: ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

am_serv_sock_init: Failed 関数名(): XXXX

説明: 内部エラーが発生しました。

処置: ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

am_serv_req: Failed 関数名(): XXXX

説明: 内部エラーが発生しました。

処置: ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

am_serv_req: Client command timed out.

説明: 管理コマンドからの要求待ちでタイムアウトが発生しました。

処置: コマンドを再投入しても本メッセージが頻繁に出力される場合は、ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

am_serv_req: Communication error occurred.

説明: 管理コマンドとの通信でエラーが発生しました。

処置: コマンドを再投入しても本メッセージが頻繁に出力される場合は、ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

am_serv_req: Invalid data.

説明: 受信データが無効です。

処置: ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

am_serv_req: Invalid header type.

説明: 受信したヘッダ情報が無効です。

処置: ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

am_serv_req: Invalid program.

説明: プログラムのバージョンが異なります。

処置: ApplicationMonitor が正しくインストールされていることを確認してください。ApplicationMonitor の再インストールを行っても症状が改善されない場合は、ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

am_serv_req: Failed to send message.

説明: 応答メッセージの送信に失敗しました。

処置: ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

am_serv_req: Connection closed by peer.

説明: プロセス間通信を行う PIPE が相手側から切断されました。

処置: コマンドを再投入しても本メッセージが頻繁に出力される場合は、ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

am_serv_req: Failed to self roll back.

説明: ロールバック処理が失敗しました。

処置: 構成情報を元に戻せなかった可能性があります。設定ファイルの再配布を行ってください。また、同時に出力されるエラーメッセージにしたがって対処してください。原因が特定できない場合は、ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

am_serv_req: Failed to read configuration image.

説明: 構成情報の展開に失敗しました。

処置: ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

am_serv_req: Failed to read configuration file. (VIEW request)

説明: 構成情報ファイルの読み込みに失敗しました。

処置: 構成情報ファイルが存在するファイルシステムに異常がないことを確認してください。また、同時に出力されるエラーメッセージにしたがって対処してください。原因が特定できない場合は、ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

am_serv_req: Failed to get data.

説明: 情報の取得に失敗しました。

処置: ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

am_serv_req: Invalid request.

説明: 無効な要求です。

処置: ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

am_serv_check_sg: Fatal error occurred.

説明: 内部エラーが発生しました。

処置: ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

am_serv_check_sg: Does not find host-address.

説明: ホストアドレスが見つかりません。

処置: 設定ファイルのノード名が正しいことを確認してください。原因が特定できない場合は、ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

Failed to mkdir XXXX: YYYY

説明: 作業ディレクトリの作成に失敗しました。

処置: システム資源のチューニングが適切であるにもかかわらず本メッセージが出力される場合は、ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

am_serv_inst_chk: Failed to start monitor.

説明: 外部コマンドの実行に失敗しました。

処置: ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

am_serv_inst_chk: Failed to set parameter of XXXX.

説明: 設定情報の符号化に失敗しました。

処置: ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

am_serv_inst_chk: Failed to send message.

説明: 起動確認メッセージの送信に失敗しました。

処置: ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

am_serv_inst_chk: Broken pipe among monitor. (errno=XXXX, line=YYYY)

説明: select() によるイベント待ち合わせ処理でエラーが発生しました。

処置: ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

am_serv_inst_chk: Communication timeout occurred. (line=XXXX)

説明: select() によるイベント待ち合わせ処理でタイムアウトが発生しました。

処置: ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

am_serv_inst_chk: Kill SG check monitor. (line=XXXX)

説明: SG 確認用プロセスを終了しました。

処置: 同時に出力されるメッセージにしたがって対処してください。

am_serv_inst_chk: Failed to receive message. (line=XXXX)

説明: 確認結果の受信に失敗しました。

処置: ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

am_serv_inst_chk: Internal error occurred. (line=XXXX)

説明: 内部エラーが発生しました。

処置: ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

am_serv_inst_chk: Failed to send check request to monitor.

説明: 確認要求の送信に失敗しました。

処置: ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

am_serv_inst_chk: Internal error occurred.

説明: 内部エラーが発生しました。

処置: ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

am_serv_lsnr_chk: Failed to execute command (XXXX).

説明: コマンドの実行に失敗しました。

処置: ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

am_serv_lsnr_chk: Failed to 関数名().

説明: 内部エラーが発生しました。

処置: ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

am_serv_lsnr_chk: Failed to 関数名(). result is null.

説明: 内部エラーが発生しました。

処置: ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

am_serv_lsnr_chk: Execute result is unknown.(status = XXXX)

説明: 未知の結果を受信しました。

処置: ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

am_serv_exec_command: 関数名(): XXXX

説明: 内部エラーが発生しました。

処置: ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

am_serv_exec_command: Failed to determine UID

説明: 指定されたリスナー監視モニタの実効ユーザー名が存在しません。

処置: 設定ファイルの該当するリスナーの MONITOR_USER パラメータの値を確認してください。原因が特定できない場合は、ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

am_serv_exec_command: Failed to execute command by STALL.

am_serv_exec_command: Kill SG check command.

説明: コマンド実行処理でタイムアウトが発生しました。

処置: 構成情報のチューニングが適切であるにもかかわらず本メッセージが出力される場合は、ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

am_serv_exec_command: Failed to execute command.

説明: コマンド処理でエラーが発生しました。

処置: ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

am_serv_broker_chk: Failed to execute command (XXXX).

説明: コマンドの実行に失敗しました。

処置: ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

am_serv_stdaln_req: Failed to receive request header.

説明: リクエストの受信に失敗しました。

処置: ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

am_serv_stdaln_req: Failed to read configuration file.

説明: 構成情報ファイルの読み込みに失敗しました。

処置: 構成情報ファイルが存在するファイルシステムに異常がないことを確認してください。また、同時に出力されるエラーメッセージにしたがって対処してください。原因が特定できない場合は、ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

am_serv_stdaln_req: Unknown number of node detected(XXXX).

説明: 未知のノード番号を検知しました。

処置: ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

am_serv_stdaln_req: Unknown number of monitor detected(XXXX).

説明: 未知のモニタ番号を検知しました。

処置: ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

am_serv_stdaln_req: Unknown monitor type detected.

説明: 未知の監視モニタ種別を検知しました。

処置: ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

関数名: XXXX.

説明: 内部エラーが発生しました。

処置: ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

am_serv_stdaln_req: request mode is unknown(XXXX).

説明: 未知のリクエストを受信しました。

処置: ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

am_serv_stdaln_req: Failed to send request.

説明: リクエストの送信に失敗しました。

処置: ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

am_serv_stdaln_req: Failed to receive result.

説明: リクエストに対する結果の受信に失敗しました。

処置: ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

am_serv_getenv_string: 関数名(): XXXX

説明: 内部エラーが発生しました。

処置: ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

am_serv_getenv_string: Failed to execute command by STALL.

am_serv_getenv_string: Kill SG check command.

説明: コマンド実行処理でタイムアウトが発生しました。

処置: 構成情報のチューニングが適切であるにもかかわらず本メッセージが出力される場合は、ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

am_serv_getenv_string: Failed to execute command.

説明: コマンド処理でエラーが発生しました。

処置: ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

am_serv_get_envstring: Failed to 関数名().

説明: 内部エラーが発生しました。

処置: ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

am_serv_get_envstring: Failed to 関数名(). result is null.

説明: 内部エラーが発生しました。

処置: ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

am_serv_get_envstring: Execute result is unknown. (status = XXXX)

説明: 未知の結果を受信しました。

処置: ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

am_serv_GetEnviron: Failed to allocate memory XXXX

説明: メモリ不足によりイベントの取得に失敗しました。

処置: システム資源のチューニングが適切であるにもかかわらず本メッセージが出力される場合は、ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

am_serv_GetEnviron: Failed to execute command (XXXX).

説明: コマンドの実行に失敗しました。

処置: ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

am_serv_GetParam: Failed to allocate memory XXXX

説明: メモリ不足によりパラメータの取得に失敗しました。

処置: システム資源のチューニングが適切であるにもかかわらず本メッセージが出力される場合は、ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

am_serv_GetParam: Failed to 関数名() (file name = XXXX) YYYY

説明: 内部エラーが発生しました。

処置: ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

am_serv_GetParam: Buffer overflow (Line = XXXX). [less than YYYY characters/line]

説明: 行が不完全または長すぎます。

処置: 1 行の長さが指定された文字数を超えないように修正してください。

am_serv_GetParam: XXXX YYYY

説明: 内部エラーが発生しました。

処置: ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

am_serv_GetLsnr: Failed to allocate memory XXXX

説明: メモリ不足によりパラメータの取得に失敗しました。

処置: システム資源のチューニングが適切であるにもかかわらず本メッセージが出力される場合は、ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

Failed to 関数名(). (errno=XXXX)

説明: 内部エラーが発生しました。

処置: ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

1.17.2. 警告メッセージ

am_serv_req: Execute roll back configuration file.

説明: 構成情報ファイルのロールバックを行いました。

処置: エラー検出により構成情報が元に戻されました。同時に出力されるエラーメッセージにしたがって対処を行ってください。

am_serv_req: Succeeded in self roll-back.

説明: 構成情報ファイルのロールバックに成功しました。

処置: エラー検出により構成情報が元に戻されました。同時に出力されるエラーメッセージにしたがって対処を行ってください。

am_serv_req: Could not find listener on this node. Please disregard this message when the listener operates by another node. NODE:XXXX, LISTENER_NAME:YYYY

説明: 構成情報ファイルのロールバックに成功しました。

処置: エラー検出により構成情報が元に戻されました。同時に出力されるエラーメッセージにしたがって対処を行ってください。

am_serv_exec_command: 関数名(): XXXX

説明: 内部エラーが発生しました。

処置: 通常は対処の必要はありませんが、本メッセージが頻繁に出力される場合は、ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

ださい。

am_serv_GetEnviron: Not found to revision for Oracle. So set XXXX.

説明: Oracle のリビジョンの取得に失敗しました。そのため、XXXX を設定します。

処置: 対処の必要はありません。

am_serv_GetParam: Not exist XXXX.

説明: XXXX が存在しません。

処置: Oracle の環境変数が設定されていることを確認してください。

am_serv_GetParam: XXXX YYYY

説明: 内部エラーが発生しました。

処置: ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

am_serv_GetParam: Not found to revision for Oracle. So set XXXX.

説明: Oracle のリビジョンの取得に失敗しました。そのため、XXXX を設定します。

処置: 対処の必要はありません。

am_serv_GetParam: Failed to allocate memory XXXX

説明: メモリ不足によりパラメータの取得に失敗しました。

処置: システム資源のチューニングが適切であるにもかかわらず本メッセージが出力される場合は、ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

am_serv_Isnrcomp: Failed to 関数名() (open file name = XXXX). YYYY

説明: 内部エラーが発生しました。

処置: ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

am_serv_Isnrcomp: Buffer overflow (Line = XXXX). [less than YYYY characters/line]

説明: 行が不完全または長すぎます。

処置: 1 行の長さが指定された文字数を超えないように修正してください。

am_serv_GetLsnr: Failed to 関数名() XXXX

am_serv_GetLsnr: (open file name = YYYY).

説明: 内部エラーが発生しました。

処置: ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

am_serv_GetLsnr: Buffer overflow (Line = XXXX). [less than YYYY characters/line]

説明: 行が不完全または長すぎます。

処置: 1 行の長さが指定された文字数を超えないように修正してください。

am_serv_GetLsnr: XXXX YYYY

説明: 内部エラーが発生しました。

処置: ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

1.17.3. 通知メッセージ

Configuration-Server-Process of ApplicationMonitor start now!

説明: 構成情報管理サーバが起動しました。

処置: 対処の必要はありません。

Terminate configuration-server.

説明: 構成情報管理サーバを終了します。

処置: 対処の必要はありません。

am_serv_req: Succeeded in roll back.

説明: 構成情報ファイルのロールバックに成功しました。

処置: エラー検出により構成情報が元に戻されました。同時に出力されるエラーメッセージにしたがって対処を行ってください。

Begin XXXX process.

説明: リクエスト処理が開始されました。

処置: 対処の必要はありません。

SKIP-CHECK

説明: 確認処理をスキップします。

処置: 対処の必要はありません。

oramond is terminated (pid=XXXX).

説明: モニタ制御デーモンを停止します。

処置: 対処の必要はありません。

Since request processing was completed, a session is closed.

説明: リクエスト処理が成功しましたのでセッションを終了します。

処置: 対処の必要はありません。

Begin stand alone monitor XXXX process.

説明: 単独起動されているモニタに対するリクエスト処理が開始されました。

処置: 対処の必要はありません。

am_serv_lsnr_chk: result = XXXX

説明: 標準出力にメッセージが出力されました。

処置: 同時に出力されるエラーメッセージにしたがって対処を行ってください。

am_serv_lsnr_chk: error_code is null.

説明: Oracle のエラーが発生しました。

処置: ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

am_serv_lsnr_chk: error_code is unknown. [XXXX]

説明: Oracle のエラー[XXXX]が発生しました。

処置: 同時に出力されるエラーメッセージにしたがって対処を行ってください。

am_serv_put_stderr: Failed to XXXX

説明: 内部エラーが発生しました。

処置: 通常は対処の必要はありませんが、本メッセージが頻繁に出力される場合は、ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

am_serv_put_stderr: result = XXXX

説明: 標準エラー出力にメッセージが出力されました。

処置: 同時に出力されるエラーメッセージにしたがって対処を行ってください。

Construction of a work directory was completed.

説明: 作業ディレクトリの構築が正常に行われました。

処置: 対処の必要はありません。

connect: XXXX.

説明: 接続処理でワーニングエラーが発生しました。

処置: 対処の必要はありません。

1.18. テンプレート作成コマンド (amctf) 固有メッセージ

本章に記述しているメッセージにしたがって障害解析情報の採取を行う場合は、「2 障害解析情報の採取」を参照してください。

1.18.1. エラーメッセージ

Failed to allocate memory(size=XXXX). YYYY

説明: メモリ不足によりバッファの確保に失敗しました。

処置: システム資源のチューニングが適切であるにもかかわらず本メッセージが出力される場合は、ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

failed to create socket. XXXX

説明: ソケットの作成に失敗しました。

処置: 同時に表示されるエラー原因を取り除き、コマンドを再度実行してください。

failed to connect server(XXXX)

説明: サーバ XXXX への接続に失敗しました。

処置: 同時に表示されるエラー原因を取り除き、コマンドを再度実行してください。

failed to send connect request to configuration-server.

説明: 構成情報管理サーバへの要求の送信に失敗しました。

処置: 構成情報管理サーバに接続しているコマンドが他にないことを確認し、コマンドを再度実行してください。

接続先の構成情報管理サーバが正常動作しており、他に同時実行されているコマンドが存在しない状態で、該当のメッセージが繰り返し出力される場合は、ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

関数名(): XXXX

説明: 内部エラーが発生しました。

処置: ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

communication timeout occurred before connect.

説明: 接続処理前に接続タイムアウトが発生しました。

処置: 構成情報管理サーバに接続要求を行っているコマンドが他にないことを確認し、コマンドを再度実行してください。

接続先の構成情報管理サーバが正常動作しており、他に同時実行されているコマンドが存在しない状態で、該当のメッセージが繰り返し出力される場合は、ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

failed to receive connection reply from configuration-server.

説明: 構成情報管理サーバからの応答の受信に失敗しました。

処置: 構成情報管理サーバに接続しているコマンドが他にないことを確認し、コマンドを再度実行してください。

接続先の構成情報管理サーバが正常動作しており、他に同時実行されているコマンドが存在しない状態で、該当のメッセージが繰り返し出力される場合は、ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

internal communication error. received: XXXX

説明: 認識できないステータスが構成情報管理サーバより返却されました。

処置: ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

connection was refused by configuration-server. receive status: XXXX

説明: 構成情報管理サーバへの接続が拒否されました。

処置: 構成情報管理サーバに接続要求を行っているコマンドが他にないことを確認し、コマンドを再度実行してください。

接続先の構成情報管理サーバが正常動作しており、他に同時実行されているコマンドが存在しない状態で、該当のメッセージが繰り返し出力される場合は、ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

connection failed.

説明: 構成情報管理サーバに接続できません。

処置: 構成情報管理サーバに接続要求を行っているコマンドが他にないことを確認し、コマンドを再度実行してください。

接続先の構成情報管理サーバが正常動作しており、他に同時実行されているコマンドが存在しない状態で、該当のメッセージが繰り返し出力される場合は、ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

failed to receive configuration data.

説明: 構成情報管理サーバが送付した設定情報の受信に失敗しました。

処置: 構成情報管理サーバに接続しているコマンドが他にないことを確認し、コマンドを再度実行してください。

接続先の構成情報管理サーバが正常動作しており、他に同時実行されているコマンドが存在しない状態で、該当のメッセージが繰り返し出力される場合は、ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

failed to get environs.

説明: 環境変数の取得に失敗しました。

処置: テンプレート作成に必要な ORACLE 環境変数が指定したユーザーに設定されていない場合、かつ /etc/oratab が存在しない場合に、本メッセージが出力されます。テンプレート作成に必要な環境変数が存在しているノードでコマンドを再度実行してください。

XXXX realloc failed. YYYY

説明: 領域 XXXX の再取得に失敗しました。

処置: 同時に表示されるエラー原因を取り除き、コマンドを再度実行してください。

set XXXX failed. YYYY

説明: XXXX パラメータ設定値の格納に失敗しました。

処置: 同時に表示されるエラー原因を取り除き、コマンドを再度実行してください。

failed to get listener configuration.

説明: リスナー監視テンプレートの作成に必要なリスナーの設定情報の取得に失敗しました。

処置: テンプレート作成に必要なリスナーの設定情報がノード上に存在しない場合、本メッセージが出力されます。テンプレート作成に必要な設定情報が存在しているノードでコマンドを再度実行してください。

ctfPrompt : failed to set_v6_option().

説明: 内部エラーが発生しました。

処置: ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

create ctfTable failed.

説明: 接続先構成情報管理サーバのリスト作成に失敗しました。

処置: 同時に表示されるエラー原因を取り除き、コマンドを再度実行してください。

realloc failed. XXXX

説明: 領域の再取得に失敗しました。

処置: 同時に表示されるエラー原因を取り除き、コマンドを再度実行してください。

invalid flag detected!!

説明: 内部エラーが発生しました。

処置: ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

too many specified node names. limit XXXX

説明: 規定 (XXXX) を超えたノード数が指定されています。

処置: ノードは規定数以内で指定するようにしてください。

ctfCheckpoint : failed to set_v6_option().

説明: 内部エラーが発生しました。

処置: ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

XXXX is not found.

説明: 内部エラーが発生しました。

処置: ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

ctfCheckopt : failed to cpy_v6_sockaddr().

説明: 内部エラーが発生しました。

処置: ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

same option set twice.: XX

説明: XX オプションが複数検出されました。

処置: 正しい引数を指定し、コマンドを再度実行してください。

user XXXX not found.

説明: ユーザー (XXXX) がノードに設定されていません。

処置: ユーザー (XXXX) を MONITOR_USER パラメータとして指定する場合、該当のユーザーをノードに設定しておく必要があります。設定後、コマンドを再度実行してください。

file name too long. length limit = XXXX

説明: ファイル名(パス含む)が規定の長さ (XXXX) を超えて指定されました。

処置: パスを含めて XXXX 文字以内でファイル名を指定してください。

Cannot be made the file(XXXX)

説明: ファイル名 XXXX のファイルが作成できません。

処置: 同時に表示されるエラー原因を取り除き、コマンドを再度実行してください。

port number should be XXXX.

説明: ポート番号は、XXXX の条件で指定する必要があります。

処置: XXXX に表示されている条件でポート番号を指定するようにしてください。

invalid argument.

説明: 認識できない引数が指定されました。

処置: 正しい引数を指定し、コマンドを再度実行してください。

illegal option.

説明: 認識できない引数が指定されました。

処置: 正しい引数を指定し、コマンドを再度実行してください。

default user oracle not found.

説明: デフォルトユーザー "oracle" を検査しましたが、ノード上に設定されていません。

処置: デフォルトユーザーを MONITOR_USER パラメータとして使用する場合は、ノード上に "oracle" ユーザーを作成し、コマンドを再度実行してください。

Only super-user can execute

説明: コマンドは、root ユーザーのみ実行が可能です。

処置: root ユーザーでコマンドを再度実行してください。

rename trace-file-name failed. XXXX

説明: トレース・ファイルのリネームに失敗しました。

処置: 同時に表示されるエラー原因を取り除き、コマンドを再度実行してください。

1.18.2. 警告メッセージ

XXXX is different. node_name = YYYY

説明: YYYY のノードから受信した XXXX の値が基本ノードと異なります。

処置: 特に対処の必要はありません。

関数名 failed.

説明: 内部エラーが発生しました。

処置: ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

failed to send disconnect message to configuration-server.

説明: 構成情報管理サーバに対し、接続メッセージを送信できませんでした。

処置: 特に対処の必要はありません。

failed to decode about getting listener configuration.

説明: 領域確保に失敗し、取得したリスナー設定値のセットが格納できませんでした。

処置: 該当のメッセージが繰り返し出力される場合は、ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

failed to get listener configuration.

so monitor setting of the listener is not included in template.

説明: リスナーの設定値を取得できませんでした。そのため、テンプレートには、リスナー監視設定は含まれません。

処置: 特に対処の必要はありません。

invalid data received.

説明: 予期せぬデータを受信しました。

処置: 特に対処の必要はありません。

関数名() error :XXXX

Please input again.

説明: 文字列の読み取りに失敗しました。再度入力してください。

処置: 入力する値を確認し、再度入力してください。

port number should be XXXX. Please input again.

説明: ポート番号は、XXXX の条件で指定する必要があります。

処置: XXXX に表示されている条件でポート番号を指定するようにしてください。

The node name is not once input. Please input node name.

説明: ノード名が一つも入力されていません。ノード名を入力してください。

処置: ノード名を入力してください。

XXXX is not found.

Please input node name again.

説明: XXXX が見つかりません。再度ノード名を入力してください。

処置: 入力する値を確認し、再度入力してください。

ctfPrompt : failed to cpy_v6_sockaddr().

Please input node name again.

説明: 内部エラーが発生しました。再度ノード名を入力してください。

処置: 入力する値を確認し、再度入力してください。

AM configuration-server doesn't run in XXXX

Please input node name again.

説明: XXXX サーバで ApplicationMonitor の構成情報管理サーバが動作していません。再度ノード名を入力してください。

処置: ノード名を指定する場合は、構成情報管理サーバが動作しているノード名を指定してください。

Not found user(XXXX). Please input monitor user name again.

説明: ユーザー XXXX が見つかりません。再度ユーザー名を入力してください。

処置: 入力する値を確認し、再度入力してください。

Failed to get Oracle Environs.

説明: ORACLE の環境変数を取得できませんでした。

処置: 特に対処の必要はありません。続けて表示されるメッセージにしたがってテンプレート作成を続行してください。

Failed to create Oracle Environs list.

説明: 領域確保に失敗し、取得した環境変数のセットが格納できませんでした。

処置: 特に対処の必要はありません。続けて表示されるメッセージにしたがってテンプレート作成を続行してください。

please select XXXX. Input number.

説明: XXXX の値は選択可能な数値を入力してください。

処置: XXXX の値を再度選択してください。

input number should be XXXX. Please input again.

説明: 入力する番号は、XXXX の条件で指定する必要があります。

処置: XXXX に表示されている条件で番号を入力するようにしてください。

please input XXXX again.

説明: 再度 XXXX を入力してください。

処置: 再度入力してください。

please Input XXXX as absolute path.

please input XXXX again.

説明: XXXX の値は絶対パスで入力してください。再度 XXXX を入力してください。

処置: XXXX の値を絶対パスで再入力してください。

not found XXXX. Please input XXXX again.

説明: 入力された XXXX の値が見つかりませんでした。再度 XXXX の値を入力してください。

処置: XXXX の値を再度入力してください。

the input value has a wrong possibility.

please input XXXX again.

説明: 入力された値は正しくない可能性があります。再度入力してください。

処置: 入力する値を確認し、再度入力してください。

Other words detected. Please input again.

説明: 認識不可能な文字が入力されました。再度規定の文字を入力してください。

処置: 規定の文字を再度入力してください。

Failed to get listener configuration.

So listener monitoring is not output to the template.

説明: リスナー監視テンプレートの作成に必要なリスナーの設定情報の取得に失敗しました。そのため、リスナー監視の設定は、テンプレートに含みません。

処置: テンプレート作成に必要なリスナーの設定情報がノード上に存在しない場合、本メッセージが出力されます。テンプレート作成に必要な設定情報が存在しているノードでコマンドを再度実行してください。

Failed to create file.

Please input file name again.

説明: 入力されたファイル名でファイルを作成できませんでした。

処置: 該当のファイル名を使用したい場合は、同時に表示されるエラー原因を取り除き、再度ファイル名を入力してください。

There is a possibility not being input for pass correct.

Please input file name again.

説明: 入力されたファイル名は、使用できない可能性があります。

処置: 入力値を再度使用する場合は、同時に表示されるエラー原因を取り除き、再度ファイル名を入力してください。

interrupt on signal

command terminating

説明: コマンド実行中に割り込みを受け、コマンドが停止しました。

処置: 意図しない状態で出力された場合、ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

1.18.3. 通知メッセージ

Output template.

説明: テンプレートを出力します

処置: 特に対処の必要はありません。

**The NET_SERVICE parameter of listener-statement
in the template cannot apply the setting as it is
when it ends comment.**

Please apply the setting after setting an appropriate value.

説明: NET_SERVICE パラメータがコメントアウトされた状態で、設定情報の配布はできません。コメントアウトされた部分の設定を見直した上で、配布を行ってください。

処置: リスナー監視設定がテンプレートに含まれた場合に注意事項として出力されます。NET_SERVICE パラメータがコメントアウトされていた場合は、作成されたテンプレートファイルを編集し、該当の設定部分を有効または無効化した上で、設定の配布を行うようにしてください。

Please input XXXX. default[YYYY]

説明: XXXX の値を入力してください。

処置: デフォルト値の表示がある場合は、リターンキーを押下することで、そのデフォルト値を使用します。コマンドのメッセージにしたがって操作を進めてください。

Set XXXX = YYYY

説明: YYYY を XXXX の値として適用しました。

処置: 特に対処の必要はありません。

Please input node name that AM configuration-server running.

Please do not input anything to proceed to the next step, and press the return.

説明: 構成情報管理サーバが動作しているノード名を入力してください。入力を終了し、次のステップに進む場合は、リターンキーを押下してください。

処置: コマンドのメッセージにしたがって操作を進めてください。

Total XXXX node set success.

説明: ノードの設定に成功しました。

処置: 特に対処の必要はありません。

Please select XXXX from the following lists.

Please input number.

説明: XXXX の値を次のリストから選択し、その番号を入力してください。

処置: コマンドのメッセージにしたがって操作を進めてください。

[0]: Input XXXX by yourself.

説明: 0 を入力した場合、自身で XXXX の値を入力することができます。

処置: 特に対処の必要はありません。コマンドのメッセージにしたがって操作を進めてください。

[1]: default = XXXX

説明: 1 を入力した場合、デフォルト値 XXXX の値を設定します。

処置: 特に対処の必要はありません。コマンドのメッセージにしたがって操作を進めてください。

[X]: YYYYY

説明: X を入力した場合、値 YYYYY の値を設定します。

処置: 特に対処の必要はありません。コマンドのメッセージにしたがって操作を進めてください。

Please input XXXX.

説明: XXXX の値を入力してください。

処置: 特に対処の必要はありません。

Please select XXXX from the following lists as on node = YYYYY.

Please input number.

説明: XXXX の値を次のリストから選択し、その番号を入力してください。

処置: コマンドのメッセージにしたがって操作を進めてください。

Is the listener monitoring added to the template?

Please input Y or N. default[N]

説明: テンプレートにリスナー監視設定を含めますか？Y か N を入力してください。
デフォルト値は N です。

処置: コマンドのメッセージにしたがって操作を進めてください。リターンキーのみ押下した場合、デフォルト値を適用します。

Is the default value output to the template?

Please input Y or N. default[N]

説明: テンプレートにデフォルトパラメータを含めますか？Y か N を入力してください。
デフォルト値は N です。

処置: コマンドのメッセージにしたがって操作を進めてください。リターンキーのみ押下した場合、デフォルト値を適用します。

Is the template output to the file?

Please input Y or N. default[Y]

説明: テンプレートをファイルに出力しますか？Y か N を入力してください。
デフォルト値は Y です。

処置: コマンドのメッセージにしたがって操作を進めてください。リターンキーのみ押下した場合、デフォルト値を適用します。

1 メッセージ一覧

The file was found. Do you overwrite?

Please input Y or N. default[Y]

説明: テンプレート作成箇所にファイルが存在します。上書きしますか？Y か N を入力してください。デフォルト値は Y です。

処置: コマンドのメッセージにしたがって操作を進めてください。リターンキーのみ押下した場合、デフォルト値を適用します。

1.19. インスタンス監視表シェルスクリプト (haam_init.sh) 固有メッセージ

本章に記述しているメッセージにしたがって障害解析情報の採取を行う場合は、「2 障害解析情報の採取」を参照してください。

1.19.1. 標準出力メッセージ

Create XXXX failed. errorcode=YYYY

説明: 作成処理に失敗しました。

処置: メッセージ内に示された Oracle エラーコードを参照し、Oracle に誤りがないことを確認してください。Oracle のエラーコードについては、Oracle のマニュアル『Database エラー・メッセージ』を参照してください。

Create XXXX done.

説明: 作成処理に成功しました。

処置: 通知メッセージであり、特に対処の必要はありません。

Verify XXXX failed. errorcode=YYYY

説明: 確認処理に失敗しました。

処置: メッセージ内に示された Oracle エラーコードを参照し、Oracle に誤りがないことを確認してください。Oracle のエラーコードについては、Oracle のマニュアル『Database エラー・メッセージ』を参照してください。

Verify XXXX done.

説明: 確認処理に成功しました。

処置: 通知メッセージであり、特に対処の必要はありません。

Drop XXXX failed. errorcode=YYYY

説明: 削除処理に失敗しました。

処置: メッセージ内に示された Oracle エラーコードを参照し、Oracle に誤りがないことを確認してください。Oracle のエラーコードについては、Oracle のマニュアル『Database エラー・メッセージ』を参照してください。

Drop XXXX done.

説明: 削除処理に成功しました。

処置: 通知メッセージであり、特に対処の必要はありません。

1 メッセージ一覧

Disp table failed. errorcode=XXXX

説明: 出力処理に失敗しました。

処置: メッセージ内に示された Oracle エラーコードを参照し、Oracle に誤りがないことを確認してください。Oracle のエラーコードについては、Oracle のマニュアル『Database エラー・メッセージ』を参照してください。

Disp table done.

説明: 出力処理に成功しました。

処置: 通知メッセージであり、特に対処の必要はありません。

Usage:

説明: コマンドの書式が誤っています。

処置: 同時に出力される各書式にしたがって正しいコマンドを再投入してください。

1.20. ASM 監視モニタ起動スクリプト (start_asmmond.sh) 固有メッセージ

ASM 監視モニタ起動スクリプトの「1.20.2 出力メッセージ」に記載したメッセージは、logger(1) コマンドにより生成されます。ファシリティは LOG_USER、レベルは LOG_NOTICE です。出力レベルを ApplicationMonitor の設定ファイルから変更することはできません。

本章に記述しているメッセージにしたがって障害解析情報の採取を行う場合は、「2 障害解析情報の採取」を参照してください。

1.20.1. 標準出力メッセージ

Abnormal exit asmmond. error code = XXXX.

Please check syslog.

説明: ASM 監視モニタ起動処理は失敗しました。

処置: スクリプト内の Oracle 環境変数設定用パラメータに誤りがないか確認してください。また、syslog ファイルに出力されているエラーメッセージにしたがって対処してください。原因が特定できない場合は、ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

Finished asmmond.

説明: ASM 監視モニタの起動に成功しました。

処置: 通知メッセージであり、特に対処の必要はありません。

executable path not found. (XXXX)

説明: XXXX が存在しません。または 実行権がありません。

処置: Oracle のコマンド asmcmd が存在するか、実行権が正しいか確認してください。

1.20.2. 出力メッセージ

start_asmmond.sh : Failed to terminate sleep process (pid=XXXX, stat=YYYY).

説明: プロセス sleep の停止に失敗しました。

処置: ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

1 メッセージ一覧

start_asmmond.sh : Failed to terminate asmmond (pid=XXXX, stat=YYYY).

説明: プロセス asmmond の停止に失敗しました。

処置: ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

start_asmmond.sh : Successful terminating asmmond.

説明: プロセス asmmond の停止に成功しました。

処置: 特に対処の必要はありません。

1.21. Oracle Clusterware／Oracle Restart リトライ判定シェルスクリプト

(crs_control.sh) 固有メッセージ

Oracle Clusterware／Oracle Restart リトライ判定シェルスクリプトのメッセージは、logger(1) コマンドにより生成されます。ファシリティは LOG_USER、レベルは LOG_NOTICE です。出力レベルを ApplicationMonitor の設定ファイルから変更することはできません。

本章に記述しているメッセージにしたがって障害解析情報の採取を行う場合は、「2 障害解析情報の採取」を参照してください。

1.21.1. 出力メッセージ

SMON process is XXXX.

説明: 対象のプロセスは XXXX です。

処置: 通知メッセージであり、特に対処の必要はありません。

Failed to kill SMON process.

説明: 対象のプロセスの KILL に失敗しました。

処置: 対象プロセスが停止している場合は、対処の必要はありません。システム資源のチューニングが適切であるにもかかわらず本メッセージが出力される場合は、ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

Successful killing SMON process. Wait XX sec.

説明: 対象のプロセスの停止に成功しました。XX 秒間、待機します。

処置: 通知メッセージであり、特に対処の必要はありません。

Can not find SMON process.

説明: 対象のプロセスが見つかりません。

処置: 通知メッセージであり、特に対処の必要はありません。

Pid of SMON is not identical (pid=XXXX, save=YYYY).

説明: 対象のプロセスが異なります。

処置: 通知メッセージであり、特に対処の必要はありません。

Can not find SMON process (smon=XXXX).

説明: 対象のプロセスが見つかりません。

処置: 通知メッセージであり、特に対処の必要はありません。

OHASD process does not exist.

説明: Oracle Clusterware／Oracle Restart のデーモンプロセスは存在しません。

処置: ApplicationMonitor は、状況に応じて適切に動作します。対処の必要はありません。

Execution user of the crsctl command is XXXX.

説明: crsctl コマンドの実効ユーザーは XXXX です。

処置: 通知メッセージであり、特に対処の必要はありません。

Can not find information on XXXX resource. target is YYYY.

説明: XXXX リソースの情報取得に失敗しました。

処置: Oracle の状態が正常であるにもかかわらず本メッセージが出力される場合は、ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

Usage:

説明: コマンドの書式が誤っています。

処置: インストールが正しく行われていることを確認してください。
ApplicationMonitor の再インストールを行っても症状が改善されない場合は、ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

XXXX is cleaning, so XXXX judged as retry.

説明: XXXX はクリーンアップ中です。そのため、XXXX を再確認します。

処置: 通知メッセージであり、特に対処の必要はありません。

check retry (XXXX/YYYY).

説明: 再確認中です。

処置: 通知メッセージであり、特に対処の必要はありません。

**target=XXXX, attempts=YYYY, r_count=ZZZZ, t_status=AAAA, status=BBBB,
internal=CCCC**

説明: リソース情報です。

処置: 通知メッセージであり、特に対処の必要はありません。

Target resource is OFFLINE.

説明: リソース情報が OFFLINE です。

処置: 通知メッセージであり、特に対処の必要はありません。

1.22. PDB 再オープンシェルスクリプト (am_pdb_reopen.sh) 固有メッセージ

PDB 再オープンシェルスクリプトのメッセージは、logger(1) コマンドにより生成されます。ファシリティは LOG_USER、レベルは LOG_NOTICE です。出力レベルを ApplicationMonitor の設定ファイルから変更することはできません。

本章に記述しているメッセージにしたがって障害解析情報の採取を行う場合は、「2 障害解析情報の採取」を参照してください。

1.22.1. 出力メッセージ

Failed to reopen pluggable database (XXXX).

説明: PDB の再オープンに失敗しました。

処置: PDB の状態を確認してください。原因が特定できない場合は、ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

Failed to close pluggable database (XXXX).

説明: PDB のクローズに失敗しました。

処置: PDB の状態を確認してください。原因が特定できない場合は、ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

1.23. リスナー再起動シェルスクリプト (lsnr_control.sh) 固有メッセージ

リスナー再起動シェルスクリプトのメッセージは、logger(1) コマンドにより生成されます。ファシリティは LOG_USER、レベルは LOG_NOTICE です。出力レベルを ApplicationMonitor の設定ファイルから変更することはできません。

本章に記述しているメッセージにしたがって障害解析情報の採取を行う場合は、「2 障害解析情報の採取」を参照してください。

1.23.1. 出力メッセージ

XXXX is length over(limit=59,current=YYYY).

Failed to restart listener.

説明: リスナー名の文字数が範囲を超えているため、処理を終了します。

処置: ps(1) コマンドで -x オプションが使用できない場合は、リスナー名を 59 文字以内に再設定してください。

Failed to listener restart command.

説明: リスナー再起動確認コマンドが異常終了しました。

処置: 設定ファイル内の Oracle 環境変数設定用パラメータに誤りがないか確認してください。

Finished listener restart-shell script.

説明: リスナー再起動シェルスクリプトが終了しました。

処置: 通知メッセージであり、特に対処の必要はありません。

Oracle lsnrctl start done.

説明: リスナー制御ユーティリティ (lsnrctl) の起動に成功しました。

処置: 通知メッセージであり、特に対処の必要はありません。

Oracle lsnrctl start failed.

説明: リスナー制御ユーティリティ (lsnrctl) の起動に失敗しました。

処置: 設定ファイル内の Oracle 環境変数設定用パラメータに誤りがないか確認してください。

Start listener restart-shell script.

説明: リスナー再起動シェルスクリプトを起動しました。

処置: 通知メッセージであり、特に対処の必要はありません。

listener_kill_cmd function failed to kill listener process.

Refer to before message about kill command.

説明: 対象のプロセスを終了できませんでした。

処置: kill(1) コマンドの出力メッセージにしたがって対処してください。

listener_kill_cmd function successful killing listener process.

説明: 対象のプロセスを見つけ終了させることができました。

処置: 通知メッセージであり、特に対処の必要はありません。

Maybe Kill(1) command is delayed.

listener_kill_cmd function can't kill listener process.

説明: kill(1) コマンドの遅延により対象のプロセスを終了できませんでした。

処置: スクリプト内のリスナー再起動待ち合わせ時間に問題がないか確認してください。

listener_kill_cmd function can't find listener process.

continue restarting process.

説明: 対象プロセスが見つかりません。

処置: 通知メッセージであり、特に対処の必要はありません。

Failed to listener restart-shell script.

説明: リスナー再起動シェルスクリプトが異常終了しました。

処置: インストールが正しく行われていることを確認してください。
ApplicationMonitor の再インストールを行っても症状が改善されない場合は、
ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

Wait XXXX sec.

説明: Oracle Clusterware／Oracle Restart によるリスナーの再起動を待ち合わせます。

処置: 通知メッセージであり、特に対処の必要はありません。

1.24. Oracle Data Guard Broker 情報取得シェルスクリプト (brk_control.sh) 固有メッセージ

Oracle Data Guard Broker 情報取得シェルスクリプトのメッセージは、logger(1) コマンドにより生成されます。ファシリティは LOG_USER、レベルは LOG_NOTICE です。出力レベルを ApplicationMonitor の設定ファイルから変更することはできません。

本章に記述しているメッセージにしたがって障害解析情報の採取を行う場合は、「2 障害解析情報の採取」を参照してください。

1.24.1. 出力メッセージ

Getting information of data guard site.

説明: Oracle Data Guard Broker のサイト情報を取得します。

処置: 通知メッセージであり、特に対処の必要はありません。

Existence check of db_unique_name.

説明: 設定情報の整合性チェックを行います。

処置: 通知メッセージであり、特に対処の必要はありません。

Can not find information on db_unique_name. target is XXXX.

説明: XXXX の情報を取得できませんでした。

処置: 設定ファイルに問題がないことを確認してください。原因が特定できない場合は、ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

Check of data guard site SG complete.

説明: 設定情報の整合性チェックが終了しました。

処置: 通知メッセージであり、特に対処の必要はありません。

Failed to dgmgrl commnad.

説明: Oracle Data Guard Broker コマンドの実行に失敗しました。

処置: Oracle Data Guard Broker の状態を確認してください。原因が特定できない場合は、ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

Can not find information on primary.

説明: プライマリ・サイト情報の取得に失敗しました。

処置: Oracle Data Guard Broker の状態を確認してください。原因が特定できない場合は、ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

Allowable error occurred. error code is *ORACLE_ERROR_CODE*.

説明: Oracle Data Guard Broker コマンドの実行中に許可エラーが発生しました。

処置: 通知メッセージであり、特に対処の必要はありません。

Failed to dgmgrl commnad. error code is *ORACLE_ERROR_CODE*.

説明: Oracle Data Guard Broker コマンドの実行中に SQL エラーが発生しました。

処置: メッセージ内に示された Oracle エラーコードを参照し、Oracle に誤りがないことを確認してください。Oracle のエラーコードについては、Oracle のマニュアル『Database エラー・メッセージ』を参照してください。

Usage:

説明: コマンドの書式が誤っています。

処置: インストールが正しく行われていることを確認してください。
ApplicationMonitor の再インストールを行っても症状が改善されない場合は、ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

1.25. 連携用リソース作成スクリプト (init_ocw_resource.sh) 固有メッセージ

本章に記述しているメッセージにしたがって障害解析情報の採取を行う場合は、「2 障害解析情報の採取」を参照してください。

1.25.1. 標準出力メッセージ

Invarid argument. XXXX

説明: 指定した引数に誤りがあります。

処置: 同時に出力される Usage メッセージの書式で実行されるように設定が行われているか確認してください。

Failed to XXXX of resource. resource name is YYYY.

説明: Oracle Clusterware のリソース YYYY の XXXX に失敗しました。

処置: 同時に出力される Usage メッセージの書式で実行されるように設定が行われているか確認してください。

Succeeded in XXXX of resource. resource name is YYYY.

説明: Oracle Clusterware のリソース YYYY の XXXX に成功しました。

処置: 特に対処の必要はありません。

Usage: XXXX {create <option> | drop <option>}

説明: コマンドの書式が誤っています。

処置: 同時に出力される障害情報にしたがって正しいコマンドを再投入してください。

Only super-user can execute XXXX

説明: root ユーザー以外のユーザーで起動されました。

処置: init_ocw_resource.sh は root ユーザーで起動してください。

Failed to get path of crsctl command. please execute 'get_grid_path.sh'.

説明: crsctl のパス情報取得に失敗しました。

処置: /opt/HA/AM/bin/init/get_grid_path.sh を実行してから再実行してください。

Invarid argument.

説明: 指定した引数に誤りがあります。

処置: 同時に出力される Usage メッセージの書式で実行されるように設定が行われているか確認してください。

Failed to XXXX of resource. target scan-listener is not found.

説明: crsctl で取得した情報に、SCAN リスナーの情報は含まれていませんでした。

処置: ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

1.26. OCW 連携用アクション・スクリプト (ocw_action_script.sh) 固有メッセージ

OCW 連携用アクション・スクリプトのメッセージは、logger(1) コマンドにより生成されます。ファシリティは LOG_USER、レベルは LOG_NOTICE です。出力レベルを ApplicationMonitor の設定ファイルから変更することはできません。

本章に記述しているメッセージにしたがって障害解析情報の採取を行う場合は、「2 障害解析情報の採取」を参照してください。

1.26.1. 出力メッセージ

Usage: XXXX { start | stop | check }

説明: コマンドの書式が誤っています。

処置: 同時に出力される各書式にしたがって正しいコマンドを再投入してください。

Start action begins.

説明: モニタリングを開始します。

処置: 特に対処の必要はありません。

Terminating XXXX (pid=YYYY).

説明: プロセスが終了します。

処置: 特に対処の必要はありません。

Can't find XXXX.

説明: 対象プロセスが見つかりません。

処置: 通知メッセージであり、特に対処の必要はありません。

Stop action is finished.

説明: プロセスが終了しました。

処置: 特に対処の必要はありません。

1.27. OCW 連携用監視モニタ起動スクリプト (ocw_start_monitor.sh) 固有メッセージ

OCW 連携用監視モニタ起動スクリプトのメッセージは、logger(1) コマンドにより生成されます。ファシリティは LOG_USER、レベルは LOG_NOTICE です。出力レベルを ApplicationMonitor の設定ファイルから変更することはできません。

本章に記述しているメッセージにしたがって障害解析情報の採取を行う場合は、「2 障害解析情報の採取」を参照してください。

1.27.1. 出力メッセージ

Usage: XXXX <resource_name>

説明: コマンドの書式が誤っています。

処置: 同時に出力される各書式にしたがって正しいコマンドを再投入してください。

Terminating XXXX (pid=YYYY).

説明: モニタ XXXX が停止処理中です。

処置: ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

Finished XXXX.

説明: モニタ XXXX が終了しました。

処置: 特に対処の必要はありません。

Failed to get path of crsctl command. please execute XXXX.

説明: crsctl のパス情報取得に失敗しました。

処置: /opt/HA/AM/bin/init/get_grid_path.sh を実行してから再実行してください。

Invarid argument.

説明: 指定した引数に誤りがあります。

処置: 同時に出力される Usage メッセージの書式で実行されるように設定が行われているか確認してください。

Abnormal exit XXXX. error code = YYYY.

Please check syslog.

説明: モニタ XXXX が異常終了しました。

処置: ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

Finished XXXX.

説明: モニタ XXXX が終了しました。

処置: 特に対処の必要はありません。

1.28. 単独起動モニタ用起動スクリプト (start_alone_monitor.sh) 固有メッセージ

本章に記述しているメッセージにしたがって障害解析情報の採取を行う場合は、「2 障害解析情報の採取」を参照してください。

1.28.1. 標準出力メッセージ

Usage: XXXX { tschk <monitor-id> | fds | stats <monitor-id> }

説明: コマンドの書式が誤っています。

処置: 同時に出力される各書式にしたがって正しいコマンドを再投入してください。

Terminating XXXX (pid=YYYY).

説明: モニタ XXXX が停止処理中です。

処置: ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

Finished XXXX.

説明: モニタ XXXX が終了しました。

処置: 特に対処の必要はありません。

Invarid argument.

説明: 指定した引数に誤りがあります。

処置: 同時に出力される Usage メッセージの書式で実行されるように設定が行われているか確認してください。

Abnormal exit XXXX. error code = YYYY.

Please check syslog.

説明: モニタ XXXX が異常終了しました。

処置: ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

Finished XXXX.

説明: モニタ XXXX が終了しました。

処置: 特に対処の必要はありません。

1.29. OCW コマンド・パス取得スクリプト (get_grid_path.sh) 固有メッセージ

本章に記述しているメッセージにしたがって障害解析情報の採取を行う場合は、「2 障害解析情報の採取」を参照してください。

1.29.1. 標準出力メッセージ

Usage: XXXX <grid-user>

説明: コマンドの書式が誤っています。

処置: 同時に出力される障害情報にしたがって正しいコマンドを再投入してください。

Only super-user can execute XXXX.

説明: root ユーザー以外のユーザーで起動されました。

処置: get_grid_path.sh は root ユーザーで起動してください。

Invalid argument.

説明: 指定した引数に誤りがあります。

処置: 同時に出力される Usage メッセージの書式で実行されるように設定が行われているか確認してください。

Failed to get path of crsctl.

説明: crsctl のパス情報取得に失敗しました。

処置: ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

1.30. SCAN リスナ監視モニタリソース情報取得スクリプト

(get_scan_listener_info.sh) 固有メッセージ

本章に記述しているメッセージにしたがって障害解析情報の採取を行う場合は、「2 障害解析情報の採取」を参照してください。

1.30.1. 標準出力メッセージ

Usage: XXXX <network-number>

説明: コマンドの書式が誤っています。

処置: 同時に出力される障害情報にしたがって正しいコマンドを再投入してください。

Failed to get path of crsctl command. please execute /opt/HA/AM/bin/init/get_grid_path.sh.

説明: crsctl のパス情報取得に失敗しました。

処置: /opt/HA/AM/bin/init/get_grid_path.sh を実行してから再実行してください。

Invarid argument. <network-number> is required.

説明: Oracle Clusterware のネットワーク番号を指定する必要があります。

処置: 同時に出力される Usage メッセージの書式で実行されるように設定が行われているか確認してください。

Invarid argument. <network-number> must be integer.

説明: Oracle Clusterware のネットワーク番号は整数を指定する必要があります。

処置: 同時に出力される Usage メッセージの書式で実行されるように設定が行われているか確認してください。

[SCAN リスナー監視モニタ リソース名],XXXX

説明: SCAN リスナー監視モニタは サーバ XXXX で動作中です。

処置: 特に対処の必要はありません。

[SCAN リスナー監視モニタ リソース名],OFFLINE

説明: SCAN リスナー監視モニタは OFFLINE です。

処置: 特に対処の必要はありません。

1.31. 情報採取スクリプト (oradiag) 固有メッセージ

情報採取スクリプトのメッセージは、logger(1) コマンドにより生成されます。ファシリティは LOG_USER、レベルは LOG_NOTICE です。出力レベルを ApplicationMonitor の設定ファイルから変更することはできません。

本章に記述しているメッセージにしたがって障害解析情報の採取を行う場合は、「2 障害解析情報の採取」を参照してください。

1.31.1. 出力メッセージ

Another oradiag is already running or lock-file remains.

説明: 他の情報採取スクリプトが動作中またはロックファイルが残っています。

処置: 情報採取スクリプトを同時に実行していないことを確認してください。原因が特定できない場合は、ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

XXXX not found.

説明: XXXX が見つかりませんでした。

処置: 通知メッセージであり、特に対処の必要はありません。

1.32. Oracle 構成プロセス停止シェルスクリプト (am_stop_oproc.sh) 固有メッセージ

有メッセージ

Oracle 構成プロセス停止シェルスクリプトのメッセージは、logger(1) コマンドにより生成されます。ファシリティは LOG_USER、レベルは LOG_NOTICE です。出力レベルを ApplicationMonitor の設定ファイルから変更することはできません。

本章に記述しているメッセージにしたがって障害解析情報の採取を行う場合は、「2 障害解析情報の採取」を参照してください。

1.32.1. 出力メッセージ

Failed to kill SMON process.

説明: 対象のプロセスの KILL に失敗しました。

処置: 対象プロセスが停止している場合は、対処の必要はありません。システム資源のチューニングが適切であるにもかかわらず本メッセージが出力される場合は、ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

Successful killing SMON process XXXX.

説明: 対象のプロセスの停止に成功しました。

処置: 通知メッセージであり、特に対処の必要はありません。

Pid of SMON is not identical (pid=XXXX, save=YYYY).

説明: 対象のプロセスが異なります。

処置: 通知メッセージであり、特に対処の必要はありません。

Can not find SMON process.

説明: 対象のプロセスが見つかりません。

処置: 通知メッセージであり、特に対処の必要はありません。

OHASD process does not exist.

説明: Oracle Clusterware／Oracle Restart のデーモンプロセスは存在しません。

処置: ApplicationMonitor は、状況に応じて適切に動作します。特に対処の必要はありません。

Usage:

説明: コマンドの書式が誤っています。

処置: インストールが正しく行われていることを確認してください。
ApplicationMonitor の再インストールを行っても症状が改善されない場合は、
ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

Stop of SMON process by XXXX command.

説明: 対象のプロセスを XXXX コマンドで停止します。

処置: 通知メッセージであり、特に対処の必要はありません。

Execution user of the srvctl command is XXXX.

説明: srvctl コマンドの実効ユーザーは XXXX です。

処置: 通知メッセージであり、特に対処の必要はありません。

Can not find information on instance resource.

説明: インスタンスリソースの情報取得に失敗しました。

処置: Oracle の状態が正常であるにもかかわらず本メッセージが出力される場合は、ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

srvctl command failed or SMON process has already stopped.

説明: srvctl コマンドに失敗したか、対象のプロセスがすでに停止しています。

処置: 対象プロセスが停止している場合は、対処の必要はありません。Oracle の状態が正常であるにもかかわらず本メッセージが出力される場合は、ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

Successful srvctl command.

説明: コマンドが終了しました。

処置: 通知メッセージであり、特に対処の必要はありません。

1.33. サーバ管理基盤（RENS）連携機能部分メッセージ

本章に記述しているメッセージにしたがって障害解析情報の採取を行う場合は、「2 障害解析情報の採取」を参照してください。

1.33.1. 警告メッセージ

am_renslib_load: dlopen(XXXX) Error. YYYY

説明: RENS 用ライブラリのロードに失敗しました。ApplicationMonitor は、RENS と連携せずに継続動作します。

処置: RENS のマニュアルを参照し、RENS の設定に問題がないか確認してください。RENS の設定に問題がない場合は、ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

am_renslib_load: dlsym(XXXX) Error. YYYY

説明: RENS 用関数のシンボル解決に失敗しました。ApplicationMonitor は、RENS と連携せずに継続動作します。

処置: RENS のマニュアルを参照し、RENS の設定に問題がないか確認してください。RENS の設定に問題がない場合は、ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

am_renslib_load: XXXX Error. err=YYYY

説明: RENS 連携用ハンドラの作成に失敗しました。ApplicationMonitor は、RENS と連携せずに継続動作します。

処置: RENS のマニュアルを参照し、直前に出力された RENS のメッセージに対する対処をしてください。RENS の動作に問題がない場合は、ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

am_renslib_unload: XXXX Error. err=YYYY

説明: RENS 連携用ハンドラの削除に失敗しました。

処置: RENS のマニュアルを参照し、直前に出力された RENS のメッセージに対する対処をしてください。RENS の動作に問題がない場合は、ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

am_renslib_unload: dlclose() Error. XXXX

説明: RENS 用ライブラリのアンロードに失敗しました。

処置: ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

am_renslib_init: calloc() Error. XXXX

説明: 動的メモリの確保に失敗しました。ApplicationMonitor は、RENS と連携せずに継続動作します。

処置: システム資源のチューニングが適切であるにもかかわらず本メッセージが出力される場合は、ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

am_renslib_init: XXXX Error. err=YYYY

説明: RENS で管理するリソースの作成に失敗しました。ApplicationMonitor は、RENS と連携せずに継続動作します。

処置: RENS のマニュアルを参照し、直前に出力された RENS のメッセージに対する対処をしてください。RENS の動作に問題がない場合は、ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

am_renslib_init: am_renslib_resource_add Error.

説明: モニタの内部処理で矛盾を検出しました。ApplicationMonitor は、RENS と連携せずに継続動作します。

処置: ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

am_renslib_term: XXXX Error. err=YYYY

説明: RENS で管理するリソースの削除に失敗しました。ApplicationMonitor は、RENS と連携せずに継続動作します。

処置: RENS のマニュアルを参照し、直前に出力された RENS のメッセージに対する対処をしてください。RENS の動作に問題がない場合は、ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

am_renslib_event: XXXX Error. err=YYYY

説明: RENS に対するリソース情報の通知処理が失敗しました。
ApplicationMonitor は、RENS と連携せずに継続動作します。

処置: RENS のマニュアルを参照し、直前に出力された RENS のメッセージに対する対処をしてください。RENS の動作に問題がない場合は、ApplicationMonitor の障害解析情報を採取し、サポートセンターに連絡してください。

2. 障害解析情報の採取

ApplicationMonitor の運用中に障害が発生した場合は、下記の情報を採取してください。

2.1. ApplicationMonitor の障害解析情報

◆ ApplicationMonitor 構成ファイル群

ApplicationMonitor の構成ファイル群を保存します。tar(1) コマンド等を用いて、以下に示すディレクトリ配下のすべてのファイルを採取してください。

- /opt/HA/AM/
- /var/opt/HA/AM/
- /etc/opt/HA/AM/

◆ syslog

障害発生時の syslog ファイルを保存します。障害の再現手順が判明している場合は、設定ファイルで LOG_LEVEL パラメータを 3 に設定し、debug レベルまでのメッセージが記録されるようにした状態でログを採取してください。通常、syslog は以下のファイルに出力されます。

- /var/log/messages
- /var/log/messages.*

rsyslog.conf をカスタマイズしている場合は、ApplicationMonitor のメッセージが記録されているファイルを採取してください。ApplicationMonitor のファシリティは、LOG_DAEMON です。

◆ ApplicationMonitor 自動実行コマンド

設定ファイルで SCRIPT_NAME パラメータ、COMMAND_NAME パラメータまたは CUSTOM_CMD パラメータなどの ApplicationMonitor の自動実行コマンド機能を使用している場合は、該当コマンドの構成ファイルをすべて採取してください。

◆ ホスト情報

ApplicationMonitor を実行しているホスト上で、以下の情報を採取してください。

- ・ rpm -qa の実行結果
- ・ ps -ef の実行結果
- ・ top の実行結果
- ・ df -k の実行結果
- ・ ls -al /var/opt/HA/AM/locks の実行結果
- ・ sar -A の実行結果(レポートを有効にしている場合)
- ・ /var/log/boot.log*
- ・ /var/log/messages*
- ・ /var/log/wtmp*
- ・ /var/run/utmp
- ・ /etc/rc.d/init.d/haam_oraconfd(ファイル)または
/etc/systemd/system/haam_oraconfd.service(ファイル)

OS のバージョンが Red Hat Enterprise Linux 6 および Oracle Linux 6 の場合は、ApplicationMonitor を実行しているホスト上で、上記に加えて以下の情報も採取してください。

- ・ ls -l /etc/rc0.d/K01haam_oraconfd の実行結果
- ・ ls -l /etc/rc1.d/K01haam_oraconfd の実行結果
- ・ ls -l /etc/rc2.d/K01haam_oraconfd の実行結果
- ・ ls -l /etc/rc3.d/S99haam_oraconfd の実行結果
- ・ ls -l /etc/rc4.d/K01haam_oraconfd の実行結果
- ・ ls -l /etc/rc5.d/S99haam_oraconfd の実行結果
- ・ ls -l /etc/rc6.d/K01haam_oraconfd の実行結果

2.2. Oracle の障害解析情報

◆ Oracle Clusterware／Oracle Restart のアラート・ログ

Oracle Clusterware／Oracle Restart コンポーネントが出力するアラート・ログを採取してください。アラート・ログは、以下に示すディレクトリ配下に作成されます。

- `${CRS_HOME}/log/<hostname>`

◆ アラート・ログおよびトレースログ

障害発生時のアラート・ログおよびトレースログを採取してください。アラート・ログおよびトレースログは、Oracle 初期化パラメータファイル内の "diagnostic_dump_dest" で示されるディレクトリ配下に作成されます。デフォルトのファイル名を以下に示します。

- `${ORACLE_BASE}/diag/rdbms/<db_name>/<instance_name>/trace/
alert_<instance_name>.log
<instance_name><process_name>_<PID>.trc`

◆ Oracle サーバプロセスのトレースログ

Oracle サーバプロセスのトレースログを採取してください。サーバプロセスのトレースログは、Oracle 初期化パラメータファイル内の "diagnostic_dump_dest" で示されるディレクトリ配下に作成されます。デフォルトのファイル名を以下に示します。

- `${ORACLE_BASE}/diag/rdbms/<db_name>/<instance_name>/trace/
ORA<PID>.trc`

※ ログの格納場所は、Oracle の V\$DIAG_INFO ビューで確認できます。

```
SELECT * FROM V$DIAG_INFO;
```

INST_ID	NAME	VALUE
-----	-----	-----
1	Diag Enabled	TRUE
1	ADR Base	/....
1	ADR Home	/.../....
1	Diag Trace	/.../..../trace
1	Diag Alert	/.../..../alert
1	Diag Incident	/.../..../incident
1	Diag Cdump	/.../..../cdump
1	Health Monitor	/.../..../hm
1	Default Trace File	/.../..../trace/xxxx_ora_nnnn.trc
1	Active Problem Count	?
1	Active Incident Count	??

Diag Trace

トレース・ファイルおよびテキスト形式のアラート・ログの場所

Diag Alert

XML 形式のアラート・ログの場所

◆ リスナーのログ

リスナー障害発生時には、以下のログファイルを採取してください。

- `${ORACLE_HOME}/network/log/sqlnet.log`
- `${ORACLE_HOME}/network/log/<listener_name>.log`

2.3. CLUSTERPRO の障害解析情報

◆ クラスタ情報

該当ホスト上で以下の情報を採取してください。

- ・ clpstat -s の実行結果
- ・ clpstat -m の実行結果
- ・ clpstat -n の実行結果
- ・ clpstat -i --detail の実行結果
- ・ clplogcc の実行結果 (/opt/nec/clusterpro/tmp 配下)

◆ クラスタ構成ファイル

- ・ /opt/nec/clusterpro/etc/clp.conf

◆ syslog

障害発生時の syslog ファイルを採取してください。通常、syslog は以下のファイルに出力されます。

- ・ /var/log/messages
- ・ /var/log/messages.*

◆ ホスト情報

該当ホスト上で以下の情報を採取してください。

- ・ rpm -qa の実行結果

CLUSTERPRO
MC ApplicationMonitor 2.4 for Linux
メッセージ一覧

2019 年 4 月 第 1 版
日本電気株式会社
東京都港区芝五丁目7番地1号
TEL (03) 3454-1111 (代表)



© NEC Corporation 2012-2019

日本電気株式会社の許可なく複製、改変などを行うことはできません。
本書の内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。

保護用紙